AQUOS sense3 basic

SHV48

User Guide 取扱説明書 詳細版

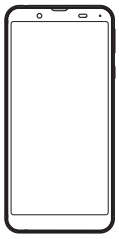
Android 10対応版

ごあいさつ

このたびは、「AQUOS sense3 basic SHV48」(以下、「SHV48」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
『取扱説明書 詳細版 Android 10対応版』はAndroid™ 10へのOSアップデート後の内容について記載しています。
OSアップデートをしていない場合、本製品に付属する『クイックスタートガイド』『ご利用にあたっての注意事項』およびauホームページに掲載の『取扱説明書 詳細版』をご参照ください。
https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体

- クイックスタートガイド(Android 10非対応版)
- ご利用にあたっての注意事項(Android 10非対応版)

以下のものは同梱されていません。
- au Nano IC Card 04
- microSDメモリカード
- ACアダプタ
- イヤホン
- USB Type-C™ケーブル

- 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。

◎ 電池は本製品に内蔵されています。
◎ 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

取扱説明書について

■『クイックスタートガイド』『ご利用にあたっての注意事項』

OSアップデート前の必要な情報や注意事項を説明しています。
OSアップデート後の操作やさまざまな機能のより詳しい説明については、『オンラインマニュアル Android 10対応版』やauホームページより『取扱説明書 詳細版 Android 10対応版』(本書)をご参照ください。
https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/

■『オンラインマニュアル』

Android 10へのOSアップデート後の操作やさまざまな機能のより詳しい説明を記載した『オンラインマニュアル Android 10対応版』は、本製品から以下の操作でご確認できます。

ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[サポート]→[取扱説明書]

また、『オンラインマニュアル』はauホームページからもご確認できます。
https://www.au.com/online-manual/shv48/

■『取扱説明書 詳細版』

Android 10へのOSアップデート後のさまざまな機能のより詳しい説明を記載した『取扱説明書 詳細版 Android 10対応版』(本書)は、auホームページでご確認できます。
https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/

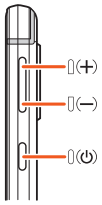
■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の取扱説明書が必要な方へ

You can download the English version of the "Quick Start Guide", "Notes on Usage" from the au website.
『クイックスタートガイド(英語版)』『ご利用にあたっての注意事項(英語版)』をauホームページに掲載しています。
Download URL: https://www.au.com/english/support/manual/

本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



■項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

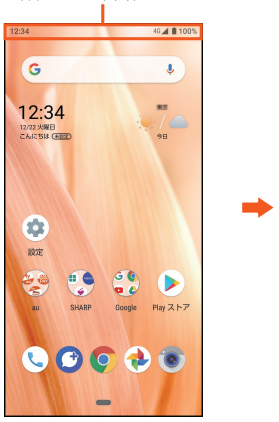
表記	意味
ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[デバイス情報]	AQUOS Home画面で画面を上にスワイプしてアプリ一覧画面に切り替え、次に「設定」をタップします。続けて「デバイス情報」をタップします。
(⏻)(2秒以上長押し)	(⏻)を2秒以上長押しします。

※スワイプとは、ディスプレイに軽く触れたまま目的の方向や位置へなぞる動作です。
※タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽くたたいて選択する動作です。

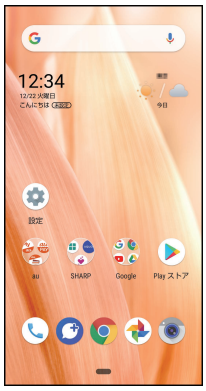
■掲載されているイラスト・画面表示について

本書はau Nano IC Card 04を取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。
本書では縦表示の操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。
記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。



実際の画面



本書の表記例

◎ 本書では本体カラー「ライトカッパー」の表示を例に説明しています。
◎ 本書ではAQUOS Homeでの操作を基準に記載しています。「ホーム切替」などでホームアプリを切り替えた場合は、操作が異なる場合があります。
◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
◎ 本書では「au Nano IC Card 04」の名称を「au ICカード」と表記しています。
◎ 本書では「microSD™メモリカード(市販品)」「microSDHC™メモリカード(市販品)」「microSDXC™メモリカード(市販品)」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
◎ 本書は、Android 10の内容で記載しています。
最新版は『オンラインマニュアル Android 10対応版』またはauホームページに掲載の『取扱説明書 詳細版 Android 10対応版』(本書)をご参照ください。
https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/
◎ 本書の表記の金額は特に記載のある場合を除きすべて税抜です。
◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、™、®マークを省略している場合があります。

目次

ごあいさつ 1
同梱品一覧 1
取扱説明書について 1
本書の表記方法について 1
目次 2

注意事項 5

注意事項 6
本製品のご利用について 6
安全上のご注意(必ずお守りください) 6
材質一覧 9
取り扱い上のご注意 9
防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意 11
本製品の防水／防塵／耐衝撃性能 11
使用時のご注意 11
防水／防塵性能を維持するために 12
充電時のご注意 12
本製品の洗いかた 12
水抜きのしかた 12
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い 13
Bluetooth®についてのお願い 13
無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い 13
周波数帯について 13
電波障害自主規制について 13
各種暗証番号／PINコードについて 14
各種暗証番号について 14
PINコードについて 14
データ通信料についてのご注意 14
アプリケーションについて 14
マナーも携帯する 14

ご利用の準備 15

ご利用の準備 16
各部の名称と機能 16
au ICカード(SIMカード)について 17
au ICカードを取り付ける／取り外す 17
au ICカードを取り付ける 17
au ICカードを取り外す 17
充電する 18
充電について 18
指定のACアダプタ(別売)を使って充電する 18
パソコンを使って充電する 18
電源を入れる／切る 18
電源を入れる 18
電源を切る 18
画面点灯／消灯について 19
ロック画面について 19
初期設定を行う 19
Googleアカウントをセットアップする 20
au IDを設定する 20
データを引き継ぐ 20
microSDメモリカード／Bluetooth®機能を利用する 20
Wi-Fi Direct®機能を利用する 20

基本操作 21

基本操作 22
タッチパネルの使いかた 22
タッチキーの使いかた 22
顔認証機能を利用する 22
顔認証機能について 22
顔を登録する 22
顔を管理する 22
顔認証を行う 22
AQUOS Homeを利用する 23
AQUOS Homeについて 23
ホーム画面を編集する 23
機能のショートカットを利用する 23
壁紙を設定する 23
ホーム画面を設定する 23
AQUOSかんたんホームを利用する 24
AQUOSかんたんホームへ切り替える 24
楽ともリンクに登録する 24
アプリケーションを起動する 24
本製品の状態を知る 24
アイコンについて 24
お知らせ／ステータスパネルを利用する 25
充電／着信ランプについて 25
マナーモードを設定する 25
アプリ使用履歴を利用する 26
アプリ初回起動時の確認画面から設定する 26
アプリ初回起動時の確認画面について 26
アプリの権限を設定する 26
電池の最適化 26
共通の操作を覚える 27
縦横表示を切り替える 27
利用できるメニューを表示する 27
チェックボックスを利用する 27
文字入力 27
ソフトウェアキーボードを切り替える 27
文字入力画面の見かた 27
文字の入力方法 28
文字を入力する 28
入力モードを切り替える 28
絵文字／記号／顔文字を入力する 28
音声で入力する 29
文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける 29
文字入力について設定する 29
S-Shoinの設定を行う 29
ユーザー辞書に登録する 30
入力拡張プラグインを利用する 30

電話・電話帳 31

電話 32
電話をかける 32
電話番号を入力して電話をかける 32
通話中画面の操作 32
履歴を利用して電話をかける 33
クイックアクセスを利用する 33
連絡先一覧を利用する 34
au電話から海外へかける(au国際電話サービス) 34
電話を受ける 34
電話に出る 34
着信に簡易留守録で応答する 34
着信を拒否する 34
着信を拒否してメッセージ(SMS)を送る 34
通話に関する設定をする 34
通話の設定をする 35
簡易留守録を利用する 35
簡易留守録／通話音声メモを再生する 35
着信拒否の設定をする 35
自分の電話番号を確認する 35
電話帳 36
電話帳に登録する 36
電話帳の一覧を利用する 36
電話帳一覧画面を表示する 36
連絡先をリンクする 36
電話帳を設定する 36
電話帳の登録内容を利用する 36

メール 37

auメール 38
auメールのご利用にあたって 38
auメールを利用する 38
迷惑メールフィルターを設定する 38
＋メッセージ(SMS) 39
＋メッセージのご利用にあたって 39
＋メッセージのモードについて 39
＋メッセージのご利用方法を確認する 39
連絡先を登録する 39
QRコードによる連絡先登録をする 39
新しい連絡先を登録する 39
公式アカウントを登録する 39
メッセージを送信する 39
グループを作る・グループに送信する 39
＋メッセージを設定する 39
ブロックリストを設定する 40
公式アカウントとのやりとりをブロックする 40
PCメール 40
PCメールのアカウントを設定する 40
アカウントを登録する 40
アカウントの設定を変更する 41
PCメールを送信する 41
PCメールを受信する 41
PCメール内容表示画面の見かた 41
Gmail 42
Gmailについて 42
Gmailを送信する 42
Gmailを受信する 42

インターネット 43

インターネット 44
インターネットに接続する 44
データ通信を利用する 44
Google Chrome™ 44
Google Chromeを利用する 44

Webページを表示する……44
URL表示欄を利用する……44
Chrome画面のメニューを利用する……44
ブックマーク／履歴を利用する……44

アプリケーション……45

アプリケーション一覧……46
カメラ……47
カメラをご利用になる前に……47
静止画／動画を撮影する……47
静止画を撮影する……47
動画を撮影する……47
撮影画面の見かた……47
撮影モードを切り替える……49
撮影メニューを切り替える……49
カメラを設定する……49
フォト……50
フォトを利用する……50
データを表示／再生する……50
構図補正した静止画を表示する……50
静止画を含む動画を再生する……51
AIライブストーリーが作成したショートムービーを再生する……51
あとからキャプチャーを利用する……51
My au……51
My auを利用する……51
故障紛失サポート……51
故障紛失サポートを利用する……51
あんしんフィルター for au……52
あんしんフィルター for auを利用する……52
管理者情報を登録する……52
管理者ページを利用する……52
Android アプリ……52
Google Playを利用する……52
アプリケーションを検索し、インストールする……52
アプリケーションを管理する……52
提供元不明のアプリケーションをダウンロードする……52
COCORO BOOKS……53
COCORO BOOKSを利用する……53
モバイルライト……53
モバイルライトを利用する……53
スクリーンショット……53
スクリーンショットを撮影する……53
Google 検索……53
Google 検索を利用する……53
カレンダー……53
カレンダーを表示する……53
予定を新規登録する……53
カレンダー画面のメニューを利用する……53
アラーム／世界時計／タイマー／ストップウォッチ……54
時計を利用する……54
アラームで指定した時刻をお知らせする……54
世界各地の都市の時刻を確認する……54
タイマーで時間を計る……54
ストップウォッチで時間を計る……54
からだメイト……55
からだメイトを利用する……55
電卓……55
電卓で計算する……55
エモパー……56
エモパーを設定する……56

ファイル管理……57

ファイル管理……58
本製品の保存領域について……58
microSDメモリカードを利用する……58
microSDメモリカードについて……58
microSDメモリカードを取り付ける……58
microSDメモリカードを取り外す……58
パソコンなどと接続する……58
USBホスト機能を利用する……59
ストレージに関する設定をする……59
ストレージを確認する……59
microSDメモリカード／USBメモリをフォーマットする……59
Filesを利用する……59
データを表示する……59
本体内のファイルをmicroSDメモリカードにコピーする……59

データ通信……61

無線LAN(Wi-Fi®)機能……62
無線LAN(Wi-Fi®)機能について……62
無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する……62
無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする……62
Wi-Fi®ネットワークに接続する……62
アクセスポイントとの接続の設定を削除する……62
Wi-Fi®設定画面のメニューを利用する……62
Wi-Fi Direct®を利用する……62
Bluetooth®機能……63
Bluetooth®機能の利用について……63
Bluetooth®を利用する……63
Bluetooth®を起動する……63
Bluetooth®機器と接続する……63
Bluetooth®でデータを送受信する……63
Bluetooth®でデータを受信する……63
Bluetooth®でデータを送信する……63
テザリング機能……64
テザリングについて……64
Wi-Fi®テザリング機能を利用する……64
USB テザリング機能を利用する……64
Bluetooth® テザリング機能を利用する……64

端末設定……65

端末設定……66
設定メニューを表示する……66
au設定メニューを表示する……66
ネットワークとインターネットに関する設定をする……67
ネットワークとインターネットの設定をする……67
機内モードを設定する……67
接続済みのデバイスに関する設定をする……67
接続済みのデバイスの設定をする……67
接続の設定をする……67
印刷の設定をする……67
アプリと通知の設定をする……68
電池に関する設定をする……68
電池の設定をする……68
長エネスイッチを利用する……68
ディスプレイに関する設定をする……68
ディスプレイの設定をする……68
ロックフォトシャッフルを設定する……69
ヒカリエモーションを設定する……69
音の設定をする……69
AQUOS便利機能に関する設定をする……69
AQUOS便利機能の設定をする……69
スクロールオートの設定をする……69
Clip Nowの設定をする……70
位置情報の設定をする……70
セキュリティの設定をする……70
アカウントに関する設定をする……70
アカウントを追加する……70
ユーザー補助の設定をする……71
Digital Wellbeing と保護者による使用制限の設定をする……71
システムに関する設定をする……71
システムの設定をする……71
使用する言語や文字入力の設定をする……71
Gboardの設定をする……72
システム ナビゲーションを変更する……72
日付と時刻の設定をする……72
本製品を初期化する……72
デバイス情報の設定をする……72
お困りのときは……72

auネットワークサービス……73

auネットワークサービス……74
auのネットワークサービスについて……74
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)……74
着信お知らせサービスについて……74
着信転送サービスを利用する(標準サービス)……74
着信転送サービスについて……74
応答できない電話を転送する(無応答転送)……74
通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)……74
応答できない電話を転送する(圏外転送)……74
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)……74
着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)……74
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)……75
発信番号表示サービスについて……75
電話番号を通知する……75
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)……75
番号通知リクエストサービスについて……75
番号通知リクエストサービスを開始する……75
番号通知リクエストサービスを停止する……75
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)……75
お留守番サービスEXについて……75
お留守番サービス総合案内(141)を利用する……75
応答できない電話を転送する(無応答転送)……76
通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)……76
応答できない電話を転送する(圏外転送)……76
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)……76
電話をかけてきた方が伝言を録音する……76
ボイスメールを録音する……76
伝言お知らせについて……76

伝言・ボイスメールを聞く……76
応答メッセージの録音／確認／変更をする……77
伝言の蓄積を停止する（不在通知）……77
伝言の蓄積停止を解除する……77
お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）……77
英語ガイダンスへ切り替える……77
日本語ガイダンスへ切り替える……77
三者通話サービスを利用する（オプションサービス）……77
割込通話サービスを利用する（オプションサービス）……78
割込通話サービスについて……78
割込通話サービスを開始する……78
割込通話サービスを停止する……78
割込通話を受ける……78
迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）……78
迷惑電話撃退サービスについて……78
撃退する電話番号を登録する……78
登録した電話番号を全件削除する……78
通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）……78

海外利用……79

海外利用……80
au世界サービスについて……80
海外利用に関する設定を行う……80
データ通信を設定する……80
海外でVoLTEを利用する……80
渡航先で電話をかける……80
渡航先で電話を受ける……80
お問い合わせ方法……81
海外からのお問い合わせ……81
海外でのご利用上のご注意……81

付録・索引……83

付録……84
ソフトウェアを更新する……84
故障とお考えになる前に……84
アフターサービスについて……85
auスマートサポートを利用する……86
遠隔操作サポートを利用する……86
位置検索サポートを利用する……86
位置検索をご利用いただくにあたって……86
SIMロック解除について……86
周辺機器……86
主な仕様……86
携帯電話機の比吸収率（SAR）について……87
Regulatory information……87
FCC Notice……88
輸出管理規制……88
知的財産権について……89
索引……91

注意事項

注意事項 **6**
本製品のご利用について 6
安全上のご注意(必ずお守りください) 6
材質一覧 9
取り扱い上のご注意 9
防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意 11
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い 13
電波障害自主規制について 13
各種暗証番号／PINコードについて 14
データ通信料についてのご注意 14
アプリケーションについて 14
マナーも携帯する 14

注意事項

本製品のご利用について

本製品をご利用になる前に、『安全上のご注意』をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、「故障紛失サポート」アプリ(▶P.51)の「クイック診断」および「トラブル診断」でご確認ください。

■ クイック診断
ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[サポート]→[故障紛失サポート]→[クイック診断してみる]

■ トラブル診断
ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[サポート]→[故障紛失サポート]→[便利な機能]→[トラブル診断を試す]
以下のauホームページからもご確認いただけます。
https://www.au.com/trouble-check/

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、LTE／WiMAX 2+／UMTS／GSM方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
- 本製品はau世界サービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 『取扱説明書 詳細版 Android 10対応版』(本書)の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 撮影などした静止画／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品(オプション品含む)の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元:シャープ株式会社

◎ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
◎ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
◎ OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。
◎ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3の発生が想定される」内容です。

※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制の絵表示の説明

禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。	濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

⚠危険

禁止
高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止
電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止
砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

禁止
水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。また、お風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

禁止
本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。
内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ご注意いただきたい例
- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む

分解禁止
分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止
本製品の内蔵電池を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止

本製品の背面カバーを取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

指示

オプション品は、auが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告

禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などでおおったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。

指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。

指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。
- 電源プラグをコンセントから抜く。
- 本製品の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意

禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。

禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
au ICカード／microSDメモリカードトレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。

指示

本製品を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。
アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本製品や指定の充電用機器(別売)の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■本体について

⚠危険

禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止

鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)でたたいたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

本製品内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告

禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障がいなどの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。

禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。

禁止

本製品内のau ICカード／microSDメモリカードトレイの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、au ICカードやmicroSDメモリカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障がいの原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。
突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認のうえご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れた部分や露出した本製品の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

指示

ペットなどが本製品に噛みつかないようご注意ください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意

禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、auショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認のうえご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.9)をご参照ください。

指示

本製品の受話口(レシーバー)／スピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■充電用機器について

⚠警告

禁止

指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。
感電などの原因となります。

禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

指定の充電用機器(別売)に変圧器(海外旅行用のトラベルコンバーターなど)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。

禁止

本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器(別売)で充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ:AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用可能なACアダプタ:AC100V～240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタ本体を持って抜いてください。
指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るとコードが傷付き、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意

禁止

コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

■ au ICカードについて

⚠注意

指示

au ICカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷付けないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所	使用材質	表面処理
ディスプレイ面(ガラス部)	強化ガラス	AFコート
ディスプレイ面(保護フィルム部)	PET樹脂	AFコート、ハードコート
外装ケース	アルミニウム	アルマイト処理
外装ケース(アンテナ部)	PBT樹脂(ガラス入り)	なし
電源キー	アルミニウム	アルマイト処理
音量UP/DOWNキー	アルミニウム	アルマイト処理
カメラパネル	強化ガラス	AFコート、ARコート
カメラ飾り	アルミニウム	アルマイト処理
モバイルライト	PC樹脂	なし
受話口(レシーバー)/スピーカーメッシュ	PC樹脂	なし
イヤホンマイク端子の周囲(内側側面)	PBT樹脂(ガラス入り)	なし
外部接続端子の周囲(内側側面)	PBT樹脂(ガラス入り)	なし
au ICカード/microSDメモリカードトレイ(外装部)	アルミニウム	アルマイト処理
au ICカード/microSDメモリカードトレイ	POM樹脂	なし
au ICカード/microSDメモリカードトレイのパッキン	シリコンゴム	なし
IMEIプレート	PET樹脂	PET樹脂ラミネート

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損・故障の原因となります。
  また、外部機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損・故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水/防塵性能(IPX5、IPX8、IP6X相当)を発揮するために、au ICカード/microSDメモリカードトレイをしっかりと閉じた状態で、ご使用ください。
  ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に液体や粉塵などの異物を入れたり、充電用機器、オプション品に液体や粉塵などの異物を付着させたりしないでください。雨の中や水滴がついたままでau ICカード/microSDメモリカードトレイの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 下記については、極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  (周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
  ・SHV48本体
  ・au ICカード(SHV48本体装着状態)
  お風呂場でのご使用については、「お風呂場でお使いいただく際の注意」(▶P.11)をご参照ください。
- 下記については、極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  (周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
  ・充電用機器
  ・周辺機器
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷が付く場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入ったりしないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などでおおわれた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やバイブレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。
- 使用中、本製品が温かくなった場合、画面の明るさや一部機能を制限する場合があります。

■本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
  本製品に固有の認定および準拠マークに関する詳細(認証・認定番号含む)は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。
  ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[デバイス情報]→[認証]
  本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技適マーク(〒)」がau電話本体内で確認できるようになっております。認証情報については、本製品内の電子認証内容でご確認いただきますよう、お願いいたします。
  本製品の内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 明るさセンサーを指でふさいだり、明るさセンサーの上にシールなどを貼ったりすると、周囲の明暗に明るさセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し発信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 受話口(レシーバー)／スピーカー、送話口(マイク)、空気抜き部(モバイルライト部)をシールや指などでふさぐと性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。
- 髪の毛の上から受話口を当てて通話すると、近接センサーが誤動作することがあります。ディスプレイが点灯されたままとなり、誤ってディスプレイに触れると、通話が切れる場合がありますのでご注意ください。
- ディスプレイが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- ディスプレイやキーのある面にシールなどを貼ると、誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、本製品が損傷するおそれがあります。
- 本製品に磁気を帯びたものを近づけるとスピーカー部から音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- au ICカード／microSDメモリカードトレイを強く引っ張ったり、無理な力を加えたりすると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 直射日光下などの明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。
- 通常はau ICカード／microSDメモリカードトレイを閉じた状態で使用してください。カードトレイを閉じずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
- 本製品内のau ICカード／microSDメモリカードトレイの挿入口に液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口(レシーバー)／スピーカー、送話口(マイク)、イヤホンマイク端子などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入したりすると発熱や故障の原因となります。

■タッチパネルについて

- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
  以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 市販の保護フィルムやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
  - 水中での操作

■内蔵電池について

(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の状態で保管しないでください。
  - フル充電状態(充電完了後すぐの状態)
  - 電池残量なしの状態(本製品の電源が入らない程度消費している状態)
  - 高温多湿の状態
- 内蔵電池はご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。充電用機器のケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

■au ICカードについて

- au ICカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。
- au ICカードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■カメラ機能について

- カメラのレンズが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- 大切な撮影などをするときは、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、私的使用目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネット・ホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化したりする場合があります。

防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意

正しくお使いいただくために、「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」の内容をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、液体や粉塵が入る原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障の原因となります。
すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」に記載されている内容を守らずにご使用になった場合など、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

本製品の防水／防塵／耐衝撃性能

本製品はau ICカード／microSDメモリカードトレイをしっかりと閉じた状態で保護等級（JIS C 0920）IPX5相当※1、IPX8相当※2の防水性能およびIP6X相当※3の防塵性能を有しております（当社試験方法による）。また、MIL規格に準拠する試験※4をクリアした耐衝撃構造を採用しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに本製品を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。
※3 IP6Xとは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。
※4 MIL規格準拠
米国国防総省が制定したMIL-STD-810Hに準拠した独自の試験を実施しています。

試験項目	試験内容
防水（浸漬）	深さ約1.5mの水中に30分間浸漬させる試験
防水（雨滴）	高さ1mから15分間雨滴を落とす試験
防塵	72時間の粉塵試験
防塵（風塵）	連続6時間（風速8.9m/sec、濃度10.6ｇ/㎥）の粉塵試験
耐衝撃（落下）	高さ1.22mから鋼板に製品を26方向で落下させる試験
耐振動	上下10Hz～500Hz、加速度1.04G、左右10Hz～500Hz、加速度0.2G、前後10Hz～500Hz、加速度0.74Gでそれぞれ60分の振動試験
耐日射	連続20時間（放射照度1120w/㎡）の日射後、4時間オフを10日間繰り返す試験
防湿	連続10日間（湿度95%RH）の高湿度試験
高温保管（固定）	63℃に固定した72時間の高温保管試験
高温保管（変動）	28℃～58℃までの温度変化において72時間の高温保管試験
高温動作（固定）	55℃に固定した5時間の高温動作試験
高温動作（変動）	28℃～39℃/湿度43%～78%までの変化において72時間の高温動作試験
低温動作	-20℃に固定した5時間の低温動作試験
低温保管	-33℃～-25℃の温度変化において連続72時間の低温保管試験
温度耐久（温度衝撃）	-21℃～50℃の急激な温度変化において連続3時間の温度耐久試験
低圧保管	連続2時間（57.2kPa/高度約4,572m相当）の低圧保管試験
低圧動作	連続2時間（57.2kPa/高度約4,572m相当）の低圧動作試験
氷結（結露）	-10℃で結露や霧を発生させ1時間維持し、25℃、95%RHで動作確認
氷結（氷結）	-10℃環境下で着氷した氷の厚さが6mmになるまで氷結させる試験

- 本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての状況での全機能の動作を保証するものではありません。また、すべての衝撃に対して、無破損、無故障を保証するものではありません。

■本製品が有する防水／防塵性能でできること

- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水などの水道水以外の水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- 弱めの水流（6リットル／分以下）で常温（5℃～35℃）の水道水を使って本製品を洗うことができます。

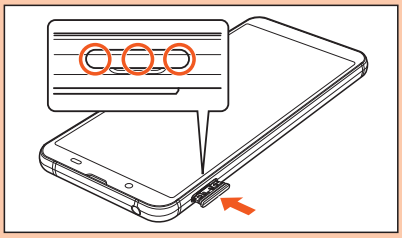
■本製品のお取り扱いについて

- au ICカード／microSDメモリカードトレイをしっかりと閉じてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。接触面に微細なゴミ（髪の毛、砂粒、微細な繊維など）が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- au ICカード／microSDメモリカードトレイが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用しないで、電源を切り、お近くのauショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品が濡れているときは、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- 手や本製品が濡れているときや異物がついているときには、au ICカード／microSDメモリカードトレイの開閉は絶対にしないでください。
- 常温（5℃～35℃）の真水・水道水にのみ対応しています。常温の真水・水道水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の真水・水道水で洗ってください。
- イヤホンマイク端子、外部接続端子は、濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水／防塵性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどによる火災、やけど、故障の原因となります。

■au ICカード／microSDメモリカードトレイの閉じかた

au ICカード／microSDメモリカードトレイを本体に水平に奥までしっかり差し込んでください。

- ○部分をしっかりと押し、本体とカードトレイに隙間がないことを確認してください。



■本製品の防塵性能について

- 本製品の防塵性能はIP6X相当の保護度合いを保証するものであり、砂浜などの砂の上に直接置くなどの利用方法に対して保証するものではありません。
- 塵埃が本製品に付着したときには、直ちに水で洗い流すなどして完全に塵埃を除去してからご使用ください。

使用時のご注意

- 水道水以外の液体（海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など）に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。
  かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- 万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。
  乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 砂や泥がきれいに洗い流せていない状態で使用すると、本製品に傷が付いたり、破損するなど故障の原因となります。
- 湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください。（キー操作を含む。）
- 本製品は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水（6リットル／分を超える）を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。本製品は耐熱設計ではありません。
- 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かい場所へ移動するときは本製品が常温になってから持ち込んでください。
  万一、結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- お風呂場、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- 本製品は水に浮きません。
- 強い雨の中では使用しないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地では凍結するなど、故障の原因となります。
- 受話口（レシーバー）／スピーカー、送話口（マイク）の穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなることがあります。十分に水抜きと乾燥を行ったうえでご使用ください。
- 砂浜、砂場などの砂の上や、泥の上に直接置かないでください。受話口（レシーバー）／スピーカー、送話口（マイク）、イヤホンマイク端子などに砂が入り、音が小さくなったり、本体内に砂などが混入したりすると発熱や故障の原因となります。
- au ICカード／microSDメモリカードトレイに劣化、破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。
- 落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。また、受話口（レシーバー）／スピーカー、送話口（マイク）などをとがったものでつつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、防水／防塵性能が損なわれる原因となります。

■お風呂場でお使いいただく際の注意

- 湯船や温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水に浸けたり、かけたりしないでください。
  故障の原因となります。
  万が一、水道水以外が付着したり、湯船に落としてしまった場合は、直ちに所定の方法で洗い流して、水抜きおよび自然乾燥を行ってください。
- お風呂場では、室温は40℃以下、湿度は99%以下、連続2時間以内の範囲でご使用ください。
  その後、必ず所定の方法で水抜きおよび自然乾燥を行ってください。
  なお、全ての機能の連続動作を保証するものではありません。
- 高温のお湯がかからないようにご注意ください。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。
  寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
  また、お風呂場で暖まった本製品に冷たい水をかけないでください。
  浸水や故障の原因となります。
- カメラのレンズやディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
- お風呂場で、イヤホンマイクや外部機器を接続して使用しないでください。
- お風呂場では、充電を行わないでください。

防水／防塵性能を維持するために

■ゴムパッキンについて

au ICカード／microSDメモリカードトレイのゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するために重要な部品です。次のことにご注意ください。

- はがしたり、傷付けたりしないでください。
- au ICカード／microSDメモリカードトレイを閉じるときは、ゴムパッキンを挟まないように注意してください。また、au ICカード／microSDメモリカードトレイの隙間、イヤホンマイク端子部、外部接続端子部に、先の尖ったものを差し込まないでください。
  ゴムパッキンが傷付き、液体や粉塵が入る原因となることがあります。
- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回部品を交換することをおすすめします（有償）。部品の交換につきましては、お近くのauショップまでご連絡ください。

充電時のご注意

指定の充電用機器（別売）やオプション品は、防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 本製品に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。また、濡れている場合や水に濡れた後は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、外部接続端子にUSB Type-Cプラグを差し込んでください。
- 本製品または充電用機器に水滴や異物が付着している状態では、USB Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。
  本製品は防水／防塵性能を有しておりますが、指定の充電用機器（別売）およびオプション品は防水／防塵性能を有しておりません。濡れたり汚れたりしている状態でUSB Type-Cプラグを挿入すると、本製品やUSB Type-Cプラグに付着した水分や異物などにより、感電や回路のショート、腐食による異常発熱、焼損、火災、やけど、故障の原因となります。
- 濡れた手で指定の充電用機器（別売）に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）およびオプション品は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。

本製品の洗いかた

本製品の表面に汚れ、ほこり、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流（6Lリットル／分以下）で常温（5℃～35℃）の水道水を使い、蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。
au ICカード／microSDメモリカードトレイが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください。

- au ICカード／microSDメモリカードトレイがきちんと閉まっていることを確認してから、洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- イヤホンマイク端子部、外部接続端子部は、特にほこりや砂などの汚れが付着しやすい部位です。汚れを残さないようにしっかりと洗い流してください。また、水洗い後は、十分に乾燥したことを確認したうえでご使用ください。砂や水滴が端子部に残ったままの状態でご使用になりますと、故障の原因となります。
- イヤホンマイク端子部、外部接続端子部を洗うときは、綿棒などの道具を使用したり、布を端子内部に押し込んだりしないでください。防水／防塵性能が損なわれるなど火災、やけど、故障の原因となります。
- 乾燥のために電子レンジには絶対入れないでください。内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。また、本製品を発熱・発煙・発火させたり、回路部品を破壊させる原因となります。
- 乾燥のために、ドライヤーの温風をあてたり、高温環境に放置したりしないでください。本製品の変形・変色・故障などの原因となります。

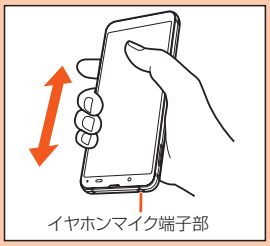
水抜きのしかた

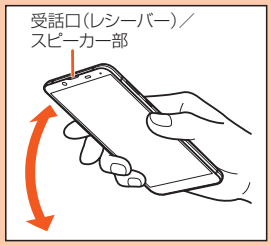
水に濡れた後は、必ずイヤホンマイク端子部、外部接続端子部、受話口（レシーバー）／スピーカー部、送話口（マイク）部、キー部、空気抜き部（モバイルライト部）などの水抜きをしてください。

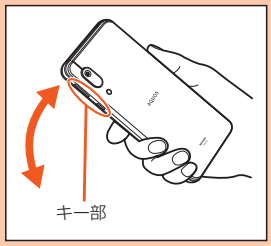
1 本製品表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

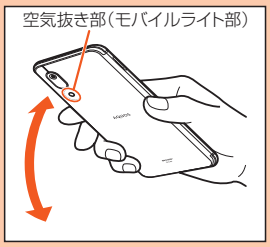
2 本製品をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

周囲の安全を確認して、本製品を落とさないようにしっかり握って振ってください。



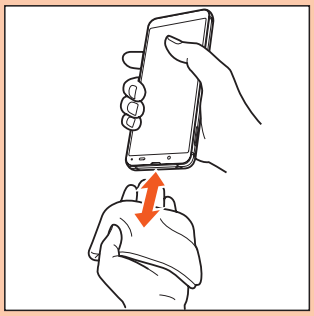






3 各部の隙間に入った水分を、乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当てて拭き取る

各部の穴に水がたまっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出し、水や異物が入っていないことを確認してください。



4 乾いた布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置し、乾燥させる

水を拭き取った後に本製品内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
隙間に溜まった水を、綿棒などで直接拭き取らないでください。

■水抜き後のご注意

水滴が付着したままで使用しないでください。

- 通話不良となったり、衣服やかばんなどを濡らしてしまうことがあります。
- イヤホンマイク端子、外部接続端子などがショートし、火災、故障の原因となるおそれがあります。
- 寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い

Bluetooth®についてのお願い

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信距離は異なります。

無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い

- 本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国／地域では無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信距離は異なります。

周波数帯について

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能(2.4GHz帯)は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。
本製品で以下の操作を行うことで、周波数帯に関する情報をご確認いただくことができます。
ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[デバイス情報]→[認証]

- Bluetooth®機能:2.4FH4/XX8

本製品は2.4GHz帯を使用します。
FH4は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。
XX8はその他方式を採用し、与干渉距離は約80m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- 無線LAN(Wi-Fi®)機能:2.4DS/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。
変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。
本製品の2.4GHz帯の無線LAN(Wi-Fi®)で使用できるチャンネルは、1～13です。
利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■Bluetooth®機能ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

■2.4GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用周波数は、2.4GHz帯、5GHz帯です。
2.4GHzの周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

■5GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)機能ご使用上の注意

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz／5.3GHz／5.6GHz帯(W52／W53／W56)の3種類のチャンネルを使用することができます。

- W52(5.2GHz帯／36、40、44、48ch)
- W53(5.3GHz帯／52、56、60、64ch)
- W56(5.6GHz帯／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

5.2GHz／5.3GHz帯(W52／W53)を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。
ただし、5.2GHz帯高出力データ通信システムの基地局、陸上移動中継局との通信を除く。

◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

電波障害自主規制について

本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電子銘板に表示しています。
電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。
ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[デバイス情報]→[認証]

各種暗証番号／PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。
なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

PINコードについて

■PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は「入力必要」に変更できます。
「入力必要」で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・トヨタ au取扱店もしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

◎ PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のため本製品が再起動することがあります。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。
※無線LAN（Wi-Fi®）の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、他のアプリケーションや携帯電話全体の動作に影響を及ぼすものもあります。また、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中に画面が消灯しなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなったりするものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、『クイックスタートガイド』、『ご利用にあたっての注意事項』、『取扱説明書 詳細版 Android 10対応版』（本書）に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

マナーも携帯する

■こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■周りの人への配慮も大切

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっての通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

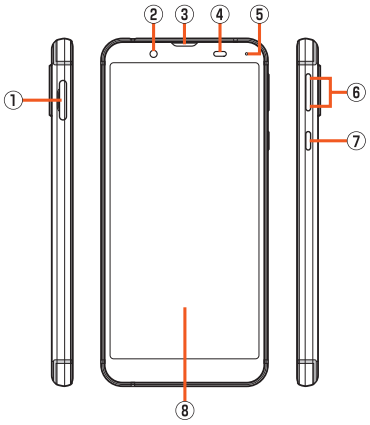
ご利用の準備

ご利用の準備 **16**
各部の名称と機能 16
au ICカード(SIMカード)について 17
au ICカードを取り付ける／取り外す 17
充電する 18
電源を入れる／切る 18
画面点灯／消灯について 19
ロック画面について 19
初期設定を行う 19
データを引き継ぐ 20

ご利用の準備

各部の名称と機能

■ 正面／左右側面



① au ICカード／microSDメモリカードトレイ

② インカメラ(レンズ部)

③ 受話口(レシーバー)／スピーカー※1
通話中の相手の方の声、簡易留守録の再生音などが聞こえます。
また、着信音やアラーム音などが聞こえます。

④ 近接センサー／明るさセンサー
近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。
明るさセンサーは周囲の明るさに合わせて、ディスプレイの明るさを調整します。

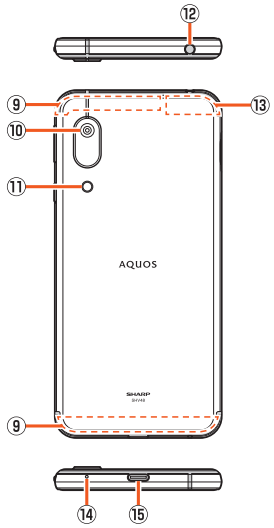
⑤ 充電／着信ランプ
充電／着信ランプについて詳しくは、「充電／着信ランプについて」(▶P.25)をご参照ください。

⑥ (+)音量UPキー／(−)音量DOWNキー
音量を調節します。
また、マナーモードの設定／解除を切り替えられます。
- 詳しくは、「マナーモードを設定する」(▶P.25)をご参照ください。

⑦ (⏻)電源キー
電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するときに使用します。
- 長押しすると、アシストアプリが起動します。起動するアプリは「アシスタントの起動」(▶P.71)で設定できます。
- 2秒以上長押しすると「電源メニュー」が表示されます。詳しくは、「電源を入れる／切る」(▶P.18)をご参照ください。

⑧ ディスプレイ(タッチパネル)
ディスプレイの表面には保護フィルムが貼られています。市販の保護フィルムをご利用の場合は、保護フィルムをはがしてください。

■ 背面／上下側面



⑨ 4G／UMTSアンテナ※2

⑩ アウトカメラ(レンズ部)

⑪ モバイルライト／空気抜き部※1
性能を保つための空気抜き部となっています。

⑫ イヤホンマイク端子

⑬ Wi-Fi®／Bluetooth®／GPSアンテナ※2

⑭ 送話口(マイク)※1
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。動画撮影時の録音やエモパー利用時の音声認識にも使用します。

⑮ 外部接続端子
TypeC共通ACアダプタ01／02(別売)、USB Type-Cケーブル(市販品)、周辺機器接続用USBケーブル(市販品)などの接続時に使用します。
TypeC共通ACアダプタ01／02(別売)、USB Type-Cケーブル(市販品)などを接続すると、接続機器の磁気が影響し、本体の地磁気センサーが正常に動作しないことがあります。地磁気センサーを利用する機能やアプリケーションを使用する場合はケーブル類を取り外してください。

※1 シールや指などでふさぐと性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。
※2 アンテナは本製品に内蔵されています。通話中や通信中はアンテナを手でおおわないでください。通話／通信品質が悪くなることがあります。

◎ 本製品の外装ケース(背面部)は取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
◎ 本製品の電池は内蔵されており、お客様による取り外しはできません。強制的に電源を切る場合は、「強制的に電源を切る」(▶P.18)をご参照ください。
◎ 本製品は受話口(レシーバー)とスピーカーを兼用しています。ハンズフリー通話に切り替えたときや通話が終了したときに、耳元でスピーカーから大きな音が鳴らないよう、徐々に設定した音量まで上がります。

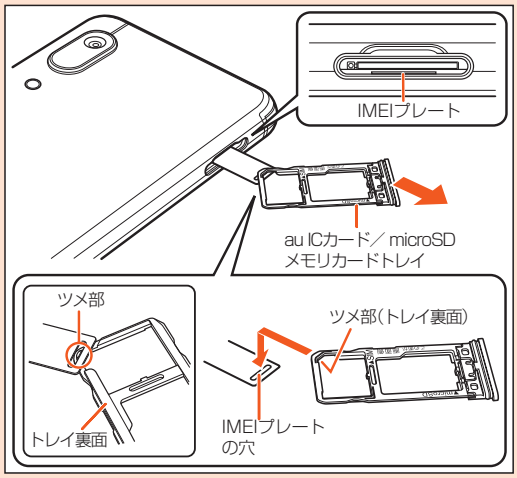
au ICカード／microSDメモリカードトレイについて
◎ au ICカード／microSDメモリカードトレイを強く引っ張ったり、無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。

近接センサー／明るさセンサーについて
◎ 近接センサー／明るさセンサーの上にシールなどを貼ると、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。

イヤホンマイク端子について
◎ スイッチ付イヤホンマイクやイヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

IMEIプレートについて
◎ au ICカード／microSDメモリカードトレイの挿入口付近には、IMEI情報(端末識別番号)を印刷したシールが貼られたプレートが収納されています。修理依頼やアフターサービスなどで、IMEI番号が必要となる場合を除き、プレートを引き出さないでください。また、シールをはがしたりしないでください。

IMEIプレートを引き出すには
① ディスプレイ面を上向きにして、au ICカード／microSDメモリカードトレイを引き出す。
(au ICカード／microSDメモリカードトレイの引き出しかたについては、「au ICカードを取り付ける」(▶P.17)手順1をご参照ください。)
② ディスプレイ面を下向きにして、指先をIMEIプレートの穴にかけて、IMEIプレートを引き出す。(IMEIプレートは引き抜かないでください。)
このとき、au ICカードやmicroSDメモリカードは事前にカードトレイから取り外しておいてください。
※IMEIプレートを引き出しづらい場合は、au ICカード／microSDメモリカードトレイ裏面(文字が印刷されていない面)のツメ部をIMEIプレートの穴に上からかけて、IMEIプレートを引き出してください。



◎ IMEIプレートを無理に引き出したり、力を加えたりすると、破損するおそれがありますのでご注意ください。
◎ IMEIプレートを引き出してしまった場合は、IMEIプレートが奥に入り込みすぎないよう、ゆっくりと差し込んでください。
◎ 本製品を操作してIMEI情報を確認することもできます。
ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[デバイス情報]→[IMEI]

au ICカード(SIMカード)について

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品はau Nano IC Card 04に対応しております。

◎ au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au ICカードのIC(金属)部分には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎ au ICカードを正しく取り付けていない場合やau ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
◎ 取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。
◎ 変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。
◎ au ICカード着脱時は、必ずTypeC共通ACアダプタ01／02(別売)などのUSB Type-Cプラグを本製品から抜いてください。

■ au ICカードが挿入されていない場合

au ICカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。
- 電話をかける※／受ける
- SMSの送受信
- +メッセージの送受信
- auメールの初期設定および送受信
- SIM カードロック設定
- 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認

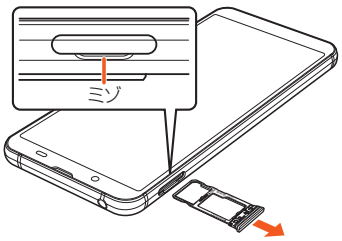
上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。
※ 110番(警察)・119番(消防機関)・118番(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。ただし、海外では緊急通報に限り発信可能な場合があります(なお、緊急通報番号は国によって異なります)。

au ICカードを取り付ける／取り外す

au ICカードを取り付ける

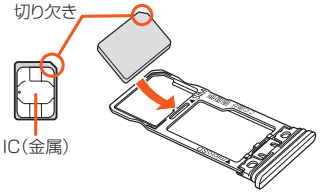
au ICカードの取り付けは、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。
また、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。

1 ミゾに指先をかけて、au ICカード／microSDメモリカードトレイを引き出す



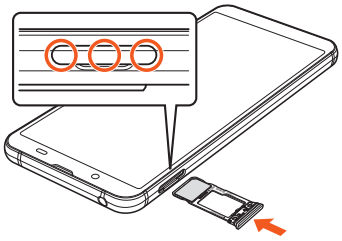
2 au ICカードのIC(金属)面を下向きにして、au ICカード／microSDメモリカードトレイに取り付ける

au ICカードの向きに注意して、確実にカードトレイに取り付けてください。
au ICカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



3 au ICカード／microSDメモリカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

○部分をしっかりと押し、本体とカードトレイに隙間がないことを確認してください。



au ICカード／microSDメモリカードトレイの着脱について

◎ au ICカードやmicroSDメモリカードは、直接本体に差し込まないでください。カードをカードトレイに取り付けた後で、カードトレイごと本体に差し込んでください。
◎ 取り外したau ICカード／microSDメモリカードトレイは紛失・破損しないようにご注意ください。
◎ カードトレイを本体から引き出すときは、ディスプレイ面を上向きにしてゆっくりと水平に引き出してください。
- カードトレイを強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。
- ディスプレイ面を下向きにしたり、本体を立てた状態でカードトレイを引き出すと、カードトレイに取り付けられているau ICカードやmicroSDメモリカードが外れ、紛失する可能性があります。

◎ カードトレイを本体に取り付けるときは、ディスプレイ面を上向きにしてゆっくり差し込み、本体とカードトレイに隙間がないことを確認してください。
- カードトレイを裏表逆に差し込まないでください。裏表逆に差し込むと、カードトレイが破損するおそれがあります。
- カードトレイの差し込みが不十分な場合は、防水／防塵性能が損なわれたり、正常に動作しないことがあります。
- カードトレイの閉じかたについて詳しくは、「au ICカード／microSDメモリカードトレイの閉じかた」(▶P.11)をご参照ください。

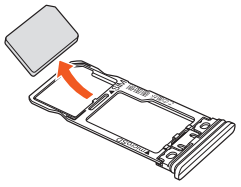
au ICカードを取り外す

au ICカードの取り外しは、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。
また、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。
- au ICカード／microSDメモリカードトレイの着脱について詳しくは、「au ICカードを取り付ける」(▶P.17)をご参照ください。

1 ミゾに指先をかけて、au ICカード／microSDメモリカードトレイを引き出す

引き出すときに、au ICカードがカードトレイから外れて、紛失したりしないようにご注意ください。

2 au ICカードをau ICカード／microSDメモリカードトレイから取り外す



3 au ICカード／microSDメモリカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

充電する

充電について

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

- 充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合は内蔵電池の寿命の可能性があります。ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[デバイス情報]→[電池の状態]と操作すると、内蔵電池の充電能力を確認できます。
- ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[電池]と操作すると、電池の健康度を確認することができます。
- 充電中は電池マークに⚡が重なって表示されます。
- 充電中の充電／着信ランプについて詳しくは、「充電／着信ランプについて」(▶P.25)をご参照ください。

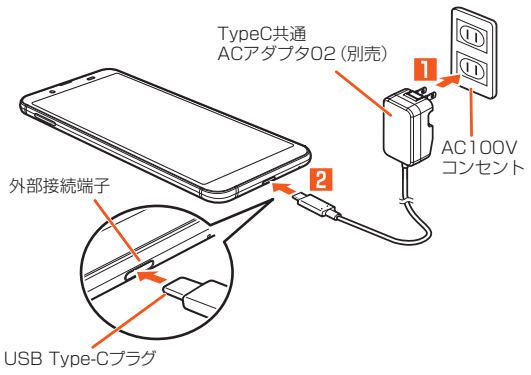
◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
◎ 操作方法や使用環境によっては、本製品の内部温度が高くなり、熱くなることがあります。その際、安全のため充電が停止することがあります。
◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。
◎ 指定の充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、内蔵電池の寿命が短くなります。
◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電／着信ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。
◎ 充電／着信ランプが赤色に点滅したときは、強制的に電源を切り(▶P.18)、電源を入れ直してください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
◎ 連続通話時間および連続待受時間(▶P.86)は、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用可能時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。
- 圏外が表示される場所での使用が多い場合
- Wi-Fi®機能、Bluetooth®機能、メール機能、カメラ機能、位置情報などの使用
- アプリケーションなどで画面が消灯しないように設定されている場合
- バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用した場合

指定のACアダプタ(別売)を使って充電する

TypeC共通ACアダプタ02(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)について詳しくは、「周辺機器」(▶P.86)をご参照ください。

1 TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む

2 TypeC共通ACアダプタ02(別売)のUSB Type-Cプラグを、本製品の外部接続端子に矢印の方向に差し込む



3 充電が終わったら、本製品の外部接続端子からTypeC共通ACアダプタ02(別売)のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜く

4 TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

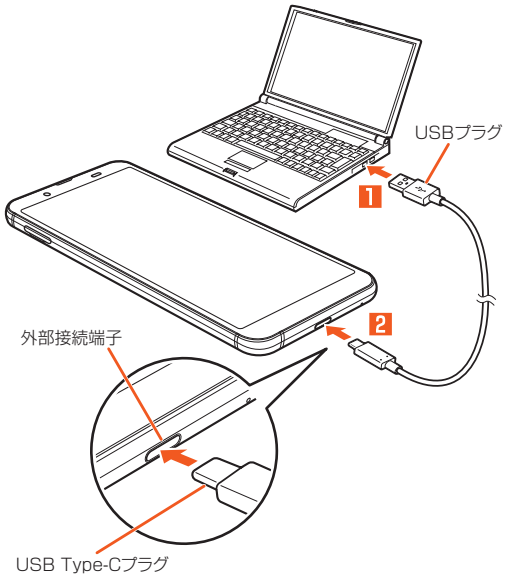
◎ 本製品の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。

パソコンを使って充電する

本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

1 パソコンが完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル(市販品)をパソコンのUSBポートに接続

2 USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品に接続



◎ USB充電を行った場合、指定のACアダプタ(別売)での充電と比べて時間が長くかかる場合があります。
◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電／着信ランプが点灯しない場合があります。その場合は、指定のACアダプタ(別売)を使用して充電してください。

接続した機器がロールスワップ機能に対応している機器の場合

ロールスワップ機能に対応している機器同士で接続すると、電力を供給する役割と受給する役割を入れ替えることができます。

◎ USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品に接続したときに表示されるUSBの設定画面で「接続デバイスの充電」をONに設定すると、本製品が給電する役割となり接続した機器を充電することができます。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源が切れた状態で▯(⏻)(3秒以上長押し)

◎ 電源を入れてから「AQUOS」の表示が終了するまでの間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
◎ 初期状態で、初めて本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。詳しくは、「初期設定を行う」(▶P.19)をご参照ください。

電源を切る

1 ▯(⏻)(2秒以上長押し)

2 [電源を切る]

■ 再起動する

本製品の電源をいったん切り、再度起動します。

1 ▯(⏻)(2秒以上長押し)

2 [再起動]

▯(⏻)(2秒以上長押し)で表示される「電源メニュー」について

◎ 「画面の保存」については「スクリーンショットを撮影する」(▶P.53)を、「故障かな？と思ったら」については「セルフチェック」(▶P.72)をそれぞれご参照ください。
◎ 「緊急通報」をタップすると、緊急通報発信画面が表示されます。

■ 強制的に電源を切る

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切ることができます。

1 ▯(⏻)(8秒以上長押し)

◎ 強制的に電源を切ると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

■ セーフモードで起動する

本製品の電源をいったん切り、OSアップデート直後に近い状態で起動します。本製品の動作が不安定になった場合、インストールしたアプリケーションが原因の可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合、インストールしたアプリケーションをアンインストールすると症状が改善されることがあります。

1 ▯(⏻)**(2秒以上長押し)**

2 **「電源を切る」をロングタッチ→[OK]**

セーフモードで起動すると、画面下部に「セーフモード」と表示されます。
セーフモードを終了するには再起動してください。

◎ 電源が切れているときは、▯(⏻)(3秒以上長押し)で電源を入れ、AQUOSロゴが表示されてからロック画面が表示されるまで▯(ー)を押し続けると、セーフモードで起動することができます。
◎ セーフモードで起動する前に本製品のデータをバックアップすることをおすすめします。
◎ お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
◎ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合はセーフモードを終了してください。

画面点灯／消灯について

▯(⏻)を押すか、一定時間操作しないと画面が消灯します。

■ 画面を点灯する

1 **画面消灯中に▯(⏻)**

◎ 利用中のアプリケーションによっては、画面を点灯した際に、消灯する前の画面が表示されることがあります。
◎ ポケットやかばんなどに入れる際は、画面を消灯してください。画面を点灯させたまま入れると、誤動作の原因となります。

■ 持つと画面点灯について

「持つと画面点灯」が設定されている場合は、本製品を持ち上げて静止すると、画面が点灯します。(初期状態では、この機能は有効になっています。)
設定方法については、「AQUOS便利機能の設定をする」(▶P.69)の「持つと画面点灯」をご参照ください。

◎ 次の場合などでは、点灯しないことがあります。
- 本製品を持ったまま動いている(歩行中や乗車中などの)場合
- 持ち上げる前やその後に本製品を動かし続けている場合
- 垂直または水平に持ち上げた場合

ロック画面について

画面を点灯するとロック画面が表示されます。
顔を登録している場合は、顔をインカメラに近づけるだけで画面ロックを解除することができます。

《ロック画面》

① **壁紙**
「ディスプレイ」の「壁紙」(▶P.68)で変更することができます。
- 「ロックフォトシャッフル」をONに設定している場合、ロック画面を表示するたびにロック画面の壁紙がランダムで切り替わります。詳しくは、「ロックフォトシャッフルを設定する」(▶P.69)をご参照ください。

② **お知らせエリア**
不在着信／新着メール／新着SMSなどの通知がポップアップ表示されます。通知をダブルタップすると対応した画面が表示されます。
お知らせエリアを下にドラッグすると、通知の一覧が表示され、通知をタップすると対応した画面が表示されます。
音楽や動画再生中は、メディア操作キーが表示されます。
- メディア操作キーは音楽や動画を再生するアプリケーションを起動中に表示されます。アプリケーションによっては表示されない場合もあります。

③ **音声アシスト起動**
「🎙」をスワイプするとGoogle アシスタント™を起動します。

④ **画面ロック**
画面ロックの状態が表示されます。
- 「🔓」が表示されている場合は、画面を上にスワイプすると画面ロックを解除できます。
- 「🔒」が表示されている場合は、画面を上にスワイプして「画面ロック」で設定したパスワードなどを入力します。

⑤ **時計**
現在の時刻と日付が表示されます。
「ロック画面の表示」(▶P.68)の「ロック画面メッセージ」を設定している場合は設定したテキストも表示します。

⑥ **エモパーエリア**
「エモパー」をONに設定している場合、エモパーがお伝えするさまざまな情報が表示されます。
- 左右にフリックすると情報が切り替わります。
- 情報によってはダブルタップすると、関連情報や詳細を確認できます。

⑦ **カメラ起動**
「📷」をスワイプすると「カメラ」アプリを起動します。

◎ 「エモパーメモ」がONのときは、ロック画面でエモパーメモが利用できます。
エモパーについて詳しくは、「エモパーを設定する」(▶P.56)をご参照ください。

初期設定を行う

初期状態で、初めて本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って、各機能の設定を行います。

1 **言語を選択→[開始]**

2 **Wi-Fi®接続を設定**
Wi-Fi®接続の設定について詳しくは、「無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する」(▶P.62)をご参照ください。

3 **セットアップ方法を選択**
以前に使用していた端末などからデータを引き継ぐことができます。

4 **Google™アカウントを設定**

5 **Googleサービスなどの内容を確認／設定**

6 **端末のロックを設定**

7 **ソフトウェア更新について確認**

8 **au初期設定を行う**

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントのセットアップ画面は、Googleアカウントが設定されていない状態でGoogleアカウントが必要なアプリケーションを起動したときなどに表示されます。

1 Googleアカウントのセットアップ画面→メールアドレスまたは電話番号を入力／[アカウントを作成]

Googleアカウントをすでにお持ちの場合はGmail™のメールアドレスまたは電話番号を入力→[次へ]→パスワードを入力→[次へ]と操作し、画面の指示に従って設定してください。
Googleアカウントをお持ちではない場合は「アカウントを作成」をタップし、画面の指示に従って登録してください。

◎ Googleアカウントを設定しない場合でも本製品をお使いになれますが、Gmail、Google Play™などのGoogleサービスがご利用になれません。
◎ Googleアカウントは、ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[アカウント]→[アカウントを追加]→[Google]と操作しても設定できます。

au IDを設定する

au IDを設定すると、auスマートパスやGoogle Playに掲載されているアプリケーションの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]

2 [au設定メニュー]→[au ID]

au IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau IDを設定します。
au IDをお持ちではない場合は、新規登録を行います。

データを引き継ぐ

microSDメモリカード／Bluetooth®機能を利用する

microSDメモリカードを利用して、これまでお使いの携帯電話／スマートフォンのバックアップデータを本製品の本体メモリに取り込んだり、本製品の本体メモリのデータをバックアップしたりすることができます。本製品にデータを引き継ぐ場合は、あらかじめ、バックアップデータを保存したmicroSDメモリカードを本体に取り付けしておいてください。また、これまでお使いのスマートフォンがBluetooth®対応の場合は、Bluetooth®機能を利用して電話帳データを取り込むこともできます。

- 電話帳、スケジュール、メモ帳※、ユーザー辞書／学習辞書（S-Shoin）、エモパーの登録内容を引き継ぎ／バックアップできます。
  ※メモ帳は引き継ぎのみ可能です。取り込んだデータはOfficeSuiteなどで確認できます。
- これまでお使いの携帯電話／スマートフォンの操作については、これまでお使いの携帯電話／スマートフォンの取扱説明書をご参照ください。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[詳細設定]→[データ引継]

2 [SDカード／Bluetooth経由で引き継ぐ]

データ引継画面が表示されます。
「ヘルプ」をタップすると、ヘルプを表示します。

3

データ取り込み	**取り込む** ▶P.20「microSDメモリカードに保存したバックアップデータを取り込む」 **スマートフォンから電話帳データを取り込む** ▶P.20「スマートフォンからBluetooth®機能を利用して電話帳データを取り込む」
SDカードにデータ保存	本体メモリ内のデータをバックアップします。
機能紹介	シャープのサイトに接続し、データ引継の使いかたを動画で確認することができます。

■ microSDメモリカードに保存したバックアップデータを取り込む

1 データ引継画面→[データ取り込み]

microSDメモリカードが挿入されていなかったり、microSDメモリカードにバックアップデータがない場合は、取り込み元の携帯電話の選択画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 [取り込む]

取り込むことができるデータカテゴリが一覧表示されます。

3 取り込むデータカテゴリを選択

バックアップデータが一覧表示されます。
すべてのカテゴリを選択／解除したい場合、「全選択」／「全解除」をタップします。バックアップデータは最新のものが選択されます。

4 取り込むバックアップデータを選択

確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

5 [追加登録]／[削除して登録]

機内モードが無効になっている場合は、手動で機内モードを有効にするポップアップが表示されます。画面に従って操作してください。
連絡先の登録先（アカウント）選択画面が表示された場合は、連絡先を登録するアカウントを選択してください。

6 [完了]

◎ 電池残量が少ないときは取り込みできません。
◎ バックアップデータを削除して登録中に操作がキャンセルされた場合は、処理中の本体メモリ内のデータは削除され、キャンセルする直前までのバックアップデータが登録されます。
◎ ユーザー辞書／学習辞書（S-Shoin）、エモパーは追加登録を行った場合でも削除して登録されます。

■ スマートフォンからBluetooth®機能を利用して電話帳データを取り込む

1 データ引継画面→[データ取り込み]

microSDメモリカードが挿入されていなかったり、microSDメモリカードにバックアップデータがない場合は、取り込み元の携帯電話の選択画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 [スマートフォンから電話帳データを取り込む]

3 [次へ]

4 これまでお使いのスマートフォンのBluetooth®機能を有効にする→[次へ]

5 これまでお使いのスマートフォンを選択→[開始]

リクエスト画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
「連絡先の共有」を有効に設定するなど、相手側の機器で操作が必要な場合は行ってください。

6 [次へ]

7 [追加登録]／[削除して登録]→[OK]

アカウントを設定している場合、連絡先の登録先を選択してください。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

8 [OK]

■ microSDメモリカードにデータをバックアップする

1 データ引継画面→[SDカードにデータ保存]

保存できるデータカテゴリが一覧表示されます。

2 保存するデータカテゴリを選択

前回バックアップ時と同じ項目を選択したい場合、[⋮]→[前回選択項目のチェック]と操作します。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

3 [保存]

機内モードが無効になっている場合は、手動で機内モードを有効にするポップアップが表示されます。画面に従って操作してください。

4 [完了]

◎ 電池残量が少ないときはバックアップできません。
◎ 本体メモリの空き容量が11MB未満の場合は、microSDバックアップを利用できません。
◎ バックアップデータは最大1,000件まで保存できます。

Wi-Fi Direct®機能を利用する

これまでお使いのスマートフォンと本製品をWi-Fi Direct®で接続してデータを引き継ぐことができます。
引き継ぐデータのmicroSDメモリカードへの保存や、ネットワークへの接続を行わなくても本製品にデータを引き継ぐことができます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[詳細設定]→[データ引継]

2 [Wi-Fi経由で引き継ぐ]

3 画面に従って操作

基本操作

基本操作 **22**
タッチパネルの使いかた 22
タッチキーの使いかた 22
顔認証機能を利用する 22
AQUOS Homeを利用する 23
AQUOSかんたんホームを利用する 24
アプリケーションを起動する 24
本製品の状態を知る 24
充電／着信ランプについて 25
マナーモードを設定する 25
アプリ使用履歴を利用する 26
アプリ初回起動時の確認画面から設定する 26
共通の操作を覚える 27
文字入力 **27**
ソフトウェアキーボードを切り替える 27
文字入力画面の見かた 27
文字の入力方法 28
文字入力について設定する 29

基本操作

タッチパネルの使いかた

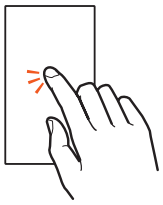
本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ・手袋をしたままでの操作
  - ・爪の先での操作
  - ・異物を操作面に乗せたままでの操作
  - ・市販の保護フィルムやシールなどを貼っての操作
  - ・ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - ・濡れた指または汗で湿った指での操作
  - ・水中での操作

■ タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

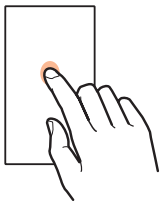
- 画面に表示された項目やアイコンを選択します。静止画表示中やWebページ閲覧中などにダブルタップすると、画面を拡大／縮小します。



■ ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。

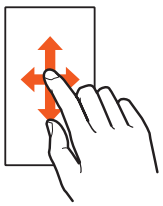
- 項目によっては、利用できるメニューが表示されます。



■ スライド／スワイプ／ドラッグ

画面に軽く触れたまま、目的の方向や位置へなぞります。

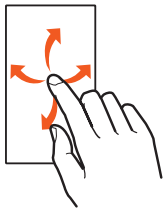
- 目的の方向へなぞって画面のスクロールやページの切り替えを行います。また、音量や明るさの調整時にバーの操作に使用します（スライド／スワイプ）。
- 項目やアイコンを目的の位置まで移動します（ドラッグ）。



■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

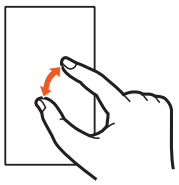
- ページの切り替えや文字のフリック入力などを行います。



■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

- Webページなどで画面を拡大／縮小します。



タッチキーの使いかた

画面下部に表示されるナビゲーションバーに次のアイコンが表示され、タッチキーとして使用します。

- 表示されている画面によっては、次のアイコン以外のタッチキーが表示される場合があります。

アイコン	概要
戻るキー	1つ前の画面に戻ります。 • 戻る画面がある場合に表示されます。
閉じるキー	表示中のソフトウェアキーボードを閉じます。
ホームキー	ホーム画面を表示します。 ロングタッチするとアシストアプリが起動します。 • 初期状態ではGoogle アシスタントが起動します。

◎ 次の操作で利用するアシストアプリを変更できます。
ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[アプリと通知]→[デフォルト アプリ]→[アシストアプリ]→[アシストアプリ]→利用するアプリを選択

顔認証機能を利用する

顔認証機能について

■ 顔認証利用時のご注意

顔認証は他のロック解除方法（パターン、PIN、パスワードなど）より安全性が低くなります。

認証性能（顔をインカメラに向けた際に顔が認証される性能）はお客様の使用状況により異なります。

顔認証を最適な形で実現するために、顔の登録時に次の点にご注意ください。

- 明るい場所で顔を登録してください。ただし、逆光となる場所では顔を登録しないでください。
- 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔を覆わないようにしてください。
- 顔を正面に向け、普通の表情で、顔全体を登録エリアの枠内に入れた状態で撮影し、頭を動かしたり、目を閉じたりしないようにしてください。

ロック画面で顔認証を行う際は、以下の点にご注意ください。

- 極端に暗い場所や明るい場所、逆光となる場所では、顔認証の成功率が下がる場合があります。
- 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔の全体、あるいは一部が覆われると、顔認証の成功率が下がる場合があります。
- 顔の角度が大きすぎると、顔認証の成功率が下がる場合があります。
- 自分に似た人や物でもロック解除されてしまう場合があります。

顔を登録する

顔認証に使う顔を登録します。

1 **ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[セキュリティ]→[顔認証]**

2 **予備のロック解除方法／通知を設定**
「画面ロック」（▶P.70）を「なし」／「スワイプ」以外に設定している場合は、設定している方法でロックを解除します。

3 **[次へ]**
「持ち上げると画面点灯する機能を有効にする」を有効にすると、「持つと画面点灯」（▶P.19）が有効になります。

4 **[OK]**

5 **インカメラに顔を向ける**
顔が登録されます。

6 **[見るだけですぐ]／[画面の表示（時計や通知など）を見てから]→[OK]**

顔を管理する

顔の削除や、顔認証のタイミングが設定できます。

1 **ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[セキュリティ]→[顔認証]**

2 **ロックを解除**

■ 登録した顔を削除する場合

3 **[顔データの削除]→[はい]**

■ ロック画面の解除タイミングを設定する場合

3 **[見るだけですぐ]／[画面の表示（時計や通知など）を見てから]**

顔認証を行う

1 **画面点灯時／ロック画面表示中に、インカメラに顔を向ける**
正しく認証されない場合は、顔の角度や距離を変更してください。

AQUOS Homeを利用する

AQUOS Homeについて

AQUOS Homeは、ホーム画面(デスクトップシート／お気に入りトレイ)とアプリ一覧画面で構成されたホームアプリです。
ホーム画面のデスクトップシートにはアプリ／機能のショートカット／ウィジェット、お気に入りトレイにはアプリ／機能のショートカットを登録することができます。アプリ一覧画面にはインストールされているアプリが表示されます。

■ AQUOS Homeの見かた

ホーム画面を上にスワイプするとアプリ一覧画面に切り替わります。
• スワイプ中に指を止め、指を離すとアプリ使用履歴画面が表示されます。
アプリ一覧画面で下にスワイプすると、アプリ一覧画面に切り替える前の画面に切り替わります。

《ホーム画面》

《アプリ一覧画面》

① **ステータスバー**
② **デスクトップシート**
複数のページがある場合、左右にフリックするとページを切り替えることができます。
③ **アプリ**
④ **フォルダ**
フォルダをタップ→フォルダ名を選択すると、フォルダ名を変更できます。
フォルダ名が未設定のときは、「名前のないフォルダ」と表示されます。
フォルダをタップしてインジケータが表示されている場合は、左右にフリックするとページを切り替えることができます。
⑤ **お気に入りトレイ**
お気に入りのアプリや機能のショートカットを登録して、すばやく起動させることができます。
⑥ **ナビゲーションバー**
⑦ **Google検索バー**
Google™ 検索を利用できます。
• 詳しくは、「Google 検索を利用する」(▶P.53)をご参照ください。
⑧ **ウィジェット**
時計エモパーウィジェットでは、日付や時刻、天気とあわせて、コメントが表示されます。タップするとエモパーを起動できます。
⑨ **アプリを検索**
インストールされているアプリの検索などができます。
• 「他のアプリを検索」をタップすると、Google Playで検索できます。
Google Playの利用方法について詳しくは、「Google Playを利用する」(▶P.52)をご参照ください。

ホーム画面を編集する

■ アプリ／ウィジェット／フォルダを移動する

1 ホーム画面／アプリ一覧画面→アプリ／ウィジェット／フォルダをロングタッチ

2 移動する位置にドラッグして、指を離す
各デスクトップシートの左右端までドラッグすると、ページを移動できます。
また、最終ページの右端にドラッグすると、新しいページを追加できます。
ホーム画面のアプリ／ウィジェット／フォルダを「削除」までドラッグするとホーム画面から削除できます。ホーム画面／アプリ一覧画面のアプリを「アンインストール」までドラッグするとアンインストールできます。

◎ ホーム画面のアプリを削除してもアプリはアンインストールされません。
◎ アプリ一覧画面のアプリをロングタッチして「ホーム画面に追加」までドラッグすると、ホーム画面にアプリを登録できます。

■ ウィジェットを登録する

1 ホーム画面の空いているスペースをロングタッチ→[ウィジェット]

2 追加するウィジェットをロングタッチ
ホーム画面が表示されます。

3 追加する位置にドラッグして、指を離す

機能のショートカットを利用する

1 ホーム画面／アプリ一覧画面→アプリをロングタッチして、指を離す

2 機能のショートカットを選択
利用できる機能のショートカットはアプリによって異なります。
機能のショートカットをロングタッチ→移動する位置にドラッグして、指を離すとホーム画面に機能のショートカットを登録できます。

壁紙を設定する

1 ホーム画面の空いているスペースをロングタッチ→[壁紙]

2 アプリを選択する

3 設定する壁紙を選択→画面の指示に従って操作

ホーム画面を設定する

1 ホーム画面の空いているスペースをロングタッチ→[ホームの設定]

2

通知ドット	通知に関する設定ができます。 • 詳しくは、「アプリと通知の設定をする」(▶P.68)の「通知」をご参照ください。
通知ドットに件数表示	通知ドットを利用している場合に件数を表示するかどうかを設定します。
ホーム画面にアイコンを追加	新しいアプリをダウンロードしたときにホーム画面にアプリのアイコンを追加するかどうかを設定します。
Google アプリの表示	ホーム画面の左端のシートを右にスワイプしたときに、Googleアプリを表示するかどうかを設定します。
ホーム画面の回転を許可	AQUOS Homeを横表示でも利用するかどうかを設定します。

AQUOSかんたんホームを利用する

AQUOSかんたんホームは、ホーム画面(デスクトップシート)とアプリ一覧画面で構成されたホームアプリです。
アイコンが大きく表示されます。
「アプリ一覧」をロングタッチすると、「壁紙」や「ウィジェット」、「ホームの設定」を利用することができます。

《AQUOSかんたんホーム画面》

AQUOSかんたんホームへ切り替える

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]

2 [ホーム切替]→[AQUOSかんたんホーム]

◎ AQUOS Homeに戻すには、ホーム画面→[アプリ一覧]→[設定]→[ホーム切替]→[AQUOS Home]と操作します。

楽ともリンクに登録する

AQUOSかんたんホーム画面下部の1／2／3(楽ともリンク)に、よく連絡する相手を登録しておくと、簡単な操作で電話をかけたり、EメールやSMSを作成したりすることができます。

- あらかじめ、登録する相手の電話番号とメールアドレスを電話帳に登録しておいてください。
- 登録後は、ボタンの下に登録した相手の名前が表示されるようになります。

1 ホーム画面→[1]／[2]／[3]→[はい]→登録する相手を選択→[次へ]

2 アイコンを選択
楽ともリンクに登録されます。
プリセットから選ぶ場合は、[プリセットから選ぶ]→アイコンを選択→[はい]と操作します。

アプリケーションを起動する

アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→アプリケーションをタップ

本製品の状態を知る

アイコンについて

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせするお知らせアイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

- お知らせアイコンやステータスアイコンが複数あり、表示範囲内に表示できない場合は•が表示されます。

■主なお知らせアイコン

アイコン	概要
12:34	時刻
	電池残量が約15%以下
	不在着信あり
	新着auメールあり
	新着＋メッセージあり／新着SMSあり
	新着PCメールあり
	新着Gmailあり
	アラーム情報あり
	カレンダーの予定通知あり
	発信中、通話中、着信中
	保留中
	簡易留守録情報あり
	本体メモリの空き容量低下
	USB テザリング利用中
	Bluetooth®ファイル受信リクエストあり
	データのアップロード／ダウンロード、送受信など :データのアップロード・送信時 :データのダウンロード・受信時
	利用可能なアップデートあり
	ソフトウェア更新情報あり

■主なステータスアイコン

アイコン	概要
	アラーム設定あり
～	電池レベル状態 ～:残量表示 :残量約15%以下 • 充電中は電池マークに が重なって表示されます。 • 電池マークの右に電池残量を%で表示することができます。 (▶P.68)
	機内モード設定中
～	電波の強さ(受信電界) ～:レベル表示 :圏外 • ネットワークを示すアイコンが左に表示されます。 4G :LTE／WiMAX 2+使用可能※ • 通信中は が重なって表示されます。
	ローミング中
	マナーモード状態 :マナーモード(バイブ) :マナーモード(ミュート)
	高度なマナーモード設定中
	ハンズフリーで通話中
	通話中のマイクを「ミュート」に設定中
～	Wi-Fi®の電波の強さ ～:レベル表示 • 通信中は が重なって表示されます。
	Bluetooth®通信中
	簡易留守録設定中 :簡易留守録なし :簡易留守録あり(1～49件) :簡易留守録が50件
	位置情報をGPSで測位中
	Wi-Fi®テザリング利用中

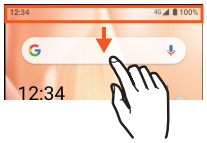
※「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

お知らせ／ステータスパネルを利用する

お知らせ／ステータスパネルでは、お知らせアイコンやステータスアイコンの確認や対応するアプリケーションの起動ができます。
また、マナーモードや機内モードなどを設定できます。

■ お知らせパネルを表示する場合

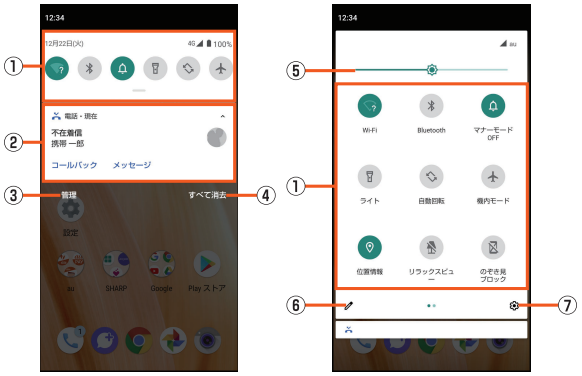
1 ステータスバーを下にスライド



■ ステータスパネルを表示する場合

1 ステータスバーを2本の指で下にスライド

■ お知らせ／ステータスパネルの見かた



《お知らせパネル》　《ステータスパネル》

① **機能ボタン**
よく使う機能の設定を変更することができます。操作方法は機能によって異なります。
- ステータスパネルでは、左右にフリックすると、ページを切り替えることができます。

② **お知らせ**
本製品の状態や通知の内容を確認できます。通知をタップすると対応するアプリケーションを起動できます。
- 通知を左右にフリックすると削除できます。ただし、通知によっては削除できない場合もあります。
- 表示範囲を上にスライドすると、隠れているお知らせを表示できます。
- 通知を2本の指で上下にスライドまたはピンチイン／ピンチアウトすると詳細表示と簡易表示を切り替えられます。詳細表示では、表示されるメニューから直接メッセージの返信などを行うことができます。
- 通知をロングタッチすると、アプリの通知を設定できます。

③ **管理**
通知を表示するアプリが表示されます。
アプリごとに通知を許可するかどうかを設定します。

④ **すべて消去**
タップすると通知がすべて消去されます。ただし、通知によっては削除できない場合もあります。

⑤ **明るさ調整バー**
バーを左右にスライドして明るさを設定します。

⑥ **編集**
表示する機能ボタンを変更したり並べ替えたりできます。

⑦ **設定**
タップすると本製品について、各種設定を行います。
- 詳しくは、「設定メニューを表示する」(▶P.66)をご参照ください。

◎ 画面を上下にスライドすると、お知らせパネル／ステータスパネルを切り替えられます。

■ 表示する機能ボタンを変更する

1 ステータスパネルを表示→[✎]

2 機能ボタンをロングタッチ→ドラッグして指を離す
機能ボタンを並べ替えます。
「タイルを追加するには長押ししてドラッグ」より下にドラッグすると非表示に、上にドラッグするとお知らせ／ステータスパネルに表示できます。

3 [◁]
編集が確定します。

充電／着信ランプについて

充電／着信ランプの点灯／点滅により、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせします。

表示状態	色	端末の状態
点灯	赤色	充電中(電池残量約94%以下)
点灯	緑色	充電中(電池残量約95%以上)
点滅	赤色	充電ができない状態
点滅	白色	不在着信など新着通知あり

- アプリによっては、充電／着信ランプについて設定できるものがあります。

◎ ディスプレイが表示されている場合、不在着信など新着通知をお知らせする充電／着信ランプが点滅しません。お知らせ／ステータスパネルでお知らせアイコンを確認してください。
◎ 充電完了(電池残量100%表示)後も、指定の充電用機器(別売)を接続したままの状態では、緑色で点灯し続けます。

マナーモードを設定する

公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定します。
設定できるモードは次の通りです。

バイブ	着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータが動作します。アラーム音、メディア音は設定されている音量で鳴ります。
ミュート	着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。アラーム音、メディア音は設定されている音量で鳴ります。
高度なマナーモード	通知動作や、特定の連絡先からの着信、設定した時間帯での通知動作などについて設定します。 • 詳しくは、「マナーモードの高度な設定について」(▶P.25)をご参照ください。

1 ステータスパネルを表示→[マナーモード]

◎ 簡易留守録設定が「マナーモード連動」に設定されている場合、マナーモードが設定されているときは簡易留守録が有効になり、簡易留守録の設定に従って動作します。
◎ マナーモードを設定すると、機能ボタンの表示が変更されます。
◎ 🔊(+)／🔊(−)を押して音量バーを表示させた後、「マナーOFF」／「バイブ」／「ミュート」をタップしてもマナーモードを設定できます。
- 高度なマナーモードの設定を行う場合は[⚙]→[詳細]→[高度なマナーモード]と操作します。

◎ マナーモード中でもカメラのシャッター音や撮影開始／終了音は鳴動します。また、「タップ操作時のバイブ」の設定によっては、バイブレータが振動します。

■ マナーモードの高度な設定について

1 ステータスパネルを表示→「マナーモード」をロングタッチ

2 [高度なマナーモード]

3

通話	着信した場合の例外動作を設定します。
SMS、MMS、メッセージ アプリ	メッセージが届いた場合の例外動作を設定します。
すべての例外を表示	「高度なマナーモード」がONの場合の例外動作を設定します。
通知の制限	通知が届いた場合の動作を設定します。
デフォルトの期間	「高度なマナーモード」がOFFになるまでの期間を設定します。 「スケジュール」が設定された場合は「スケジュール」の設定に従います。
スケジュール	「高度なマナーモード」のON／OFFが自動的に切り替わるスケジュールを設定します。

4 [今すぐONにする]
「高度なマナーモード」がONになり、設定した項目の内容に合わせて動作します。「今すぐOFFにする」をタップすると解除されます。

アプリ使用履歴を利用する

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。

1 ナビゲーションバーを上にスワイプ
ホーム画面を上にスワイプし、指を止めたあと離してもアプリ使用履歴画面を表示できます。

■ アプリ使用履歴画面の見かた

《アプリ使用履歴画面》

① **アプリの使用履歴**
アプリを起動できます。
・上にフリックすると使用履歴を削除できます。

② **すべてクリア**
使用履歴をすべて消去します。

③ **お気に入りトレイ**
お気に入りトレイに登録したアプリや機能のショートカットを起動できます。
・詳しくは、「AQUOS Homeについて」(▶P.23)をご参照ください。

④ **アプリアイコン**
アプリ情報の確認と分割画面でのアプリ起動ができます。

◎ お気に入りトレイを上にフリックするとアプリ一覧画面を表示できます。
◎ アプリによっては履歴に表示されない場合があります。

■ 2つのアプリを同時に表示する(分割画面)

画面を上下に分割し、2つのアプリをそれぞれ操作することができます。

1 アプリ使用履歴画面で、画面上部に表示するアプリのアイコンをタップ→[分割画面]
選択したアプリが画面上部に、アプリ使用履歴が画面下部に表示されます。

2 画面下部に表示するアプリの使用履歴をタップ
アプリ使用履歴に利用するアプリが表示されていない場合は、お気に入りトレイやホーム画面から選択してください。

《分割画面》

① **セパレータ**
上下にフリックすると、画面上部／下部のアプリを通常表示します。

3 表示されたアプリを利用

4 セパレータを上下にフリック
通常表示に戻ります。

◎ 利用するアプリケーションによっては、分割画面表示に切り替わらない場合や通常表示に切り替わる場合があります。
◎ 利用するアプリケーションによっては、分割画面表示では利用できない機能などがあります。
◎ 分割画面表示中の「◀」のタップは、最後に使用したアプリに対して動作します。
◎ 分割画面表示中は、ホーム画面などからアプリを起動しても分割画面表示になります。

アプリ初回起動時の確認画面から設定する

アプリ初回起動時の確認画面について

それぞれのアプリ／機能を初めて起動したときは、「電池の最適化」などの確認画面が表示され、動作について設定を行います。
・アプリ／機能によって、表示される確認画面の種類や内容は異なります。ここでは、「アプリの権限」「電池の最適化」の2種類の確認画面について説明します。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

例：＋メッセージを起動した場合

1 アクセス権限の許可をリクエストする確認画面→[許可]／[許可しない]
通常は「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。
利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

■ 利用する機能について設定する

利用する機能について、次の手順で設定することもできます。

■アプリごとに利用する機能を設定する

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[アプリと通知]

2 [XX個のアプリをすべて表示]→アプリを選択→[権限]

3 機能を選択

4 [許可]／[許可しない]

■機能ごとに利用するアプリを設定する

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[アプリと通知]→[詳細設定]→[権限マネージャ]

2 機能を選択

3 アプリを選択

4 [許可]／[許可しない]

◎ 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
◎ アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認のうえ、画面に従って操作してください。
◎ 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

電池の最適化

電池の最適化を行うと、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しないように設定されます。
・アプリによっては、起動時や機能の設定時に「電池の最適化」の確認画面が表示される場合があります。通常は電池の最適化を行わないでください。最適化を行うと、アプリが終了する場合があります。
・電池の最適化を行った場合、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しません。アプリ／機能が利用できないなど、意図しない現象が発生することがあります。

■ 電池の最適化の設定をする

電池の最適化について、次の手順で設定することもできます。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[アプリと通知]→[詳細設定]→[特別なアプリアクセス]→[電池の最適化]
最適化していないアプリの一覧が表示されます。
[最適化していないアプリ]→[すべてのアプリ]と操作すると、すべてのアプリが表示されます。

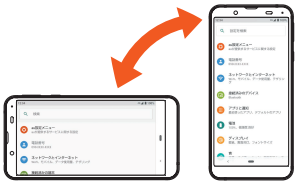
2 アプリを選択→[最適化する]／[最適化しない]→[完了]

共通の操作を覚える

縦横表示を切り替える

本製品の向きに合わせて、縦横表示を切り替えます。

例：縦(横)表示から左(右)に回転した場合



《横表示》　《縦表示》

◎ 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
◎ 縦横表示を切り替えるかどうかは、ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ディスプレイ]→[詳細設定]→[画面の自動回転]で設定できます。
- 「画面の自動回転」が無効に設定されていてもアプリケーションによっては、端末が回転するとナビゲーションバーに が表示され、タップすると画面表示を本製品の向きに合わせて回転させることができます。

◎ アプリケーションによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

利用できるメニューを表示する

などをタップすると、メニューを表示することができます。

例：ダイヤル画面の場合

■ 各項目やデータのメニューについて

各項目やデータをロングタッチすると利用できるメニューが表示されます。

例：連絡先詳細画面の場合

チェックボックスを利用する

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、チェックボックスをタップすることで設定の有効／無効を切り替えることができます。
また、データの「選択移動」「選択保存」「選択削除」などをする際は、チェックボックスをタップすることで項目の選択／選択解除を切り替えることができます。

アイコン例	説明
☑	設定が有効／項目が選択されている状態です。
☐	設定が無効／項目が選択されていない状態です。

文字入力

ソフトウェアキーボードを切り替える

ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄を選択すると表示されます。
本製品では、次のソフトウェアキーボードを利用できます。

テンキーボード	一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。文字入力キーを繰り返しタップして文字を切り替え、文字を入力します。
QWERTYキーボード	一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。文字入力キーをタップして、表示されている文字を入力します。

1 文字入力画面→[⚙]→[キーボードタイプ]→[テンキーボード]／[QWERTYキーボード]

■ フリック入力について

複数の文字や機能が割り当てられたキーの場合、上下左右にフリックすることで、文字や機能を選択することができます。
キーに触れると、フリック入力で選択できる候補が表示されます。選択したい文字や機能が表示されている方向にフリックすると、文字入力や機能選択ができます。例えば「テンキーボード」で「あ」を入力する場合は「あ」をタップするだけで入力でき、「お」を入力する場合は「あ」を下にフリックすると入力されます。

文字入力画面の見かた

《テンキーボード》　《QWERTYキーボード》

※各キーは設定や状況に応じて表示が切り替わります。

① **文字入力エリア**

② **入力候補リスト**
文字を入力すると予測変換候補リストが表示されます。予測変換候補リストで[⌄]→[変換]と操作すると、入力した文字に該当する変換候補だけを表示できます。候補学習を有効に設定している場合は、入力が確定すると候補学習候補リストが表示されます。
- 「⌄」をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、「⌃」をタップします。

③ **逆トグルキー／戻すキー**
:タップすると入力した文字から逆回しで文字を入力することができます。
:タップすると直前に確定した文字を未確定状態に戻したり、直前に削除した文字を5回分の操作まで戻すことができます。

④ **文字入力キー**
各キーに割り当てられた文字を入力できます。

⑤ **カーソルキー**
タップするとカーソルが左／右に移動します。
文字を変換するときにタップすると、文字の区切りを変更します。

⑥ **絵文字・記号・顔文字キー**
絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。

⑦ **入力モード切替キー**
タップすると、半角英字→半角数字→ひらがな漢字の順に、入力モードが切り替わります。
入力モードに応じて、キーの表示が切り替わります。

⑧ **削除キー**
文字を削除します。

⑨ **確定キー／改行キー／スペースキー／変換キー**
確定：入力中の文字を確定します。
↵：カーソルの位置で改行します。
␣：スペースを入力します。
変換：通常変換の候補リストを表示します。
- アプリケーションや入力中の項目によって、表示が切り替わります。
- テンキーボードで変換キーを表示するには、あらかじめ「変換キー表示（テンキーボード）」を有効にしておいてください（▶P.29「その他の設定をする」）。

⑩ **大文字・小文字キー／スペースキー**
大⇔小：入力した文字を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。
A⇔a：入力した英字を大文字／小文字に切り替えたり、上にフリックしてアポストロフィを入力したりします。
␣：スペースを入力します。

⑪ **シフトキー**
QWERTYキーボードで英数字を入力するときに操作できます。タップすると、大文字／小文字入力を切り替えます。タップするたびに、表示が次のように変更されます。
⇧：小文字入力
⇧：最初に入力する文字を大文字で入力
⇧：大文字入力ロック
また、数字入力時にタップすると、入力できる記号を切り替えます。

◎「∨」をタップすると、表示中のソフトウェアキーボードを閉じることができます。

■ ツールバーについて

入力候補リストが表示されていないときは、キーボード上部にツールバーが表示されます。

例：テンキーボードの場合

① **ツールバー**
<：タップすると、ツールバーをスクロールします。
：ソフトウェアキーボードの設定項目が表示されます。左右にフリックすると、ページが切り替わります。
設定について詳しくは、「S-Shoinの設定を行う」（▶P.29）をご参照ください。
：ドラッグすると、ソフトウェアキーボードの位置を調整できます。
：タップすると、キーボードを画面下部から切り離します。「：」をドラッグすると、画面内の任意の場所にソフトウェアキーボードを配置できます。「：」をタップしてバーを左右にドラッグすると、ソフトウェアキーボードの透過を調整できます。「：」をタップすると元の配置に戻ります。
：ドラッグすると、ソフトウェアキーボードのサイズを調整できます。
：タップすると、切り取り／コピーした履歴を選択して貼り付けたり、履歴をすべて削除できます。
：音声入力ができます。
音声入力について詳しくは、「音声で入力する」（▶P.29）をご参照ください。
∨：タップすると、ツールバーを縮小します。
縮小したツールバーをタップすると拡大します。

◎ ツールバーの「：」をタップすると、ツールバーに表示する設定アイコンを選択することができます。挿入箇所をタップ→挿入する設定項目をタップと操作してください。

文字の入力方法

文字を入力する

ソフトウェアキーボードを使用して文字を入力します。ワイルドカード予測／予測変換／候補学習の機能を利用して入力することもできます。

例：「大阪」と入力する場合

1 文字入力画面→「おおさか」と入力

2 変換候補から「大阪」をタップ

予測変換について
◎ 予測変換候補リストで「ネット変換」をタップすると、インターネット上の変換エンジンを利用して変換候補を取得し、予測変換候補リストに表示します。
◎ 予測変換候補リストで学習した変換候補をロングタッチ→[🗑]と操作すると、学習した変換候補を削除できます。
◎ ひらがな入力中に予測変換候補リストで「予測」／「変換」／「カナ英数」／「カナ英字」をタップすると、予測変換候補リスト／通常変換候補リスト／カナ英数変換候補リスト／カナ英字変換候補リストを切り替えられます。

■ ワイルドカード予測を利用する

読みの文字数から変換候補を表示し、入力できます。

例：「テレビ」と入力する場合

1 文字入力画面→「て」と入力

2 [▸]→[▸]
「▸」をタップするたびに「○」が入力され、文字数に合わせた変換候補が予測変換候補リストに表示されます。

3 変換候補から「テレビ」をタップ

入力モードを切り替える

入力する文字種を切り替えます。

1 文字入力画面→[⚙]→[入力モード切替]

2 入力モードを選択

◎ 操作する画面やアプリケーションなどによっては、入力できない文字種があります。

絵文字／記号／顔文字を入力する

1 文字入力画面→[☺記]

2 絵文字／記号／顔文字を選択

◎ 操作する画面によっては、表示できない一覧や、入力できない絵文字／記号／顔文字があります。

■ 絵文字／記号／顔文字一覧画面の見かた

《絵文字／記号／顔文字一覧画面》

① **ツールバー**
詳しくは、「ツールバーについて」（▶P.28）をご参照ください。

② **絵文字／記号／顔文字リスト**
絵文字／記号／顔文字をカテゴリごとに一覧表示します。

③ **カテゴリ**
絵文字／記号／顔文字のカテゴリです。選択したカテゴリに応じて、絵文字／記号／顔文字のリストが表示されます。「🕒」をタップすると、使用履歴を選択して、絵文字／記号／顔文字を入力することができます。

④ **キーボード表示キー**
文字入力画面に戻ります。

⑤ **文字切替**
絵文字／記号／顔文字を切り替えます。

⑥ **削除キー**
選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。

音声で入力する

1 文字入力画面→[🎤]

2 送話口(マイク)に向かって話す

🎤:音声入力を受け付けています。認識が完了すると文字が入力されます。タップすると音声入力を一時停止します。

🎤:音声入力を一時停止しています。タップすると音声入力を開始します。

✕:タップするとソフトウェアキーボードに切り替えます。

文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

1 文字入力画面→文字入力エリア内の文字をロングタッチ

「🔵」／「🔵」をドラッグして範囲を選択してください。

[⋮]→[すべて選択]と操作すると、すべての文字を選択できます。

2 [切り取り]／[コピー]

3 貼り付ける位置をタップ→[💧]→[貼り付け]

- 文字が未入力の入力欄に貼り付ける場合は、入力欄をロングタッチすると「💧」が表示されます。
- 「💧」をドラッグしてカーソルの位置を移動することができます。

◎ アプリケーションにより表示されるアイコンなどが異なる場合があります。

文字入力について設定する

S-Shoinの設定を行う

S-Shoinでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定できます。

1 文字入力画面→[⚙]

2

キーボードタイプ	使用するソフトウェアキーボードのタイプを設定します。
入力モード切替	▶P.28「入力モードを切り替える」
単語登録	ユーザー辞書に単語を登録します。 • ユーザー辞書について詳しくは、「ユーザー辞書に登録する」(▶P.30)をご参照ください。
キーボードイメージ	ソフトウェアキーボードの色やデザインを設定します。
キー操作	キーをタップしたときの音や振動について設定します。
フリック・トグル	フリック入力の感度やトグル入力などについて設定します。
外部アプリ連携	ネット変換エンジンや自動外部変換を利用するかどうかを設定します。
辞書	▶P.30「ユーザー辞書に登録する」
学習辞書リセット	学習辞書をリセットします。
設定リセット	S-Shoinの設定をリセットします。
その他	▶P.29「その他の設定をする」

■ その他の設定をする

1 文字入力画面→[⚙]→[その他]

2

表示	**キーボードタイプ** 使用するソフトウェアキーボードのタイプを画面の向き、入力モードごとに設定します。 **一括シンプル切替** 見やすい色と形のソフトウェアキーボードを使用するかどうかを設定します。 **キーボードイメージ** ソフトウェアキーボードの色やデザインを設定します。 **数字キーを表示** QWERTYキーボード利用中に入力モードを半角数字／全角数字以外に切り替えた場合でも数字キーを表示させるかどうかを設定します。 **カナ英数キー表示** 「カナ英」キー／「カナ英数」キーを表示するかどうかを設定します。 **変換キー表示(テンキーボード)** テンキーボード利用中に変換候補欄に通常変換候補を表示する「変換」キーを表示させるかどうかを設定します。 **ガイド表示** テンキーボードで入力モードをひらがな漢字に設定したときに、キーボード上にカナ英数入力ガイドを表示するかどうかを設定します。 **候補表示エリア** 入力候補リストを表示する行数を設定します。
予測／変換	**日本語候補学習** 日本語候補学習を有効にするかどうかを設定します。 **日本語予測変換** 日本語予測変換を有効にするかどうかを設定します。 **日本語ワイルドカード予測** ひらがな漢字入力時にワイルドカード予測を利用します。 • ワイルドカード予測について詳しくは、「ワイルドカード予測を利用する」(▶P.28)をご参照ください。 **半角スペース入力** 全角入力時にも半角スペースを入力するかどうかを設定します。 **候補学習** 候補学習を有効にするかどうかを設定します。 **予測変換** 予測変換を有効にするかどうかを設定します。 **ワイルドカード予測** 半角英字入力時にワイルドカード予測を利用します。 • ワイルドカード予測について詳しくは、「ワイルドカード予測を利用する」(▶P.28)をご参照ください。 **自動スペース入力** 半角英字入力時に自動的に半角スペースを挿入するかどうかを設定します。 **自動大文字変換** 半角英字入力時に自動的に文頭の文字を大文字にするかどうかを設定します。
キー操作	**キー操作音** キーをタップしたときに音を鳴らすかどうかを設定します。 **キー操作バイブ** キーをタップしたときに振動で知らせるかどうかを設定します。 **キー操作バイブ時間** キーをタップしたときに振動する時間の長さを設定します。 **キーポップアップ** 文字入力エリアでキーをタップしたときにフリックガイドのポップアップを表示するかどうかを設定します。 **括弧内カーソル移動** 対応する括弧(「」、【】など)の入力時に、括弧内にカーソルを自動で移動させるかどうかを設定します。 **文字削除キー動作** 削除キーの動作を設定します。 **フリック感度** フリック入力の感度を設定します。 **トグル入力** キーを繰り返しタップして文字を入力できるようにするかどうかを設定します。 **自動カーソル移動** トグル入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。
外部アプリ連携	**ネット変換エンジン** ネット変換エンジンを利用するかどうかを設定します。 **自動外部変換** 自動でネット変換するかどうかを設定します。
辞書	▶P.30「ユーザー辞書に登録する」
その他	**学習辞書リセット** 学習辞書をリセットします。 **設定リセット** S-Shoinの設定をリセットします。 **バージョン情報** S-Shoinのバージョンを確認できます。 **利用規約・プライバシーポリシー** 利用規約やプライバシーポリシーを確認できます。

自動カーソル移動について

◎ カーソル移動後でも、゛(濁点)／゜(半濁点)の付加や、大文字／小文字の変換を行うことができます。

ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの表記と読みを、日本語と英語をそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 文字入力画面→[⚙]→[辞書]

2 [日本語]／[英語]→[⋮]→[登録]

3 読み／単語を入力→[OK]

文字入力画面→[⚙]→[単語登録]でも同様に操作できます。

■ ユーザー辞書単語一覧画面のメニューを利用する

1 ユーザー辞書単語一覧画面→[⋮]

2

登録	単語をユーザー辞書に登録します。
編集	選択している単語を編集します。
削除	選択している単語を削除します。
すべて削除	登録した単語をすべて削除します。

入力拡張プラグインを利用する

入力拡張プラグインを利用すると、いろいろな文字入力に関する機能を拡張できます。

1 文字入力画面→「 」をロングタッチ

2 アプリケーションを選択

◎ 入力拡張プラグインは、アプリケーションをインストールして利用することもできます。アプリケーションのインストール方法について詳しくは、「Google Playを利用する」(▶P.52)をご参照ください。

◎ 入力候補リストの変換候補をロングタッチ→[🔌]と操作し、アプリケーションを選択しても同様に操作できます。

電話・電話帳

電話 **32**
- 電話をかける 32
- 電話を受ける 34
- 通話に関する設定をする 34
- 自分の電話番号を確認する 35

電話帳 **36**
- 電話帳に登録する 36
- 電話帳の一覧を利用する 36
- 電話帳の登録内容を利用する 36

電話

電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

1 ホーム画面→[📞]→[⠿]
ダイヤル画面が表示されます。

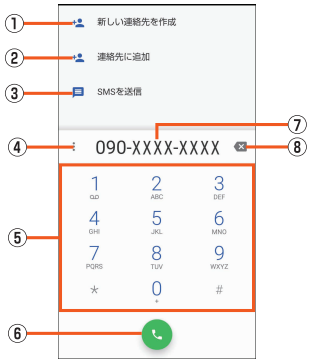
2 電話番号を入力
一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 [📞]→通話
通話中画面が表示されます。
通話中に[+]／[−]を押すと、通話音量（相手の方の声の大きさ）を調節できます。

4 [📞]
通話が終了します。

◎ お知らせ／ステータスパネルの通知に「通話中」と表示されている場合でも、相手の方が電話を受けていないことがあります。相手の方が受けていることを確認してからお話しください。
◎ 発信中／通話中に顔などによって近接センサーをおおうと、誤動作を防止するため画面が消灯します。
◎ 送話口（マイク）をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
◎ 「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号（110、119、118）へは電話をかけることができます。
◎ 通話中に他のアプリケーションを起動した場合に、通話中画面を表示したいときは、ステータスバーを下にスライドして「通話中」をタップしてください。

■ ダイヤル画面の見かた



《ダイヤル画面》

① 新しい連絡先を作成
入力した電話番号を電話帳に新規登録します。
② 連絡先に追加
入力した電話番号を電話帳に追加登録します。
③ SMSを送信
入力した電話番号を宛先にしてメッセージを作成します。
④ メニュー
2秒間の停止や待機を追加できます。
⑤ キーパッド
⑥ 発信
電話をかけます。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力のときにタップすると最新の発信履歴が入力されます。
⑦ 電話番号入力欄
⑧ 削除
最後に入力した数字を1桁削除します。ロングタッチすると、すべての数字を削除します。
・ 電話番号入力欄を選択してカーソルを表示した場合は、カーソル左側の数字を1桁削除します。

◎ 入力した電話番号が電話帳に登録されている番号と一致する場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。タップすると発信します。

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

◎ 警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
◎ 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE（LTEネットワーク）を利用します。3G（回線交換ネットワーク）を利用しての接続はできません。
◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
◎ 日本国内の緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
◎ 緊急通報受理機関への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
◎ 着信拒否を設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は自動的に約2時間解除されます。緊急通報後、次の操作で解除された着信拒否設定を元に戻すことができます。
ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[ブロック中の電話番号]→[再度有効にする]

通話中画面の操作

・ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

ミュート	相手の方にこちらの声が聞こえないようにするかどうかを設定します。タップするたびにミュート（🎤）／ミュート解除（🎤）が切り替わります。
キーパッド	キーパッドを表示します。プッシュ信号の送信ができます。
スピーカー	ハンズフリーで通話するかどうかを設定します。タップするたびにスピーカーON（🔊）／OFF（🔊）が切り替わります。
音声	音声の出力先を設定します。 ・ ヘッドセットと接続状態のときに設定できます。ヘッドセットとの接続について詳しくは、「Bluetooth®機器と接続する」（▶P.63）をご参照ください。
通話を追加	通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。
統合	三者通話を行います。 ・ 詳しくは、「三者通話サービスを利用する（オプションサービス）」（▶P.77）をご参照ください。
管理	三者通話を行っている相手の方を確認します。
切り替え	三者通話を管理します。
保留	▶P.32「通話中に保留する」

■ 通話中に保留する

保留中は、通話先にガイダンスが流れます。

1 通話中画面→[保留]
保留が開始され、通話先にガイダンスが流れます。
保留中に再度「保留」をタップすると保留を解除します。

■ 通話中画面のメニューを利用する

1 通話中画面→[メニュー]

2

通話音声メモ	通話中の相手の方の音声と自分の音声を録音します。 ・ 録音できるのは、1件あたり約60分間で、50件までです。本体メモリの空き容量が不足した場合、録音できない場合があります。50件を超えると古いものから順に削除されますが、すべて保護されている場合は録音できません。 ・ 録音した通話音声メモの再生について詳しくは、「簡易留守録／通話音声メモを再生する」（▶P.35）をご参照ください。
電話帳参照	電話帳を表示します。
通話履歴参照	通話履歴の詳細画面を表示します。

履歴を利用して電話をかける

1 ホーム画面→[📞]→[通話履歴]
通話履歴一覧画面が表示されます。

2 電話をかける履歴の「📞」をタップ

◎ 通話履歴は最大500件まで保存され、500件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。

■ 通話履歴一覧画面の見かた

《通話履歴一覧画面》

① 検索欄
連絡先を検索できます。
・「🎤」をタップすると、音声検索もできます。

② 電話番号／名前／非通知着信の理由／ネットワークサービスの内容
タップすると、電話帳への登録やメッセージの送信、通話履歴の詳細の確認などを行うことができます。
ロングタッチすると、番号のコピーや番号を編集して発信することができます。

③ 電話帳に登録している写真
タップすると電話帳に登録している内容の一部が表示されます。
・上にスライドすると登録内容を確認でき、下にスライドすると通話履歴一覧画面に戻ります。

④ 発着信状態アイコン
↗:発信
↙:着信
↙:不在着信／着信拒否

⑤ クイックアクセス
タップするとクイックアクセス一覧画面を表示します。

⑥ 発着信日時

⑦ 発信アイコン
タップすると発信します。

⑧ ダイヤルアイコン
ダイヤル画面を表示します。

⑨ 連絡先
タップすると連絡先一覧画面を表示します。

■ 通話履歴一覧画面のメニューを利用する

1 通話履歴一覧画面→[⋮]

2
・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

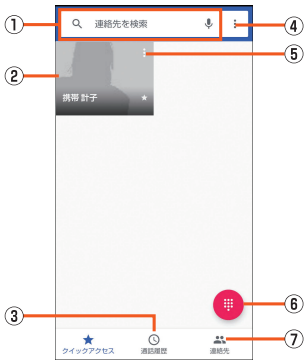
通話履歴	通話履歴の詳細画面を表示します。 ・通話履歴の削除や、不在着信の確認などを行うことができます。
設定	通話に関する設定をします。 ・詳しくは、「通話に関する設定をする」(▶P.34)をご参照ください。

クイックアクセスを利用する

電話帳でお気に入りに登録した連絡先を一覧表示して利用できます。

1 ホーム画面→[📞]→[クイックアクセス]

■ クイックアクセス一覧画面の見かた



《クイックアクセス一覧画面》

① 検索欄
連絡先を検索できます。
・「🎤」をタップすると、音声検索もできます。

② 電話帳に登録している写真
タップすると発信します。
・ロングタッチして「Remove」までドラッグすると、電話帳のお気に入りを解除できます。

③ 通話履歴
タップすると通話履歴一覧画面を表示します。

④ メニュー
通話履歴一覧画面と同じメニューが利用できます。
詳しくは、「通話履歴一覧画面のメニューを利用する」(▶P.33)をご参照ください。

⑤ 連絡先のメニュー
タップすると電話帳に登録している内容の一部が表示されます。
・上にスライドすると登録内容を確認でき、下にスライドするとクイックアクセス一覧画面に戻ります。

⑥ ダイヤルアイコン
ダイヤル画面を表示します。

⑦ 連絡先
タップすると連絡先一覧画面を表示します。

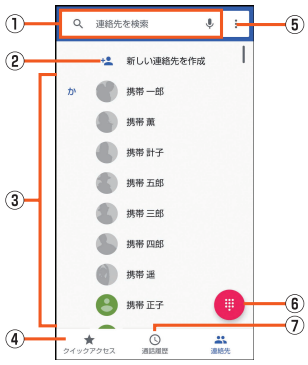
連絡先一覧を利用する

電話帳に登録した内容を確認できます。

1 ホーム画面→[ ]→[連絡先]

連絡先を選択して、電話番号欄をタップすると発信できます。

■ 連絡先一覧画面の見かた



《連絡先一覧画面》

① **検索欄**
連絡先を検索できます。
・「 」をタップすると、音声検索もできます。

② **新しい連絡先を作成**

③ **連絡先一覧**
タップすると電話帳に登録している内容の一部が表示されます。
・上にスライドすると登録内容を確認でき、下にスライドすると連絡先一覧画面に戻ります。

④ **クイックアクセス**
タップするとクイックアクセス一覧画面を表示します。

⑤ **メニュー**
通話履歴一覧画面と同じメニューが利用できます。
詳しくは、「通話履歴一覧画面のメニューを利用する」(▶P.33)をご参照ください。

⑥ **ダイヤルアイコン**
ダイヤル画面を表示します。

⑦ **通話履歴**
タップすると通話履歴一覧画面を表示します。

au電話から海外へかける(au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例:本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 ホーム画面→[ ]→[ ]

2 国際アクセスコード「010」を入力
「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。

3 アメリカの国番号「1」を入力

4 市外局番「212」を入力
市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部例外もあります)。

5 相手の方の電話番号「123XXXX」を入力→[ ]

◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ:
au電話から(局番なしの)157番(通話料無料)
一般電話から 0077-7-111(通話料無料)
受付時間 毎日9:00~20:00

電話を受ける

電話に出る

着信すると次の内容が表示されます。
・相手の方から電話番号の通知があると、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、名前と電話番号が表示されます。
・相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。「非通知設定」「公衆電話」「不明※」
※相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

1 着信中に「 」を上にスワイプ→通話
画面点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信があった場合は、「電話に出る」をタップします。

2 [ ]
通話が終了します。

◎ LTE NET、LTE NET for DATAをご契約いただいていない場合、ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]と操作し、「モバイルデータ」を無効にしてご利用ください。
◎ かかってきた電話に出なかった場合はステータスバーに が表示されます。ステータスバーを下にスライドしてお知らせパネルを開くと、着信のあった電話番号、または電話帳に登録されている名前などが表示されます。
◎ 着信音が鳴っているときに(+)/(−)を押すと、着信音が消音になり、バイブレータを停止することができます。

着信に簡易留守録で応答する

簡易留守録のメッセージで応答し、相手の方の伝言を録音します。

1 着信中に「 」を上にスワイプ→[簡易留守録]
画面点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信があった場合は、画面上部の連絡先をタップ→「 」を上にスワイプ→[簡易留守録]と操作します。

◎ 簡易留守録録音中に「受話音声」をタップすると、相手の方の音声のON/OFFを切り替えられます。

着信を拒否する

着信を拒否すると、かかってきた電話が切れます。相手の方には「おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

1 着信中に「 」を下にスワイプ
画面点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信があった場合は、「拒否」をタップします。

着信を拒否してメッセージ(SMS)を送る

クイック返信すると、かかってきた電話が切れます。相手の方には「おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせし、メッセージを送信します。

1 着信中に「 」を上にスワイプ
画面点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信があった場合は、画面上部の連絡先をタップ→「 」を上にスワイプと操作します。

2 送信するメッセージを選択

◎ 送信するメッセージで「カスタム返信を作成...」をタップすると、SMSを作成してメッセージを送ることができます。
◎ 送信するメッセージを、あらかじめ「通話に関する設定をする」(▶P.34)の「クイック返信」で編集することができます。
◎ 相手の方の電話番号が通知されない場合はクイック返信できません。また、通信環境によってはクイック返信できない場合があります。
◎ 送信するメッセージを選択するまでは、相手の方には呼出音が流れます。SMSを送信する前に簡易留守録が応答する場合があります。

通話に関する設定をする

1 ホーム画面→[ ]→[ ]→[設定]

2

音とバイブレーション	本製品の音やバイブレーションなどについて設定します。 ・詳しくは、「音の設定をする」(▶P.69)をご参照ください。
クイック返信	着信画面で送信するSMSのメッセージを編集します。 ・編集するメッセージを選択→メッセージを編集→[OK]と操作すると、メッセージを編集できます。
通話	▶P.35「通話の設定をする」
ブロック中の電話番号	指定した電話番号からの着信とSMS受信を拒否します。 ・詳しくは、「着信拒否の設定をする」(▶P.35)の「指定番号」をご参照ください。
ボイスメール	ボイスメールについて設定します。
電話アプリについて	電話アプリのバージョンやオープンソース ライセンスなどを表示します。

通話の設定をする

1 **ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[通話]**

2

着信転送	着信転送サービスについて設定します。 • 詳しくは、「着信転送サービスについて」(▶P.74)をご参照ください。
その他の設定	**発信者番号** 発信番号表示サービスについて設定します。 • 詳しくは、「発信番号表示サービスについて」(▶P.75)をご参照ください。 **通話中着信** 通話中に電話を受けるかどうかを設定します。
簡易留守録	簡易留守録／通話音声メモの再生や、簡易留守録の設定を行います。 • 録音した簡易留守録／通話音声メモの再生について詳しくは、「簡易留守録／通話音声メモを再生する」(▶P.35)をご参照ください。 • 簡易留守録の設定について詳しくは、「簡易留守録を利用する」(▶P.35)をご参照ください。
au通話設定	**留守伝言再生・応答内容変更** 着信転送サービスについて設定します。 • 詳しくは、「お留守番サービスEXについて」(▶P.75)をご参照ください。 **ガイド言語設定** ガイダンスの言語を切り替えます。 • 詳しくは、「英語ガイダンスへ切り替える」(▶P.77)、「日本語ガイダンスへ切り替える」(▶P.77)をご参照ください。 **着信拒否** ▶P.35「着信拒否の設定をする」 **オプションサービス申込** オプションサービスの申し込みを行います。

簡易留守録を利用する

簡易留守録を設定すると、お留守番サービスEXを契約していない場合でも、電話に応答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音することができます。

1 **ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]**

2 **[通話]→[簡易留守録]→[簡易留守録設定]**

3 **[マナーモード連動]／[ON]**

◎ 録音された簡易留守録がある場合は、ステータスバーに📼が表示されます。ステータスバーを下にスライドし、簡易留守録の通知をタップすると、簡易留守録リスト画面が表示され、録音された簡易留守録を確認できます。
◎ 録音できるのは、1件あたり約60分間で、50件までです。本体メモリの空き容量が不足した場合、録音できない場合があります。50件録音されている場合は、再生済みで保護されていない簡易留守録が、古いものから順に削除されます。すべて未再生または保護されている場合、簡易留守録で応答しません。
◎ 録音した簡易留守録の再生や削除について詳しくは、「簡易留守録／通話音声メモを再生する」(▶P.35)をご参照ください。

■ 空き容量を確認する

簡易留守録／通話音声メモの残り録音可能容量と件数を確認します。

1 **ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]**

2 **[通話]→[簡易留守録]→[空き容量確認]**

■ 応答メッセージを確認する

簡易留守録で応答したときに流れるメッセージを確認します。

1 **ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]**

2 **[通話]→[簡易留守録]→[応答メッセージ確認]**
項目をロングタッチ→[再生]と操作すると、メッセージを再生します。

■ 応答時間を設定する

簡易留守録で応答するまでの時間を設定します。

1 **ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]**

2 **[通話]→[簡易留守録]→[応答時間設定]**

3 **応答時間を設定→[設定]**

簡易留守録／通話音声メモを再生する

1 **ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]**

2 **[通話]→[簡易留守録]→[簡易留守録リスト]／[通話音声メモリスト]**
簡易留守録リスト画面／通話音声メモリスト画面が表示されます。
• 簡易留守録／通話音声メモをロングタッチすると件名の編集や、音声ファイルのエクスポートができます。

3 **再生する簡易留守録／通話音声メモを選択**
簡易留守録／通話音声メモが再生されます。
• シークバーをドラッグすると再生位置を変更できます。

一時停止／再生	再生／一時停止を切り替えます。
保護／解除	簡易留守録／通話音声メモが自動的に削除されないように保護を設定／解除します。
削除	再生中の簡易留守録／通話音声メモを削除します。
スピーカーON／スピーカーOFF	スピーカー／受話口で聞くことができます。

■ 簡易留守録リスト画面の見かた

《簡易留守録リスト画面》

① **簡易留守録の再生状態を示すアイコン**
📞:未再生の簡易留守録(赤色)
📞:再生済みの簡易留守録(緑色)
保護された簡易留守録のアイコンには🔒が付きます。
② **相手の方の名前／電話番号／非通知設定の着信**
③ **簡易留守録が録音された日時**

着信拒否の設定をする

指定した電話番号からの着信／SMSや、非通知着信を拒否することができます。
また、着信拒否に関するauのネットワークサービスの設定を行えます。

1 **ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[ブロック中の電話番号]**

2 **[通話]→[au通話設定]→[着信拒否]**

3

着信拒否設定	**指定番号** 指定した電話番号からの着信とSMS受信を拒否します。 • 「番号を追加」をタップすると、着信を拒否する番号を登録できます。 • 登録済みの電話番号の[✕]→[ブロックを解除]と操作すると、登録済みの番号を解除できます。 • +メッセージをブロックするには、+メッセージアプリで設定する必要があります。詳しくは「ブロックリストを設定する」(▶P.40)をご参照ください。 **非通知** 非通知設定の着信を拒否するかどうかを設定します。
番号通知リクエストサービス	▶P.75「番号通知リクエストサービスについて」

自分の電話番号を確認する

1 **ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]**
「電話番号」の下部に自分の電話番号が表示されます。

電話帳

電話帳に登録する

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[電話帳]

2 [●]

連絡先についての確認画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。

- アカウントを設定している場合、アカウントに登録されます。
- 複数のアカウントを設定している場合は、[∨]をタップして登録するアカウントを選択してください。

3 必要な項目を入力

4 [保存]

◎「その他の項目」をタップすると表示されていない入力項目が表示されます。
◎「×」をタップすると入力中や入力済みの項目を削除できます。
◎ 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
◎ 項目によっては種別を変更できる場合があります。種別の右側に表示されている[▼]をタップして種別を選択してください。種別変更時に「カスタム」をタップすると、入力した文字列を種別として登録できます。
◎ 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信音を設定」は動作しません。
◎ 電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電話帳の一覧を利用する

電話帳一覧画面を表示する

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[電話帳]

■ 電話帳一覧画面の見かた

《電話帳一覧画面》

① **お気に入り**
お気に入りに登録した連絡先が表示されます。
② **連絡先**
登録されている連絡先が表示されます。
③ **検索**
連絡先を検索できます。
④ **写真**
⑤ **新しい連絡先を作成**

連絡先をリンクする

複数の連絡先の登録内容を、1つの連絡先にまとめて表示することができます。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[電話帳]

2 リンクする連絡先を選択→[⋮]→[リンク]

3 連絡先を選択
ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[電話帳]→リンクする連絡先をロングタッチ→統合するほかの連絡先を選択→[🔗]と操作しても連絡先をリンクできます。

連絡先のリンクを解除する

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[電話帳]

2 リンクを解除する連絡先を選択→[⋮]→[リンクされた連絡先を表示]→[リンクを解除]→[リンク解除]

電話帳を設定する

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[電話帳]→[☰]→[設定]

2 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

ユーザー情報	ユーザー情報を入力します。
アカウント	アカウントの追加や確認、同期などを行います。 ・詳しくは、「アカウントを追加する」(▶P.70)をご参照ください。
新しい連絡先のデフォルト アカウント	連絡先を登録するアカウントを設定します。
表示する連絡先	表示する連絡先について設定します。
インポート	電話帳のバックアップデータを読み込みます。
エクスポート	電話帳のバックアップデータを保存し、メール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスにアップロードしたりできます。
ブロックした番号	指定した電話番号からの着信とSMS受信を拒否します。 ・詳しくは、「着信拒否の設定をする」(▶P.35)をご参照ください。
電話帳について	電話帳アプリのバージョンやオープンソース ライセンスなどを表示します。

電話帳の登録内容を利用する

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[電話帳]→連絡先を選択

■ 電話帳詳細画面の見かた

《電話帳詳細画面》

① **名前**
② **登録内容**
登録内容を確認／利用できます。
③ **お気に入り登録／解除**
④ **連絡先編集**
⑤ **写真**
⑥ **アクションアイコン**
タップすると次の機能を呼び出すことができます。
:選択した電話番号を宛先としてメッセージを作成します。
:現在地から選択した住所までの経路情報を表示します。

■ 電話帳詳細画面のメニューを利用する

1 電話帳詳細画面→[⋮]

2

リンク／リンクされた連絡先を表示	複数の連絡先の登録内容を、1つの連絡先にまとめることができます。 ・詳しくは、「連絡先をリンクする」(▶P.36)をご参照ください。
削除	連絡先を削除します。
共有	Bluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスにアップロードしたりできます。
ショートカットを作成	連絡先をホーム画面に表示します。
着信音を設定	選択した連絡先から電話を受けたときの着信音を設定します。

メール

auメール……38
auメールのご利用にあたって……38
auメールを利用する……38
迷惑メールフィルターを設定する……38
＋メッセージ(SMS)……39
＋メッセージのご利用にあたって……39
＋メッセージのご利用方法を確認する……39
連絡先を登録する……39
公式アカウントを登録する……39
メッセージを送信する……39
グループを作る･グループに送信する……39
＋メッセージを設定する……39
ブロックリストを設定する……40
PCメール……40
PCメールのアカウントを設定する……40
PCメールを送信する……41
PCメールを受信する……41
PCメール内容表示画面の見かた……41
Gmail……42
Gmailについて……42
Gmailを送信する……42
Gmailを受信する……42

auメール

auメールのご利用にあたって

- auメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- auメールサービス詳細は、auホームページをご参照ください。
  https://www.au.com/mobile/service/email/aumailapp/
- 操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。

■auメールの初期設定について

auメールアプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。初回起動時に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

- 初期設定を行うと自動的にauメールアドレスが決まります。初期設定時に決まったauメールアドレスは変更できます。
  ・機種変更の場合は、今までお使いのauメールアドレスが表示されます。
- 初期設定は、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行うと、正しく設定されない場合があります。
  Wi-Fi®通信では初期設定ができません。
- 時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。
  「Eメールアドレスの設定中です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。

◎ auメールの送受信には、データ量に応じて変わるデータ通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
◎ 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、auメールの送受信に時間がかかることがあります。

auメールを利用する

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[auメール]
auメールのトップ画面が表示されます。

■auメールの利用方法を確認する

auメールの「アプリ操作ガイド」で利用方法を確認できます。

1 auメールのトップ画面→[☰]→[アプリ操作ガイド]
auメールアプリの操作説明がブラウザで表示されます。

2 確認する利用方法をタップ
「au動画ガイド」で動画による説明も確認できます。

■auメールアドレスの変更

1 auメールのトップ画面→[☰]→[アドレス変更／迷惑メール設定]

2 [メールアドレスの変更へ]→暗証番号を入力→[送信]

3 内容を確認→[承諾する]

4 [ご希望のメールアドレスに変更する]→auメールアドレスを入力→[送信]

5 [OK]→[閉じる]

■auメールアドレスの確認

1 auメールのトップ画面→[☰]→[Eメール情報]
Eメールアドレス欄にお客様のauメールアドレスが表示されます。

◎「データセーバー」(▶P.67)設定中の場合、メールを受信するときは、auメールのトップ画面を下方向にスワイプしてください。
◎ auメールの利用方法確認には、データ通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるメールを拒否する機能があります。

- 迷惑メールフィルターの各種機能の詳細については、迷惑メールフィルター画面で「ヘルプ」をタップしてヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[auメール]→[☰]→[アドレス変更／迷惑メール設定]
確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■おすすめの設定にする場合

2 [オススメの設定はこちら]→[OK]
なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルターの設定／確認へ]→暗証番号を入力→[送信]
迷惑メールフィルター画面が表示されます。

3

ヘルプ	迷惑メールフィルターの各種機能の説明を表示します。
オススメ設定をする	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
受信リストに登録／アドレス帳受信設定をする	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の文字列を含むメールを優先受信します。 • 受信リストに登録したメールアドレス以外のメールをすべてブロックする場合は、「携帯／PHS以外からのメールを拒否する」で「設定する」に設定し、「携帯／PHS等の事業者毎に受信／拒否設定する場合はコチラ」の「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。 ※「必ず受信」を有効にすることにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。ただし、「ご自身のauメールアドレス」またはその一部(@au.com／@ezweb.ne.jp)などを設定する場合は、「必ず受信」を無効にしてください。 **アドレス帳受信設定へ** 「auアドレス帳」もしくは「データお預かり」に保存したメールアドレスからのメールを受信するかどうかを設定できます。
拒否リストに登録する	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の文字列を含むメールの受信を拒否します。
携帯／PHS以外からのメールを拒否する	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯／PHS事業者ごとにメールを一括で受信／拒否します。
その他の詳細設定をする	**迷惑メールおまかせ規制** メールサーバーで受信したメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 **なりすまし規制** 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(低)の2つの設定を選択いただけます。 ※以前ご利用の携帯電話で(中)を設定されている場合も(高)(低)のみ選択可能です。 ※「受信リスト設定」の「必ず受信」を有効にして登録すると「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。 **HTMLメール規制** メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 **URLリンク規制** 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 **ウィルスメール規制** 添付ファイルがウイルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。
全ての設定を一括解除する	迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。

※最新の設定機能およびパソコンからの迷惑メールフィルター設定は、auのホームページでご確認ください。

◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。

＋メッセージ(SMS)

＋メッセージのご利用にあたって

「+メッセージ(SMS)」アプリはau電話番号でメッセージのやりとりができるアプリケーションです。
au電話番号宛だけでなく、国内他事業者(NTTドコモ、ソフトバンク)にもメッセージが送れ、企業の公式アカウントとメッセージのやりとりができます。
初めて起動したときは許可画面や利用規約などの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

＋メッセージのモードについて

+メッセージは、相手が+メッセージを利用している場合は、スタンプや写真、動画などのコンテンツを送ることができます。
相手が＋メッセージを利用していない場合は、SMSとしてテキスト文のみを送ることができます。

＋メッセージのご利用方法を確認する

1 **ホーム画面→[ ]**

2 **[ ]→[マイページ]→[ヘルプ]**
以下の内容がブラウザで確認できます。ご希望の操作説明をご確認ください。
- チュートリアルの表示
- よくあるご質問
- 使い方ガイド

※なるホーの使い方練習(下記QRコードにアクセスすると、基本的な使い方を実際に体験できます。)

連絡先を登録する

QRコードによる連絡先登録をする

＋メッセージ利用者同士であれば、＋メッセージ専用QRコードを読み込むことで、連絡先として登録できます。

1 **ホーム画面→[ ]**

2 **[ ]→[ ]→[QRコードで追加]**

◎ 専用のQRコードを表示するには、ホーム画面→[ ]→[ ]→[マイページ]→[QRコード]と操作します。

新しい連絡先を登録する

1 **ホーム画面→[ ]**

2 **[ ]→[ ]→[新しい連絡先]**
電話帳の連絡先新規登録画面が表示されます。新規連絡先を登録できます。

公式アカウントを登録する

1 **ホーム画面→[ ]**

2 **[ ]→[公式アカウントを探す]→[ ]／[ ]**
おすすめやカテゴリごとに分けられた公式アカウントが表示されます。登録した公式アカウントは「 」に表示されます。

メッセージを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字のメッセージ(メール本文)に加え、スタンプや写真、動画などのコンテンツを送信できます。

1 **ホーム画面→[ ]**
[ ]→連絡先一覧画面が表示されます。
[ ]→メッセージ一覧画面が表示されます。

2 **[ ]→[ ]→[新しいメッセージ]**
メッセージの作成画面が表示されます。
同じ相手にメッセージを送信するときは、メッセージ一覧画面で相手を選択してもメッセージを作成できます。

3 **連絡先一覧から相手先を選択**
- 「名前や電話番号を入力」欄に、名前を入力すると連絡先一覧から相手先を検索できます。
- 「名前や電話番号を入力」欄に、相手先電話番号を直接入力することもできます。
- SMSを海外に送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。

「010」+「国番号」+「相手先電話番号」

※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

4 **「メッセージを入力」欄に本文を入力**
- 本文は、相手先が＋メッセージを利用している場合、2,730文字相当まで入力できます。
- SMSモード利用の場合、全角最大670／半角最大1,530文字まで入力できます。

5 **[ ]**
メッセージが送信されます。
送信したメッセージをロングタッチするとコピーや転送、削除ができます。

グループを作る・グループに送信する

1 **ホーム画面→[ ]**

2 **[ ]→[ ]→[新しいグループメッセージ]**
宛先の選択画面が表示されます。

3 **連絡先一覧から相手先を選択**
- 「名前や電話番号を入力」欄に、名前を入力すると連絡先一覧から相手先を検索できます。
- 「名前や電話番号を入力」欄に、相手先電話番号を直接入力することもできます。

※グループは100人まで選択できます。

4 **[OK]**

5 **「グループ名(入力スキップ可)」欄に任意の名称を入力**
「 」をタップしてグループのプロフィール写真を設定することもできます。

6 **[OK]**

7 **メッセージを入力し、送信**
メッセージの送信方法について詳しくは、「メッセージを送信する」(▶P.39)をご参照ください。

＋メッセージを設定する

1 **ホーム画面→[ ]**

2 **[ ]→[マイページ]→[設定]**
+メッセージの設定メニューが表示されます。

3

メッセージ	バックアップや連絡先未登録者フィルタリングなどの設定を行うことができます。
公式アカウント	公式アカウントの通知音設定を行うことができます。
写真や動画	写真や動画のダウンロード設定、サイズ設定などを行うことができます。
テーマカラー・背景	テーマカラーや背景設定を行うことができます。
通知	メッセージ着信時の通知関連の設定を行うことができます。
プライバシー	パスコード、ブロックリストなどの設定を行うことができます。
その他	ユーザー情報引き継ぎ設定、初期化などの設定を行うことができます。

ブロックリストを設定する

相手とのやり取りをブロックすることができます。ブロック／ブロック解除の設定ができます。

1 **ホーム画面→[ ]**

2 **[ ]→[マイページ]→[設定]→[プライバシー]→[ブロックリスト]**

3 **[ブロックリスト編集]**

4 **[ ]**

ブロックしたい相手を以下の方法から選択します。

- 「名前や電話番号を入力」欄にブロックしたい電話番号を入力し、電話番号を選択します。
- 「名前や電話番号を入力」欄にブロックしたい相手の名前を入力し、連絡先を選択します。
- 連絡先一覧に表示されている連絡先からブロックしたい相手を選択します。

公式アカウントとのやりとりをブロックする

1 **ホーム画面→[ ]**

2 **[ ]**

ブロックしたい公式アカウントを選択します。

3 **公式アカウントのメッセージ画面→[ ]**

4 **[ブロック]**

◎ 公式アカウントをブロックすると、同時に利用を停止されます。また「 」から削除されます。

PCメール

PCメールのアカウントを設定する

アカウントを登録する

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます。

- PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります。
- 登録するメールアカウントによって設定する項目などが異なる場合があります。

1 **ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[ツール]→[PCメール]**

初回起動時にはプライバシーポリシーの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

■ メールサーバーを自動で設定する場合

2 **メールアドレスを入力→[▶]**

3 **パスワードを入力→[▶]**

4 **[▶]**

ご利用になるメールアカウントのメールサーバーが自動設定されない場合は手動で設定します。

5 **あなたの名前を入力→[▶]**

■ メールサーバーを手動で設定する場合

2 **メールアドレスを入力→[手動セットアップ]**

設定を手動で入力する必要がある場合は、PCメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいPCメールアカウント設定を問い合わせてください。

3 **アカウントのタイプを選択**

IMAP対応のメールサーバー（Gmailなど）を利用する場合はIMAPサーバーで設定を行ってください。

4 **パスワードを入力→[▶]**

5 **受信サーバーを設定**

- メニューの項目は、ご利用になるアカウントにより異なる場合があります。

ユーザー名	ユーザー情報を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。
サーバー	サーバー情報を入力します。
ポート	ポート番号を入力します。
セキュリティの種類	必要な場合に設定します。
サーバーからメールを削除	受信したPCメールをサーバーに残すかどうかを設定します。
IMAPパスのプレフィックス	必要な場合に入力します。

6 **[▶]**

7 **送信サーバーを設定**

- ご利用になるアカウントにより表示されない場合があります。画面の指示に従って操作してください。

SMTPサーバー	サーバー情報を入力します。
ポート	ポート番号を入力します。
セキュリティの種類	必要な場合に設定します。
ログインが必要	必要な場合に設定します。 有効に設定した場合は「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

8 **[▶]**

9 **必要な項目を設定→[▶]**

10 **あなたの名前を入力→[▶]**

アカウントの設定を変更する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[ツール]→[PCメール]→[ ]→[設定]→アカウントを選択

2 ・メニューの項目は、ご利用になるアカウントにより異なる場合があります。

アカウント名	アカウント名を変更します。
名前	あなたの名前を変更します。
署名	PCメール送信時の署名を設定します。
クイック返信	メールの作成時によく使う文章を登録します。
同期頻度	自動受信する間隔を設定します。
添付ファイルのダウンロード	Wi-Fi®接続中に添付データを自動的にダウンロードするかどうかを設定します。
通知を管理する	PCメール受信時の動作について設定します。
受信設定	受信メールサーバーを設定します。 ・詳しくは、「アカウントを登録する」(▶P.40)をご参照ください。
送信設定	送信メールサーバーを設定します。 ・詳しくは、「アカウントを登録する」(▶P.40)をご参照ください。
アカウントを削除	アカウントを削除します。

◎「アカウントを追加」をタップするとアカウントを追加できます。詳しくは、「アカウントを登録する」(▶P.40)をご参照ください。

PCメールを送信する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[ツール]→[PCメール]→[ ]

2 宛先を入力
宛先入力欄に宛先や連絡先の名前を入力すると、電話帳から自動的に検索して宛先の候補を表示します。宛先の候補を選択すると宛先に設定されます。宛先設定後、続けて宛先を入力して追加することもできます。

3 件名を入力

4 本文を入力

5 [ ]

■PCメール作成画面の見かた

《PCメール作成画面》

① **送信元欄**
複数のアカウントを設定している場合、タップすると送信するアカウントを変更できます。
② **宛先入力欄**
「 」をタップすると、Cc／Bccを追加できます。
③ **件名入力欄**
④ **本文入力欄**

■PCメールにデータを添付する

1 PCメール作成画面→[ ]→[ファイルを添付]

2 添付するファイルを選択
添付したファイルを削除する場合は「 」をタップします。

■PCメール作成画面のメニューを利用する

1 PCメール作成画面→[ ]

2 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

下書きを保存	作成中のPCメールを下書きへ保存します。
破棄	作成中のPCメールを破棄します。
設定	アカウントやPCメールの設定を変更します。 ・アカウントの設定について詳しくは、「アカウントの設定を変更する」(▶P.41)をご参照ください。
クイック返信を挿入	「クイック返信」で登録した文章を挿入します。

PCメールを受信する

1 PCメールを受信
PCメールを受信するとステータスバーに が表示され、メール受信音が鳴ります。

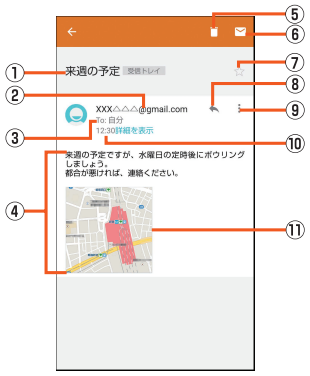
2 ステータスバーを下にスライド

3 受信したPCメールを選択

PCメール内容表示画面の見かた

PCメール一覧画面でPCメールを選択するとPCメール内容表示画面を表示します。

例：PCメール内容表示画面(受信メール)



《PCメール内容表示画面(受信メール)》

① **件名**
② **差出人の名前／メールアドレス**
③ **宛先／Ccの宛先／メールアドレス**
④ **本文**
⑤ **削除**
⑥ **未読にする**
⑦ **スターアイコン**
タップするとスター付きを設定／解除できます。
⑧ **返信**
⑨ **各メールのメニュー**
タップするとメールごとに全員に返信や転送、印刷することができます。
⑩ **受信日時**
⑪ **添付ファイル**

Gmail

Gmailについて

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailとPCメールの確認・送受信などができます。

- Gmailの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「初期設定を行う」(▶P.19)をご参照ください。
- Gmailの連絡先は、本体メモリ内の電話帳と同期することができます。
- 利用方法などの詳細については、Googleのサイトや、メイン画面→[☰]→[ヘルプとフィードバック]と操作してヘルプをご参照ください。
- PCメールをご利用になるには、Gmailの画面からPCメールのアカウントを設定します。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Google]→[Gmail]

アカウントを登録している場合は、メイン画面が表示されます。
初回起動時にはアプリについての説明画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

Gmailを送信する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Google]→[Gmail]

2 [✎]→宛先を入力

宛先入力欄に宛先や連絡先の名前を入力すると、電話帳から自動的に検索して宛先の候補を表示します。宛先の候補を選択すると宛先に設定されます。宛先設定後、続けて宛先を入力して追加することもできます。

3 件名を入力

4 本文を入力

5 [▷]

Gmailを受信する

1 Gmailを受信

Gmailを受信するとステータスバーに✉が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下にスライド

3 受信したGmailの通知をタップ

インターネット

インターネット.....44
インターネットに接続する.....44
Google Chrome™.....44
Google Chromeを利用する.....44

インターネット

インターネットに接続する

データ通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。

◎ LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、データ通信を利用することができません。

データ通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してデータ通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。
LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイルネットワーク]→[詳細設定]→[アクセス ポイント名]→[LTE NET for DATA]と操作してください。

◎ LTE NET、LTE NET for DATA、データ通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

■ データ通信ご利用上のご注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額／割引サービスの加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ ご利用データ通信料のご確認方法について

ご利用データ通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://www.au.com/support/

Google Chrome™

Google Chromeを利用する

Webページを表示する

Chromeのブックマークは Googleアカウントでログインすることで、ブックマークを引き継ぐことができます。詳しくは、「初期設定を行う」(▶P.19)をご参照ください。

1 ホーム画面→[ ]

Chrome画面が表示されます。
初回起動時には利用規約やログイン画面などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- 「⌂」をタップするとau Webポータル TOPページが表示されます。

◎ 非常に大きなWebページをChromeで表示した場合は、アプリケーションが自動的に終了することがあります。

URL表示欄を利用する

Chrome画面の上部に表示されるURL表示欄にキーワードを入力して、ウェブサイトの情報を検索できます。また、URLを直接入力してサイトを表示できます。

1 ホーム画面→[ ]→URL表示欄を選択

2 キーワード／URLを入力

入力した文字を含む検索候補などがURL表示欄の下に一覧表示されます。
URL表示欄にテキストが入力されていないときに「 」をタップするとGoogle 音声検索™が利用できます。送話口(マイク)に向かってキーワードを話してください。

3 一覧表示から項目を選択／[実行]

検索結果が表示されます。

◎ Chrome画面→[ ]→[設定]→[検索エンジン]と操作すると、キーワード入力時の検索エンジンを変更できます。

Chrome画面のメニューを利用する

1 ホーム画面→[ ]→[ ]

2
- メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

→	1つ先のページへ進みます。 • 進むWebページがある場合に操作できます。
☆／★	表示中のページをブックマークに保存／編集できます。
	表示中のページをダウンロードします。
ⓘ	Webページの情報が表示されます。
↻／✕	表示中のページの再読み込み／読み込み中止を行います。
新しいタブ	新しいタブを表示します。
新しいシークレット タブ	新しいシークレットタブを表示します。
ブックマーク	▶P.44「ブックマークを利用する」
最近使ったタブ	同じGoogleアカウントを登録したデバイスで使用した履歴を利用できます。
履歴	▶P.44「履歴を利用する」
ダウンロード	ダウンロードしたページや画像などの一覧を表示します。
翻訳...	表示中のページを選択した言語に翻訳します。
共有...	表示しているページのURLをメールやBluetooth®などで送信できます。
ページ内検索	表示しているページ内でテキストを検索します。
ホーム画面に追加	表示しているページを表示するショートカットをホーム画面に作成します。
PC 版サイト	PC版のページを表示するかどうかを設定します。
設定	Chromeの各項目を設定します。
ヘルプとフィードバック	Google Chromeのヘルプを表示したり、フィードバックを送信します。

◎ リンクや画像をロングタッチすると、ダウンロードやコピーなどの操作が行えます。

ブックマーク／履歴を利用する

■ ブックマークを利用する

1 ホーム画面→[ ]→[ ]→[ブックマーク]

2 ブックマークを選択
- ブックマークフォルダをロングタッチすると、ブックマークフォルダの編集や削除ができます。
- ブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集や削除ができます。

■ 履歴を利用する

1 ホーム画面→[ ]→[ ]→[履歴]

2 履歴を選択
- 「🔍」をタップすると履歴から検索できます。
- 「⊗」をタップすると選択した履歴を削除します。
- 「閲覧履歴データを削除...」をタップすると履歴やキャッシュなどを削除できます。

アプリケーション

アプリケーション一覧 46

カメラ 47
- カメラをご利用になる前に 47
- 静止画／動画を撮影する 47
- カメラを設定する 49

フォト 50
- フォトを利用する 50

My au 51
- My auを利用する 51

故障紛失サポート 51
- 故障紛失サポートを利用する 51

あんしんフィルター for au 52
- あんしんフィルター for auを利用する 52

Android アプリ 52
- Google Playを利用する 52
- アプリケーションを管理する 52

COCORO BOOKS 53
- COCORO BOOKSを利用する 53

モバイルライト 53
- モバイルライトを利用する 53

スクリーンショット 53
- スクリーンショットを撮影する 53

Google 検索 53
- Google 検索を利用する 53

カレンダー 53
- カレンダーを表示する 53
- 予定を新規登録する 53
- カレンダー画面のメニューを利用する 53

アラーム／世界時計／タイマー／ストップウォッチ 54
- 時計を利用する 54

からだメイト 55
- からだメイトを利用する 55

電卓 55
- 電卓で計算する 55

エモパー 56
- エモパーを設定する 56

アプリケーション一覧

アプリケーションを名前順(数字／アルファベット→五十音順)に記載しています。

アプリケーション	概要
Amazon ショッピング	商品を調べたいときも、今すぐ買いたいときも。Amazonショッピングアプリは、「探す」「比べる」「買う」「受け取る」を簡単、便利にする機能で、お客様のお買い物をサポートします。
au Market	auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。
au PAY	au WALLETアプリはau PAYアプリに生まれ変わりました。 au PAYの利用、au PAY プリペイドカードへのチャージやカード残高の確認、au PAY カードの請求額の確認、auかんたん決済の情報の確認、ポイントの残高・お買い物履歴・特典の確認などをご利用いただけます。
au PAY マーケット	日用品・グルメ・ファッションから家電まで豊富な品ぞろえからお買い物が楽しめるKDDI公式の総合通販サイトです。
au Wi-Fi接続ツール	auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」をご利用いただくためのアプリです。
au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報(Jアラートからの配信含む)、津波警報、特別警報)、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用することができます。
auスマートパス	「auスマートパスプレミアム」／「auスマートパス」を最大限活用するためのアプリです。 お得で、楽しく、あんしんなスマホライフを提供します。
auメール	auメールのアドレスを利用してメールの送受信ができます。(▶P.38)
Chrome	Google Chromeを利用して、Webページを閲覧できます。(▶P.44)
COCORO BOOKS	新聞や雑誌、書籍などの電子書籍を購入、閲覧できます。(▶P.53)
Duo	ビデオ通話を利用します。
Facebook	友達や家族などの親しい人々や、それを越えた新しい人々とつながり、コミュニティを築くことができます。世界で何が起きているか発見したり、自分に関連することをシェアしたり表現したりすることができる無料の『実名制』コミュニケーションアプリです。
Files	本体メモリやmicroSDメモリカードの画像・動画・音声・ダウンロードしたデータなどのコンテンツを管理することができるアプリです。(▶P.59)
Gmail	GmailやGmail以外のPCメールを利用できます。(▶P.42)
Google	本体メモリ内やウェブサイトの情報を検索できます。(▶P.53)
Google One	Google ドライブ™、Gmail、Google フォト™共通のストレージを追加で定期購入できる有料プランに加入します。
Google Pay	Googleの支払いサービスを利用できます。
Instagram	写真や動画を自由に編集・投稿し、ビジュアルを通して家族や友達、そして世界中の利用者と簡単につながることができるアプリです。
Messenger	友達や知り合いとリアルタイムにメッセージのやりとりやグループチャット・ビデオチャットができる無料アプリです。Botサービスで、自分が興味のあるニュースやサービスも受信することができます。
My au	毎月のご請求額や、データ残量(ギガ)、ご契約情報、ポイントなどが簡単に確認できるアプリです。各種お手続き、お問い合わせもスムーズに行えます。(▶P.51)
OfficeSuite	パソコンなどで作成されたMicrosoft Word／Excel／PowerPointやPDFのファイルを表示することに対応したアプリケーションです。 対象ファイルを閲覧・確認したいときに、手軽に利用することができます。
PCメール	普段パソコンなどで利用しているメールアカウントでメールを送受信できます。(▶P.40)
Play ストア	Google Playからアプリケーションをダウンロード・インストールして利用できます。(▶P.52)
Playムービー&TV	Google Playから動画をレンタルしたり、ダウンロード・インストールした動画を視聴できます。
SHSHOW	AQUOSスマートフォン／タブレットを使いこなすための各種情報やコンテンツを紹介するアプリケーションです。
Twitter	Twitterは多くの人々とつながったり、自分を表現したり、大好きなものについていろいろ知ることができる無料のアプリです。
YouTube	YouTube™を利用できます。
※ YT Music	音楽を再生します。
アシスタント	Google アシスタントを利用して、用事を管理したり調べ物をしたりできます。
あんしんフィルター for au	お子さまが「スマートフォン」「タブレット」「携帯電話」などを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。(▶P.52)
エモパー	あらかじめ登録したお客様の情報やお客様の日常の行動に基づき、エモパーはロック画面やエモパーアプリ画面でさまざまな情報を設定に基づいてお伝えします。(▶P.56)
カメラ	静止画／動画を撮影できます。(▶P.47)
からだメイト	からだメイトを利用できます。(▶P.55)
カレンダー	カレンダーを利用できます。(▶P.53)
故障紛失サポート	定期的にご利用いただくことで、スマートフォンを快適にお使いいただくことができます。また、簡単操作で故障紛失サポートセンターへ電話相談、インターネットでの交換申込などをサポートするアプリです。(▶P.51)
サービスTOP	ニュース、天気、乗換案内などはもちろん、プレゼントやクーポン、auのスマートフォンを楽しむためのお得で便利な情報をお届け。
設定	設定メニューから各種機能を設定、管理します。(▶P.66)
データお預かり	写真やアドレス帳などスマートフォンに保存されている様々なデータをauのサーバに預けたり、microSDメモリカードに保存したりするアプリです。 機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用できます。
電卓	電卓を利用できます。(▶P.55)
電話	電話をかけたり、履歴を確認できます。(▶P.32)
電話帳	電話帳に連絡先を登録したり、登録内容を利用できます。(▶P.36)
時計	アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用できます。(▶P.54)
ドライブ	ファイルをGoogle ドライブに保存したり、共有したりすることができます。
取扱説明書	本製品の詳しい操作・設定方法をWebページ上でかんたんに閲覧することができます。
ニュース	Google ニュース™は、あなたの関心に合わせて、世界中の出来事を整理してお届けするスマートなニュースアプリです。
ニュースパス	あなたの興味や関心にあった記事を読むことができるニュースアプリです。 ニュースに加え、いろいろなお店で使えるおトククーポンなど、生活に役立つ情報も掲載中です。
フォト	静止画や動画を表示・編集したり、Googleのオンラインストレージにバックアップすることができます。(▶P.50)
ポッドキャスト	世界中のポッドキャストを検索して再生できるポッドキャストプレイヤーです。
マップ	Google マップ™を利用して、現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。
メッセージ	電話番号を宛先としてSMSの送受信ができます。
+メッセージ(SMS)	電話番号を宛先としてメールの送受信ができます。(▶P.39)
レンズ	Google Lens™でかざした対象物の名前やQRコードを確認できます。 利用するには、モバイルネットワークやWi-Fi®ネットワークに接続してください。

※本製品はハイレゾオーディオの再生に対応しています。
ハイレゾ音源を再生するには、ハイレゾに対応した市販のヘッドセットやスピーカーが必要です(イヤホンマイク端子からの出力に対応しています)。

◎ 本製品はQualcomm® aptX™ HD audioに対応しています。
◎ アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
◎ アプリケーションのバージョンアップなどによって、本製品に搭載されるアプリケーションやアイコンなどのデザインが本書の記載と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
◎ 表に記載のアプリケーション以外にも、機種変更前にご利用・ご契約いただいたアプリケーションがアプリ一覧に表示される場合があります。

カメラ

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- レンズ部に直射日光等の強い光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して静止画／動画が変色することがあります。
- 本製品を暖かい場所に長時間置いた後に静止画／動画を撮影したり、保存したりすると、静止画／動画が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、静止画／動画が暗くなったり、静止画／動画が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 次の場合は、カメラを使用できないことがあります。
  - ・長時間の使用により本体の温度が上昇した場合
  - ・冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合
  - ・他のアプリケーションを起動している場合
  - ・電池残量が少ない場合
- カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。
- 本製品のカメラで撮影した静止画／動画は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。また、被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 撮影時にはレンズ部やモバイルライトに指や髪などがかからないようにご注意ください。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、画面に薄いしま模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 室内で撮影すると画面が黄色くなる場合があります。そのときは、ホワイトバランスの設定を変更して撮影すると改善されます。
- 白熱電球下などで撮影すると画面が赤くなる場合があります。そのときは、ホワイトバランスの設定を変更して撮影すると改善されます。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。音量は変更できません。
- モバイルライトを点灯して撮影したときに、レンズ周辺に指やカバーなどがあるとモバイルライトの光が反射して、撮影した写真や動画が白っぽくなる場合があります。
- 動画を撮影する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、撮影時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、静止画がぶれる原因となります。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - ・無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - ・強い逆光のもとにある被写体
  - ・光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ・ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - ・カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - ・暗い場所にある被写体
  - ・動きが速い被写体
- モバイルライトを目に近付けて点灯させないでください。モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- 動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた静止画などになる可能性があります。
- カメラの切り替え、カメラの設定変更などの直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- カメラの設定や撮影環境によっては、本製品の内部温度が高くなり、撮影が停止する場合があります。
- microSDメモリカードへ保存中に他のアプリからmicroSDメモリカードを利用した場合、保存に失敗することがあります。

静止画／動画を撮影する

静止画を撮影する

1 ホーム画面→[ ]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを「写真」に切り替える
- 撮影モードが「写真」のときは、切り替える必要はありません。

3 本製品のアウトカメラを被写体に向ける
- 撮影画面の操作について詳しくは、「撮影画面の見かた」（▶P.47）をご参照ください。
- 被写体をタップすると、フォーカスロックできます。
  - ・フォーカスマーク以外をタップすると解除されます。
  - ・「撮影メニュー」が「マニュアル」で「フォーカス設定」が「個別AE／AF」の場合、露出を合わせたい箇所まで「AE」をドラッグします。

4 [ ]／[+]／[−]
- 「 」をロングタッチまたは[+]／[−]を1秒以上押すと、静止画を連続撮影できます。
  - ・撮影メニューによっては、連続撮影できないものがあります。

◎ フォーカスロックは、主に被写体の色をもとに移動を検出します。そのため被写体の色が薄かったり、背景の色と似ていたりするときは、正しく検出できないことがあります。

動画を撮影する

1 ホーム画面→[ ]

2 画面下部を右にスライドして撮影モードを「ビデオ」に切り替える
- 撮影モードが「ビデオ」のときは、切り替える必要はありません。

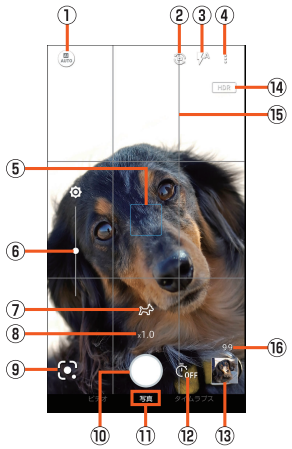
3 本製品のアウトカメラを被写体に向ける
- 撮影画面の操作について詳しくは、「撮影画面の見かた」（▶P.47）をご参照ください。

4 [ ]
- 動画撮影中画面に「 」が表示されている場合、「 」をタップ、または[+]／[−]を押すと静止画の撮影ができます。
- 被写体をタップすると、フォーカスロックできます。
  - ・フォーカスマーク以外をタップすると解除されます。
  - ・「撮影メニュー」が「マニュアル」で「フォーカス設定」が「個別AE／AF」の場合、露出を合わせたい箇所まで「AE」をドラッグします。

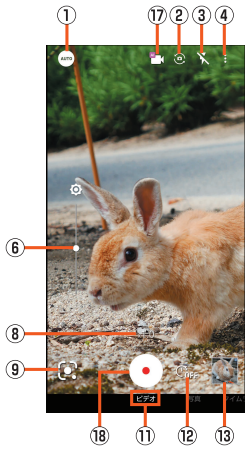
5 [ ]

◎ 動画撮影中に静止画を撮影した動画の再生について詳しくは、「静止画を含む動画を再生する」（▶P.51）をご参照ください。

撮影画面の見かた



《静止画撮影画面》



《動画撮影画面》

① **撮影メニュー**

② **イン／アウトカメラ切替**

③ **モバイルライト**
静止画撮影時にはフラッシュ（撮影の瞬間に点灯）に設定することもできます。

④ **設定**

⑤ **フォーカスマーク**
被写体をタップすると表示されます。
「オート」モードのときや、「フォーカス設定」を「顔優先AF」に設定している場合は、人の顔を検出してフォーカスマークを表示します。

⑥ **明るさ調整**
明るさを調整します。上下にスライドで表示／設定できます。

⑦ **認識アイコン**
撮影メニューを「AIオート」に設定している場合は、次のシーンや被写体をAIが認識するとアイコンを表示し、被写体に合わせて撮影設定を調整します。
- 人物:[ ]
- 犬:[ ]
- 猫:[ ]
- 料理:[ ]
- 花:[ ]
- 夕景:[ ]
- 花火:[ ]
- 白板／黒板:[ ]

認識したシーンや被写体によって最適な画質やシャッタースピードで撮影します。白板／黒板を認識した状態で撮影した場合は確認画面が表示され、「補正する」をタップすると正面から見たような写真へ補正します。

⑧ **ズーム倍率**
被写体を拡大／縮小します。
ズーム倍率をタップすると、ズーム倍率の調整バーが表示されます。調整バーを左右にスライドして、倍率を調整することができます。
- 撮影画面をピンチアウト／ピンチインしても、ズーム倍率を調整できます。

⑨ **Google Lens**
Google Lensを起動します。

⑩ **静止画撮影**
静止画を撮影します。

⑪ **撮影モード**
左右にスライドすると撮影モードを切り替えることができます(モードチェンジャー)。

⑫ **セルフタイマー**
「セルフタイマー表示」をONに設定していると表示されます。タップするたびにセルフタイマーが5秒／10秒／OFFに設定されます。インカメラで撮影時はタップするたびにセルフタイマーが3秒／5秒／OFFに設定されます。

⑬ **直前に撮影したデータ**
直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。タップするとデータの確認などができます。AIライブストーリーによってショートムービーが作成された場合は、「 」が表示され、タップするとショートムービーが再生されます。

⑭ **HDR**
「オートHDR」をONに設定している場合で、HDR機能が動作中に表示されます。

⑮ **ガイド線**
設定したガイド線が表示されます。

⑯ **撮影可能枚数**
撮影可能枚数が99枚以下になると表示されます。

⑰ **AIライブストーリー**
撮影した長時間の動画から、カット数や変化量を増やし、エフェクトやテーマ曲を付けたショートムービーをAIが自動作成します。
- 有効にしている場合、撮影した動画とは別にショートムービーが保存されます。保存されたショートムービーの再生について詳しくは、「AIライブストーリーが作成したショートムービーを再生する」(▶P.51)をご参照ください。

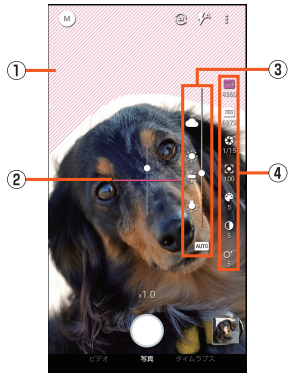
⑱ **動画撮影開始**
動画を撮影します。

◎ 撮影モードや撮影メニュー、設定などによっては、画面上部や右端にISO感度など設定アイコンが表示されます。アイコンをタップすると設定を変更できます。
- 画面の右端に表示される設定アイコンが表示の場合は、「 」をタップして表示します。

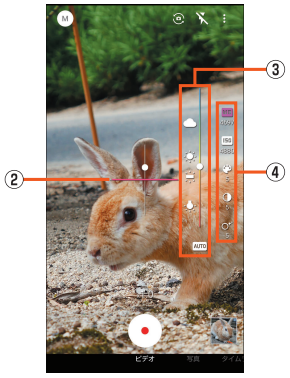
ISO感度について
◎ 高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ぶれや手ぶれが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、画質は粗くなります。

■ 撮影画面(マニュアル)の見かた

操作方法は撮影画面と同様です。ここでは、撮影画面と異なる操作について説明します。



《静止画撮影画面(マニュアル)》



《動画撮影画面(マニュアル)》

① **白とび／黒つぶれ表示**
白とびや黒つぶれが起こる部分にしま模様を表示します。

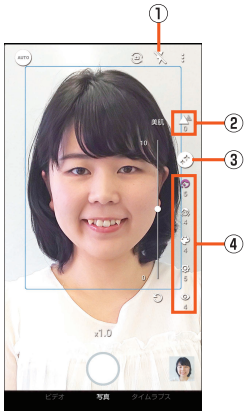
② **水準器**
撮影画面の傾きを確認できます。

③ **調整バー**
ドラッグすると設定を調整できます。
- 調整バー下部に「 」／「 」が表示されている場合は、タップして自動調整に切り替えることができます。

④ **マニュアル設定アイコン表示エリア**
アイコンをタップすると、ON／OFFの切り替えか、調整バーによる設定の調整ができます。
- ホワイトバランス:「 」
- ISO感度:「 」
- シャッタースピード:「 」
- フォーカス:「 」
- 色合い:「 」
- コントラスト:「 」
- 明瞭度:「 」

■ インカメラ撮影画面の見かた

操作方法はアウトカメラ利用時の撮影画面と同様です。ここでは、アウトカメラ利用時の撮影画面と異なる操作について説明します。
- インカメラ利用時には、AQUOS beauty(アクオス ビューティー)機能で被写体の顔を補正することができます。
  ・静止画撮影時に撮影メニューを「オート」に設定している場合に利用できます。



《インカメラ撮影画面》

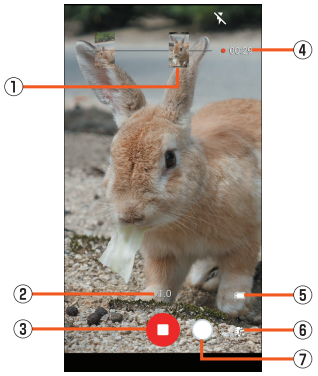
① **セルフィーフラッシュ**
ONにすると、フラッシュとして画面全体が発光します。

② **設定アイコン表示エリア**
アイコンをタップすると、調整バーによる設定の調整ができます。
- 背景ぼかし:「 」

③ **AQUOS beauty**
アイコンをタップするとAQUOS beautyのON／OFFを切り替えられます。

④ **AQUOS beauty設定アイコン表示エリア**
アイコンをタップすると、調整バーによる設定の調整ができます。
- 美肌:[ ]
- 小顔:[ ]
- 色合い:[ ]
- 明るさ:[ ]
- 目:[ ]

■ 動画撮影中画面の見かた



《動画撮影中画面(AIライブストーリーを有効)》

① **撮影した静止画**
動画撮影中に静止画撮影すると表示されます。
② **ズーム倍率**
③ **動画撮影停止**
④ **撮影時間**
⑤ **電池残量**
⑥ **ショートムービーの作成確定**
ショートムービーの作成が確定すると表示され、点滅します。
⑦ **静止画撮影**

撮影モードを切り替える

撮影モードを切り替えることでシーンに合わせた設定で撮影できます。

1 ホーム画面→[ ]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを切り替える

3

ビデオ	通常の動画を撮影します。 撮影環境や被写体に合わせて撮影メニューを切り替えることができます。
写真	静止画を撮影します。 撮影環境や被写体に合わせて撮影メニューを切り替えることができます。
タイムラプス	時間の流れを早回しして、時間を凝縮した動画を撮影します。

撮影メニューを切り替える

撮影モードが「写真」/「ビデオ」の場合は撮影環境や被写体に合わせて撮影メニューを切り替えることができます。

1 ホーム画面→[ ]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを「写真」/「ビデオ」に切り替える

3 撮影メニューアイコンをタップ

4 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

AIオート	AIが被写体に合わせて撮影設定を調整します。
オート	被写体に合わせて自動的に調整するモードです。
マニュアル	設定アイコンで各種設定をマニュアルで調整するモードです。
ポートレート	近くの人物にピントを合わせ、背景をぼかした写真を撮影します。
くっきり	くっきりとした写真を撮りたいときに明瞭度とコントラストを調整して撮影します。
ふんわり	ふんわりとした写真を撮りたいときに明瞭度とコントラストを調整して撮影します。
逆光	逆光など明暗差がある写真を撮りたいときにホワイトバランスとコントラストを調整して撮影します。
残像	明かりがつながって残像のように見える写真を撮影します。
接写	被写体に近づいてインパクトのある写真を撮影します。
モノクロ	モノクロ撮影するモードです。

カメラを設定する

1 ホーム画面→[ ]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを切り替える

3 [ ]

■ 静止画撮影の設定をする

4 [写真]

5 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

写真サイズ	静止画の撮影サイズを切り替えます。
ガイド線	撮影画面にガイドを表示できます。
インテリジェントフレーミング	静止画撮影時に、撮影した被写体や背景の位置や角度などにより、構図補正を自動的に行うかどうかを設定します。 ・補正が必要ない場合は、機能は動作しません。 ・補正された場合は、補正前と補正後の2枚の静止画を保存します。確認方法について詳しくは、「構図補正した静止画を表示する」(▶P.50)をご参照ください。
オートHDR	逆光などコントラストが強いシーンで、白とび/黒つぶれを軽減して撮影するHDR機能を自動で有効にするかどうかを設定します。
ワンタッチシャッター	画面をタップして撮影するかどうかを設定します。
QRコード・バーコード認識	QRコード・バーコードを検出し、対応したアプリを起動する通知を表示するかどうかを設定します。

◎ 機能によっては、同時に設定できない場合があります。

■ 動画撮影の設定をする

4 [動画]

5 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

動画サイズ	動画の撮影サイズを切り替えます。
画質とデータ量	動画圧縮規格を切り替えます。動画圧縮規格によって画質やデータ量が異なります。
マイク設定	音声を録音するかどうかを設定します。

◎ 機能によっては、同時に設定できない場合があります。

■ 静止画/動画撮影共通の設定をする

4 [共通]

5 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

白とび/黒つぶれ表示	白とびや黒つぶれが起こる部分にしま模様を表示するかどうかを設定します。
水準器	水準器を表示するかどうかを設定します。
フォーカス設定	被写体に合わせてフォーカスを設定します。
セルフタイマー表示	セルフタイマーアイコンを表示するかどうかを設定します。
ちらつき防止	蛍光灯のある場所や、パソコンやテレビの画面を撮影するときに、しま模様が出にくくなるように補正します。
保存先設定	保存先を設定します。
位置情報付加	位置情報を付加するかどうかを設定します。
ヘルプ	撮影画面に表示されるアイコンの機能やタッチパネルの操作、機能の使いかたについて確認できます。
PHOTOSHOW(Webページ)	シャープのサイトに接続し、シャープ製スマートフォンを使って撮影された写真を例に、カメラの機能や撮影方法を確認できます。
設定リセット	カメラの設定を初期化します。

フォト

フォトを利用する

データを表示／再生する

静止画や動画を表示・編集したり、Googleのオンラインストレージにバックアップすることができます。
- 機能やメニューによっては、Googleアカウントを設定しないと使用できないものがあります。

これまでお使いの端末から画像や動画をmicroSDメモリカードに取り込んだ場合、通知「SDカードの写真を整理」が表示されることがあります。
- 整理を行うと取り込んだデータが「フォト」アプリの表示に最適化されます。
- 「SDカードの写真を整理」が表示された場合、整理することをおすすめします。

1 ホーム画面→[ ]

本体メモリやmicroSDメモリカード、Googleのオンラインストレージに保存されている静止画／動画の一覧が表示されます。
ピンチアウト／ピンチインすると、サムネイルのサイズを変更できます。

2 データを選択

1件表示画面が表示されます。
- 「 」／「 」をタップすると、動画の再生／一時停止を切り替えることができます。
- 「 」をタップすると、データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスなどにアップロードしたりできます。
- 「 」をタップすると、色味の調整や表示の回転など、データを編集できます。
- 「 」をタップすると、写っている対象について調べることができます。文字の場合は、テキストのコピーや翻訳などができます。
- 「 」をタップすると、データを削除します。

◎「フォト」アプリはPlay ストアより更新することができ、最新バージョンでは操作方法が変わることがあります。更新された場合は、フォト画面で[ ]→[ヘルプとフィードバック]と操作し、内容をご確認ください。
◎ 削除したデータは、一定期間ゴミ箱に保存されています。設定メニューからゴミ箱を表示すると、データをゴミ箱からも削除したり、データを復元したりできます。

1件表示画面について

◎ 1件表示画面の各種メニュー、アイコンが表示されていない場合は画面をタップすると表示されます。
◎ データが本体メモリやmicroSDメモリカードに保存されていない場合、「動画と合わせる」などのメニューが表示されないことがあります。「デバイスに保存」で、データを本体メモリに保存してください。
◎ 選択したデータによっては が表示されます。タップするとデータに応じた機能を利用できます。

画面の見かた

《フォト画面》

① **設定メニュー**
アーカイブやゴミ箱の表示、フォトの設定などができます。

② **検索ボックス**
キーワードを入力して、静止画や動画を検索できます。

③ **アカウント設定**
フォトで利用するGoogleアカウントについて設定できます。

④ **保存日**
データが保存された日付です。サムネイルの大きさによっては、保存された月でグループ分けされます。

⑤ **データ一覧**
データをロングタッチするとデータを複数選択できます。選択したデータは削除や共有ができます。

⑥ **フォト**
静止画／動画を一覧表示します。

⑦ **アルバム**
アルバムを作成し、静止画／動画を振り分けることができます。

⑧ **アシスタント**
フォトの利用についての提案や情報が表示されます。

⑨ **共有**
データの共有について設定できます。

1件表示画面のメニューを利用する

1 データを選択して1件表示画面→[ ]

2
- メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

動画ループオン／動画ループオフ	動画を繰り返し再生するか設定します。
あとからキャプチャー で編集	▶P.51「あとからキャプチャーを利用する」
表示アプリを選択	動画を別のアプリで再生します。
アルバムに追加	データをアルバムに追加します。
アーカイブに移動	データをアーカイブし、静止画／動画の一覧に表示されないようにします。
デバイスから削除	データを本体メモリから削除します。
デバイスに保存	データを本体メモリに保存します。
写真を他で使う	選択したデータを「連絡先の写真」や「壁紙」などに登録します。
スライドショー	データをスライドショーで再生します。
印刷	画像を印刷したり、PDF形式で保存できます。

デバイスから削除について

◎ Googleのオンラインストレージにバックアップされたデータは削除されません。

構図補正した静止画を表示する

「カメラ」アプリで撮影した静止画が「インテリジェントフレーミング」により構図補正された場合、保存された静止画のサムネイルには が表示されます。補正前と補正後の2枚の静止画を切り替えて確認できます。

1 ホーム画面→[ ]

2 静止画を選択

画面下部のサムネイルを選択して補正前のオリジナル画像と補正後のおすすめ画像を切り替えることができます。
- 静止画の削除や編集は、それぞれの静止画に対して行うことができます。編集した静止画は別のデータとして保存されます。
- 「 」→[メインの写真に設定]で静止画／動画一覧画面のサムネイルに表示する画像を設定できます。
- 補正後のおすすめ画像を表示中に「おすすめ画像」をタップすると補正された内容を確認できます。

静止画を含む動画を再生する

撮影中に静止画を撮影した動画を再生します。
• 動画再生時に静止画を表示したり、静止画の管理などを行うことができます。

1 ホーム画面→[ ]

2 動画撮影中に撮影された静止画を選択→[動画と合わせる]
静止画を含む動画を選択→[写真と合わせる]と操作しても再生できます。
• 「写真を見る」をタップ、または動画再生中に画面を上にスワイプすると、静止画の確認などができます。

AIライブストーリーが作成したショートムービーを再生する

動画撮影時にAIライブストーリーによって作成された15秒程度のエフェクトやBGMが付いた動画(ショートムービー)を再生することができます。ショートムービーのサムネイルは装飾された状態で表示されます。

1 ホーム画面→[ ]

2 [フォト]

3 ショートムービーを選択
ショートムービーが再生されます。

■ 他のパターンの動画を再生する

ショートムービーは3種類作成されます。

1 ショートムービー再生画面で[次のパターン]

2 [Standard]／[Fun]／[Relax]
選択したパターンの動画が再生されます。
• 保存されていないパターンの動画を保存する場合は、「保存」をタップします。
• 「 」をタップすると、選択したパターンの動画をBluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスなどにアップロードしたりできます。保存されていないパターンの動画の場合は保存されます。
• 「元動画を見る」をタップすると、ショートムービーの元となった編集されていない動画を再生します。

◎ 動画撮影画面の「直前に撮影したデータ」をタップしショートムービー再生画面を表示した場合は、「削除」が表示されることがあります。「削除」をタップするとショートムービーの作成を中止します。元動画は削除されません。

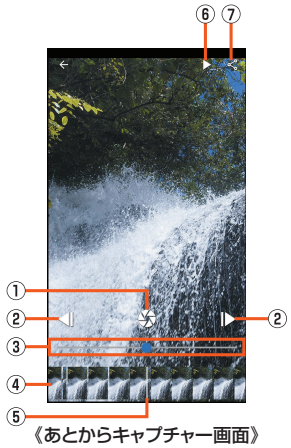
あとからキャプチャーを利用する

動画の中から静止画を切り出して保存することができます。

1 ホーム画面→[ ]

2 動画を選択

3 [ ]→[あとからキャプチャー で編集]



《あとからキャプチャー画面》

① **静止画切り出し**
表示しているフレームを静止画として保存します。
② **コマ戻し／コマ送り**
1コマ前／先のフレームを表示します。
③ **シークバー**
シークバーをドラッグすると表示するフレームを変更できます。
④ **サムネイル**
サムネイルをドラッグすると表示するフレームを変更できます。
⑤ **表示位置**
現在表示しているフレームの位置をサムネイル上で表します。
⑥ **再生／一時停止**
⑦ **共有**
静止画の切り出しが行われ、保存されたデータをBluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスなどにアップロードしたりできます。

My au

My auを利用する

月々のご請求額やデータ残量(ギガ)を簡単に確認できるほか、料金プランやオプションサービスなどの申し込み・変更手続きができます。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[サポート]→[My au]
My auのトップ画面が表示されます。
• 初めて起動したときは画面の指示に従ってログインしてください。

2 確認する項目を選択
直近のご利用状況、ご請求額、ご契約情報の確認や、各種お手続きができます。

◎ 「デバイス管理アプリ」を有効にする画面や利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の表示に従って操作してください。

故障紛失サポート

故障紛失サポートを利用する

「故障かな？」と思ったときのクイック診断、簡単操作で故障紛失サポートセンターへ電話相談、インターネットでの交換申込、データ移行をトータルにサポートする便利なアプリです。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[サポート]→[故障紛失サポート]
トップメニュー画面が表示されます。
• 初めて起動したときは許可画面や利用規約などの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2

クイック診断してみる	お客様ご自身で診断することができます。調子が悪いと思ったら診断してください。
詳細診断	気になる機能を細かく診断できます。
チャットで相談	トラブルや修理・交換のご質問にお答えいたします。
交換申し込み※1	オンライン交換受付のログイン画面をワンタッチで呼び出します。
データ移行	ご利用の機種に対応したデータ移行アプリを起動します。
便利な機能※2	**トラブル診断を試す** 調べたい項目を選択していくと、トラブルの対処方法が見つかります。 **各種設定** 定期クリーニング通知で定期的に診断のお知らせをします。 **診断履歴** 診断した履歴情報を確認することができます。

※1 加入条件により表示される内容は異なります。
※2 主な機能のみ記載しております。

◎ 各機能利用中にトップメニュー画面に戻るときは画面右上の「 」をタップしてください。なお、クイック診断ご利用中はトップメニューへ戻れません。

あんしんフィルター for au

あんしんフィルター for auを利用する

お子さまにスマートフォンを安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブサイトへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングサービスです。
お子さまの年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」・「高校生プラス」の4段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブサイトやアプリの制限／許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。
また、保護者が夜間などスマートフォンの利用を制限したり、お子さまの居場所を確認したりすることもできます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[あんしんフィルター for au]
初めて起動したときは、アクセス権限の同意画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 [au 電話番号でログイン]→画面の指示に従って操作
※ ご利用になるお子さまのau電話番号でログインしてください。

3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力
仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生	スマホを初めて使うお子さまや操作に少し慣れたお子さま向け [制限対象]ゲーム／動画／音楽、懸賞、成人娯楽、SNS／掲示板、出会い、アダルトなど
中学生	スマホの操作におおむね慣れたお子さま向け [制限対象]懸賞、成人娯楽、SNS／掲示板、出会い、アダルトなど
高校生	スマホ利用のルールやマナー、危険性を理解したお子さま向け [制限対象]SNS／掲示板、出会い、アダルトなど
高校生プラス	SNS利用のルールやマナー、危険性を理解したお子さま向け [制限対象]出会い、アダルトなど

5 [規約に同意してサービスを利用開始する]
利用規約を必ずご確認ください。

6 「位置情報、利用情報の取得・利用について」の内容を確認→[はい]
「いいえ」を選択するとエリア検索など一部の機能が利用できません。

7 「利用登録が完了しました」の表示を確認→[OK]

8 [このデバイス管理アプリを有効にする]

9 「よく使うアプリの設定」で利用したいアプリを選択→[設定する]
事前に利用したいアプリを許可してください。

10 設定完了
ウェブサイトが表示されます。
以降は「あんしんフィルターアプリ」をブラウザアプリとしてご利用ください。

管理者情報を登録する

お子さまのスマホで設定してください。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[あんしんフィルター for au]

2 画面上の「ここをタップして、あんしんフィルター for auの管理者IDを登録してください。」をタップ

3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]

4 管理者IDを入力→管理者ID(確認)を入力→[管理者ID確認へ進む]
管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [申請する]
管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→[管理者登録を行う]→[OK]

◎ 管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

管理者ページを利用する

保護者の方のPCまたはスマホからご利用ください。保護者が遠隔で、お子さまのスマホの設定を行うことができます。

1 メールで受信した「管理者ページURLのご連絡」に記載している管理者ページのURLをタップ
https://anshin-access.netstar-inc.com/

2 管理者IDとパスワードを入力→[ログイン]

3 管理者メニューを表示
主な機能
- フィルタリング強度の変更
- 個別のウェブサイトやアプリの制限／許可設定
- 利用時間帯の設定
- 利用状況の確認
- エリア検索

◎ 詳しくは、auホームページをご参照ください。
https://www.au.com/mobile/service/anshin-filter/

Android アプリ

Google Playを利用する

Googleが提供するGoogle Playから便利なツールやゲームなどのさまざまなアプリケーションを、ダウンロード・インストールして利用できます。
- Google Playの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「初期設定を行う」(▶P.19)をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Google Play画面→[☰]→[ヘルプとフィードバック]と操作してヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Play ストア]
Google Play画面が表示されます。
利用規約などが表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

アプリケーションを検索し、インストールする

アプリケーションが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。
- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。
- 有料のアプリケーションをダウンロードするには、お支払い方法を設定する必要があります。

1 Google Play画面→アプリケーションを選択

■無料のアプリケーションの場合

2 [インストール]
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
アプリケーションのダウンロード・インストールが開始されます。

■有料のアプリケーションの場合

2 価格をタップ→画面に従って操作

◎ インストールする前にアプリケーションの情報をご確認ください。インストールに承諾すると、アプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。

アプリケーションを管理する

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする

提供元不明のアプリケーションをインストールする前に、本体の設定でインストールを許可する必要があります。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[アプリと通知]

2 [詳細設定]→[特別なアプリアクセス]→[不明なアプリのインストール]

3 インストールを許可するアプリを選択→[この提供元のアプリを許可]

COCORO BOOKS

COCORO BOOKSを利用する

新聞や雑誌、書籍などの電子書籍を購入、閲覧できます。
・COCORO BOOKSを利用するには、会員登録が必要になります。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[ツール]→[COCORO BOOKS]
初回起動時には許可画面や会員登録の画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
利用方法などの詳細については、[情報]→[マニュアル・プライバシー...]と操作して内容をご参照ください。

モバイルライト

モバイルライトを利用する

1 お知らせ／ステータスパネルを表示→機能ボタンの「ライト」をタップ
モバイルライトが点灯します。
消灯するには、点灯中に再度機能ボタンの「ライト」をタップします。

◎ モバイルライトを目に近付けて点灯させないでください。また、モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にモバイルライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。

スクリーンショット

スクリーンショットを撮影する

▯(⏻)と▯(ー)を同時に長押しすると、表示している画面のスクリーンショットを撮影できます。
・▯(⏻)を2秒以上長押し→[画面の保存]と操作しても撮影できます。
・撮影したデータは本体メモリに保存されます。
・Clip Nowを利用してもスクリーンショットを撮影することができます。詳しくは、「Clip Nowの設定をする」(▶P.70)をご参照ください。

◎ アプリケーションによっては全部または一部が保存できない場合や撮影時に効果音が鳴る場合があります。

Google 検索

Google 検索を利用する

本体メモリ内やウェブサイトの情報を検索できます。
・利用方法などの詳細については、Googleのサイトをご参照ください。

■キーワードを入力して検索する場合

1 ホーム画面→Google検索バーの検索入力欄を選択
ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Google]→[Google]でも同様に操作できます。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 キーワードを入力

3 項目を選択／[🔍]

■音声で入力して検索する場合

1 ホーム画面→Google検索バーの[🎤]

2 送話口(マイク)に向かってキーワードを話す

カレンダー

カレンダーを表示する

カレンダーをスケジュールや期間単位で表示することができます。
・カレンダーの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「初期設定を行う」(▶P.19)をご参照ください。
・アカウントと同期すると、サーバーに保存されたカレンダーと本体メモリ内のカレンダーを同期できます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Google]→[カレンダー]
初回起動時は説明画面が表示されます。画面に従って操作してください。

■カレンダー画面の見かた

《カレンダー画面(月表示カレンダー)》

① **月表示**
タップすると月表示カレンダーの表示／非表示を切り替えます。

② **予定**
登録されている予定が表示されます。
登録した予定の期間などによって表示は異なります。

③ **今日へ移動**
タップすると今日の予定を表示します。

予定を新規登録する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Google]→[カレンダー]

2 [＋]→[予定]
・「リマインダー」をタップすると、件名と日時、通知の繰り返しをリマインダーとして登録できます。
・「ゴール」をタップすると、カレンダーが最適な時間を見つけて、予定を登録できます。

3 必要な項目を入力

4 [保存]

◎ 複数のアカウントを設定している場合、アカウント名をタップすると登録するアカウントを選択できます。

カレンダー画面のメニューを利用する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Google]→[カレンダー]

2 [≡]

3

スケジュール	カレンダーをスケジュール単位で表示します。
日	カレンダーを日単位で表示します。
3日間	カレンダーを3日単位で表示します。
週	カレンダーを週単位で表示します。
月	カレンダーを月単位で表示します。
検索	スケジュール内を検索します。
設定	カレンダーの各項目を設定します。
ヘルプとフィードバック	カレンダーのヘルプを表示したり、フィードバックを送信します。

◎ ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Google]→[カレンダー]→[⋮]→[更新]と操作すると、本体メモリとサーバーのカレンダーを同期できます。

アラーム／世界時計／タイマー／ストップウォッチ

時計を利用する

アラームで指定した時刻をお知らせする

指定した時刻にアラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[時計]→[アラーム]

2 登録先の時刻をタップ
登録先を追加するには、「＋」をタップしてください。

3 時刻を選択→[OK]

4 各項目を設定

◎「繰り返し」をタップすると、アラームを鳴らす曜日を設定できます。
◎アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。
◎通話中にアラーム設定時刻になると、受話口（レシーバー）／スピーカーからアラーム音が鳴ります。バイブレータを設定している場合はバイブレータが振動します。

アラーム画面の見かた

《アラーム設定画面》

① 設定時間
② 繰り返し
アラームが鳴動する曜日を指定します。
③ アラーム音
④ アラーム名
⑤ 削除
⑥ アラーム追加
⑦ アラームのオン／オフ
⑧ バイブレーション

アラームを止める

アラーム設定時刻になると、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 アラーム鳴動中に「」を「」までスワイプ
- 画面点灯中（ロック画面表示中を除く）にアラームが鳴ったときは「解除」をタップします。

スヌーズを利用する

スヌーズを利用すると、再度アラームでお知らせします。

1 アラーム鳴動中に「」を「」までスワイプ
- 画面点灯中（ロック画面表示中を除く）にアラームが鳴ったときは「スヌーズ」をタップします。

◎スヌーズの間隔は、[]→[設定]→[スヌーズの長さ]で設定できます。

アラーム音量を設定する

1 アラーム画面→[]→[設定]

2 「アラームの音量」欄のバーを左右にスライドして音量を調節

世界各地の都市の時刻を確認する

世界各地の時刻を表示できます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[時計]→[時計]

2 [○]

3 都市を選択→[]

タイマーで時間を計る

設定した時間が経過したときに、アラーム音でお知らせします。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[時計]→[タイマー]

2 設定時間を入力→[▶]
- 「+1:00」をタップすると、時間を1分追加します。
- 「⏸」をタップすると、カウントダウンを一時停止します。
  - 一時停止中に「▶」をタップすると、カウントダウンを再開します。
  - 一時停止中に「リセット」をタップすると、カウントダウンをリセットします。
- 設定した時間が経過すると、アラーム音でお知らせします。

タイマーの名称を変更する

1 タイマー画面→[ラベル]

2 名称を入力→[OK]

タイマーを追加する

1 タイマー画面→[タイマーを追加]

2 設定時間を入力→[▶]

タイマーを削除する

1 タイマー画面で削除するタイマーを表示→[削除]

◎タイマーを追加した場合は、画面を上下にスライドすると表示を切り替えられます。

ストップウォッチで時間を計る

ストップウォッチを利用して、経過時間（ラップタイム）／合計経過時間（スプリットタイム）を計測できます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[時計]→[ストップウォッチ]

2 [▶]
- 「ラップ」をタップすると、ラップタイム／スプリットタイムを計測します。

3 [⏸]
- 「リセット」をタップすると、計測結果をリセットします。
- 「共有」をタップすると、計測結果をメールやBluetooth®などで送信できます。

◎ラップタイム／スプリットタイムの履歴を99件まで記憶できます。

からだメイト

からだメイトを利用する

歩数や体重などを記録できます。歩数、体重の履歴をグラフで表示して、日別／月別で比較することもできます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[ツール]→[からだメイト]

2 [はい]

3 ユーザー情報の各項目を設定→[歩数計ON]→[◀]

初期状態では、ユーザー情報に仮の数値が登録されています。ご利用の前に、ユーザー情報を正しく設定しておいてください。

- 電源が入っている間は常に歩数がカウントされます。
- 歩数計の表示は、毎日0:00にリセットされます。

■累積データの引き継ぎかた

からだメイトに記録した歩数や体重などのデータは、Googleアカウントによってバックアップされ、機種変更しても引き継ぐことができます。からだメイトに対応した新しい端末の初回起動時に、初期設定で機種変更前と同じGoogleアカウントを設定し、データを復元してください。

歩数測定時のご注意

次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。

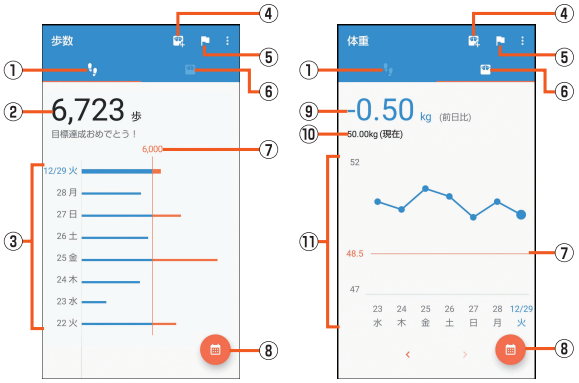
◎ 本製品が不規則に動く場合
- 本製品を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
- 本製品を腰やかばんなどからぶら下げているとき

◎ 不規則な歩行をした場合
- すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
- 混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき

◎ 上下運動や振動の多いところで使用した場合
- 立ったり座ったりしたとき
- スポーツを行ったとき
- 階段や急斜面を上ったり下りたりしたとき
- 乗り物(自転車、自動車、電車、バスなど)に乗って、上下振動や横揺れしているとき
- スピーカーから音が出ているとき
- バイブレータが振動しているとき

◎ 極端にゆっくり歩いた場合

■からだメイト画面の見かた



《歩数モード画面》　《体重モード画面》

① **歩数モード**

② **今日の歩数**

③ **歩数の履歴**
日々／月々の歩数が棒グラフで表示されます。グラフをタップすると、選択した日／月の歩数や歩行距離、消費カロリーなど、詳細情報が表示されます。

④ **体重入力**
タップすると、日々の体重を入力することができます。
- エモパーを利用すると、音声で体重を入力することもできます。詳しくは、「エモパーヘルスケアを利用する」(▶P.56)をご参照ください。

⑤ **目標設定**
タップすると、歩数や体重の目標を設定することができます。
- からだメイト画面→[⋮]→[目標設定]と操作しても目標を設定できます。
- 目標設定画面で「リセット」をタップすると、設定した目標の削除ができます。

⑥ **体重モード**

⑦ **目標値(目標設定時のみ表示)**

⑧ **表示切替**
日別／月別の表示を切り替えます。

⑨ **前回との差**

⑩ **最新の体重**

⑪ **体重の履歴**
日々／月々の体重が折れ線グラフで表示されます。グラフをタップすると、選択した日／月の体重やBMIなど、詳細情報が表示されます。
- 「<」／「>」をタップすると表示月や週を移動します。

■ユーザー情報を変更する

1 からだメイト画面→[⋮]→[ユーザー情報]

2 各項目を設定

■からだメイトを停止する

1 からだメイト画面→[⋮]→[歩数計設定]→[歩数計ON]

「歩数計ON」を無効にすると、からだメイトが停止します。

■からだメイトの累積データをリセットする

歩行データや体重データをすべて削除します。

1 からだメイト画面→[⋮]→[データリセット]→[はい]

■用語の説明を確認する

1 からだメイト画面→[⋮]→[用語の説明]

2 用語を選択

電卓

電卓で計算する

利用方法などの詳細については、電卓画面→[⋮]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[電卓]

2 計算する

エモパー

エモパーを設定する

あらかじめ登録したお客様の情報やお客様の日常の行動に基づき、エモパーはロック画面やエモパーアプリ画面でさまざまな情報を設定に基づいてお伝えします。エモパーを使っていくほどに、お客様の本製品の使用状況を理解し、より適切なタイミングで情報をお伝えするようになります。
また、お客様の声※をエモパーが認識して応答することがあります。
さらに、エモパーを使ったメモ機能(エモパーメモ)や、健康応援機能(エモパーヘルスケア)、エモパー連携に対応した家電(AIoT機器)との連携機能などが利用できます。
※「声でアクション」を有効にすると、エモパーが話してから画面が消灯するまでの間のみ音声を認識します。(音声が認識される時間は最大6秒間です。)

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[エモパー]

エモパーアプリ画面が表示されます。エモパーの状態やエモパーがお伝えする話題、お客様についての情報、エモパーとの日常の記録などが確認できます。
初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- 初期設定完了後に「あなたについて」で職場・学校など、お客様の情報を設定することをおすすめします。設定した情報をもとにエモパーが話す内容のバリエーションや機会が増えます。

2 [⚙]

エモパー設定画面が表示されます。

3

エモパー設定	「 」/「 」をタップするたびにエモパーのOFF/ONを切り替えます。
COCORO ID	新規登録・ログインすると自動バックアップやAIoT機器との連携などの機能を利用できます。
エモパー選択	エモパーや名前を設定します。 ・「サイトからエモパーを追加する」をタップすると、サイトから別のエモパーを追加できます。
基本動作について	**お話しする音量** エモパーの話し声の音量を設定します。 **お話し中のBGM** エモパーがお話し中にBGMを流すかどうかを設定します。 **マナーモード中も声でお話し** マナーモード設定中でも音声でお伝えするかどうかを設定します。 **暗いと小声でお話し** 本製品を暗い場所に置いているときに音声を小さくしてお伝えするかどうかを設定します。 **イヤホンしているときのお話し** 場所や時間帯にかかわらずイヤホンをしているとお話しするかどうかを設定します。 **外でも通話スタイルでお話し** 外出中でもバイブレータでお知らせして耳に当てるとお話しするかどうかを設定します。 **近くの振動を察知** 周囲の振動を検知してお話しするかどうかを設定します。 **自宅の特定にWiFiも使用** 位置情報の取得にWi-Fi®を利用するかどうかを設定します。
あなたについて	ニックネームや自宅、職場・学校など、お客様の情報を設定します。
エモパーの話題	エモパーがお伝えする情報を設定します。
エモパーメモ	エモパーメモの利用について設定します。
声でアクション	エモパーに声をかけると、さらに詳細な情報をお話しするように設定します。
エモパーヘルスケア	エモパーヘルスケアの利用について設定します。
AIoT機器との連携	登録した家電の操作方法、家電からの提案や情報をお伝えする、AIoT機器との連携機能について設定します。
エモパーへの話しかけ方	公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「エモパーへの話しかけ方」に接続します。 ・本製品は「声でエモパーを呼び出し」は非対応です。
おすすめ機能の紹介	エモパーの簡単な説明と使いかたのデモを確認できます。
エモパー使い方ガイド	公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「エモパー使い方ガイド」に接続します。
よくある質問(FAQ)	公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「よくある質問(FAQ)」に接続します。
エモパーの記憶	エモパーと過ごした思い出や生活習慣に関するデータのバックアップや初期化、復元をします。
注意事項	エモパーバージョンや利用規約・プライバシーポリシーなどを確認できます。

◎ エモパーをご利用になる場合は、データ通信料がかかります。
◎ エモパーは日本語にのみ対応しています。
◎ 海外で利用するときは、エモパーのお伝えする情報が制限されます。
◎ エモパーがお伝えする情報は、本製品の使用状況と正確には合っていない場合があります。
◎ エモパーの初期設定を行うと「からだメイト」アプリの「歩数計ON」が有効になります。
◎ 自宅や周辺の施設情報などを認識するために、位置情報を取得する場合があります。位置情報の取得には、「位置情報の使用」をONに設定する必要があります。「位置情報の使用」がOFFのときは、位置情報が必要な情報をお伝えできません。
◎ ディスプレイを下にして本製品を置いている場合などはお話ししません。
◎ エモパーが話しているときに[+]/[−]を押すと音量を調節できます。

エモパーが話すタイミングについて

◎ 「あなたについて」の「自宅」や「自宅のほかにお話しできる場所」に設定した場所で、画面消灯中やロック画面表示中に本製品を地面に対して水平に近い状態で置いたときなどに話します。
◎ 午前2:00～午前5:00の間は話しません。
◎ イヤホンを接続中は、「イヤホンしているときのお話し」の設定に従って動作します。
◎ ロック画面表示中に端末を数回(2秒程度)振ると話します。

電車の遅延情報について

◎ エモパーがお伝えする電車の遅延情報は、株式会社レスキューナウが提供する運行情報に基づいています。
◎ 各路線の運行情報が提供される基準は、次のとおりです。
- 首都圏JR線は15分、その他の路線は30分以上の遅れ、運転見合わせ等が発生した場合の情報

AIoT機器との連携について

◎ AIoT機器との連携には、COCORO IDでログインの上、COCORO HOMEアプリなどで同じCOCORO IDに対して機器の登録が必要です。
◎ エモパーとの連携ができる当社のAIoT機器は各種COCOROサービスに対応した特定の機種に限ります。詳しくは、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)などでご確認ください。

■ エモパーメモを利用する

エモパーに予定などメモしたい内容を話しかけるとエモパーが記憶し、予定にあわせてお伝えします。
- ロック画面をダブルタップしてから話しかけてください。
- ロック画面では、時計やアイコン、情報などが表示されていないところをタップしてください。
- 外出先で話しかける場合は、電話をかけるように受話口を耳に当ててください。
- エモパーが記憶したメモは、カレンダーに登録されます。「明日」、「今週」、「そろそろ」のような時期を表す単語を含めて話しかけると、メモに合わせたタイミングでエモパーがお伝えします。

■ エモパーヘルスケアを利用する

お客様の体重や歩数を気にかけたり、応援したりすることで、健康維持やダイエットをサポートします。体重はエモパーメモと同じ手順で話しかけることで記憶できます。
- エモパーに体重を話しかける際は、「今日の体重　XX.Xキロ」のように話しかけてください。
- 記憶したお客様の体重や歩数は、からだメイトで管理されます。
- 株式会社タニタの一部の体組成計と連携することで、体重を覚えることもできます。
  - 体組成計との連携については、エモパー設定画面→[エモパーヘルスケア]→[タニタ体組成計との連携]と操作し、画面に従って操作してください。
  - エモパーが連携できる体組成計の機種については、「公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)」をご確認ください。

■ 公式エモパー情報サイト EMOPARK(エモパーク)について

エモパーは、使いかたの改善や変更、お話しするバリエーションの増加などを目的に、Google Playからアップデートすることがあります。
本書の内容から変更されることがありますので、エモパーに関する最新の情報については、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)をご覧ください。
http://k-tai.sharp.co.jp/dash/emopa/

ファイル管理

ファイル管理 **58**
本製品の保存領域について 58
microSDメモリカードを利用する 58
パソコンなどと接続する 58
USBホスト機能を利用する 59
ストレージに関する設定をする 59
Filesを利用する 59

ファイル管理

本製品の保存領域について

本製品は、本体メモリとmicroSDメモリカードにデータを保存することができます。

本体メモリ	アプリケーションや各アプリケーションが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
microSDメモリカード	メディアファイルなどを保存します。

◎ アプリケーションによってはmicroSDメモリカードに保存するメニューやメッセージが表示されても、本体メモリに保存される場合があります。
◎ 本体メモリやmicroSDメモリカード内のデータは、「ストレージ」(▶P.59)機能を利用したり、パソコンと「ファイル転送」で接続すると、確認や移動などを行うことができます。ただし、アプリケーションなど、一部のデータは確認や移動することはできません。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカードについて

microSDメモリカード(microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存/移動/コピーすることができます。

◎ 他の機器でフォーマットしたmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品でフォーマットしてください。
フォーマットについて詳しくは、「microSDメモリカード/USBメモリをフォーマットする」(▶P.59)をご参照ください。
◎ microSDメモリカード内のデータは「ストレージ」の「SDカード」(▶P.59)から確認できます。
◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動/コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。
◎ microSDXCメモリカードは、SDXC対応機器でのみご使用いただけます。万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモリカードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。
SDXC非対応の機器でmicroSDXCメモリカードをフォーマットした場合、microSDXCメモリカードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXCメモリカード本来の容量で使用できなくなることがあります。

■ 取扱上のご注意

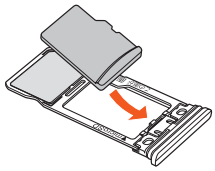
- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける

microSDメモリカードの取り付けは、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。
また、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。
- au ICカード/microSDメモリカードトレイの着脱について詳しくは、「au ICカードを取り付ける」(▶P.17)をご参照ください。

1 ミゾに指先をかけて、au ICカード/microSDメモリカードトレイを引き出す

2 microSDメモリカードの端子(金属)面を下向きにして、au ICカード/microSDメモリカードトレイに取り付ける
microSDメモリカードの向きに注意して、確実にカードトレイに取り付けてください。
microSDメモリカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。
浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



3 au ICカード/microSDメモリカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

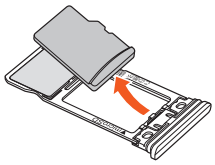
◎ microSDメモリカードには、表裏/前後の区別があります。
無理に取り付けると、破損するおそれがあります。
◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。

microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードの取り外しは、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。
また、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。
- au ICカード/microSDメモリカードトレイの着脱について詳しくは、「au ICカードを取り付ける」(▶P.17)をご参照ください。

1 ミゾに指先をかけて、au ICカード/microSDメモリカードトレイを引き出す
引き出すときに、microSDメモリカードがカードトレイから外れて、紛失したりしないようにご注意ください。

2 microSDメモリカードをau ICカード/microSDメモリカードトレイから取り外す



3 au ICカード/microSDメモリカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

パソコンなどと接続する

本製品とパソコンなどをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続して、本製品と接続した機器間の高速データ転送が利用できます。また、音楽/動画データの転送も可能です。
- パソコンとの接続方法について詳しくは、「パソコンを使って充電する」(▶P.18)をご参照ください。

1 パソコンと本製品を接続

2 USBの設定画面の「このデバイス」が有効になっていることを確認
USBの設定画面が表示されない場合は、ステータスバーを下にスライドし、USB接続の使用方法についての通知をタップしてください。

3

ファイル転送	MTPに対応したパソコンのデータと本体メモリやmicroSDメモリカードの間でデータを転送する場合に設定します。
USB テザリング	USB テザリングを利用します。 • 詳しくは、「USB テザリング機能を利用する」(▶P.64)をご参照ください。
MIDI	端末をMIDI入力に使用します。
PTP	MTPに対応していないパソコンと接続する場合に設定します。 • パソコンと本体メモリの間で画像などを転送することができます。
データ転送なし	充電のみを行います。

4 充電や転送終了後、USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品から取り外す
USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜いてください。

◎ Windows 8.1/Windows 10以外のOSでの動作は、保証していません。
◎ USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。
◎ データの読み書きをしている間にUSB Type-Cケーブル(市販品)を取り外すと、データを破損するおそれがあります。取り外さないでください。

接続した機器がロールスワップ機能に対応している機器の場合
ロールスワップ機能に対応している機器同士で接続すると、データ通信のデバイスとホストの役割を入れ替えることができます。
◎ USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品に接続したときに表示されるUSBの設定画面で「接続済みのデバイス」を有効にすると、本製品がホストの役割となり接続した機器のファイルを操作することができます。
相手側の機器でファイル操作を許可するなどの操作が必要な場合は行ってください。

USBホスト機能を利用する

本製品にはUSBホスト機能が搭載されています。周辺機器接続用USBケーブル(市販品)を外部接続端子に接続することで、USB機器(市販品)を利用することができます。

- USBホスト機能を使用する前に本製品を充電してください。
- 消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、本製品の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に本製品の電源が切れることがあります。
- USBメモリを取り付けた場合の操作については、「ストレージを確認する」(▶P.59)をご参照ください。

1 本製品の外部接続端子に周辺機器接続用USBケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグを差し込む

2 周辺機器接続用USBケーブル(市販品)にUSB機器を接続する

◎ すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。

ストレージに関する設定をする

ストレージを確認する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ストレージ]

ストレージ画面が表示されます。
microSDメモリカードやUSBメモリを本製品に取り付けていない場合は、内部共有ストレージが表示されます。

2

・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。下記以外に本体メモリやmicroSDメモリカード、USBメモリの使用容量/合計容量などが確認できます。

内部共有ストレージ	内部共有ストレージが表示されます。 ・本体メモリの使用容量の詳細を確認できます。 ・「ファイル」をタップすると、本体メモリに保存されているデータの一覧が表示されます。
SDカード	microSDメモリカードに保存されているデータの一覧が表示されます。
USBメモリ名※	USBメモリに保存されているデータの一覧が表示されます。

※USBメモリ(市販品)を接続している場合に表示されます。

■ microSDメモリカードやUSBメモリのマウントを解除する

1 ストレージ画面→microSDメモリカード/USBメモリ名の[⏏]

マウントを解除したmicroSDメモリカードやUSBメモリを再度マウントする場合は、ストレージ画面→[SDカード]/USBメモリ名をタップ→[マウント]と操作します。

メモリ容量について
◎ メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。

microSDメモリカードのマウント解除について
◎ データが壊れる(消去される)ことがありますので、microSDメモリカードにデータを保存中はマウント解除操作を行わないでください。

USBメモリの取り外しについて
◎ USBメモリをマウント解除してから行ってください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

microSDメモリカード/USBメモリをフォーマットする

フォーマットを行うと、microSDメモリカード/USBメモリに保存されているデータがすべて消去されます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ストレージ]

2 「SDカード」/USBメモリを選択

3 [⋮]→[ストレージの設定]

4 [フォーマット]

5 [SDカードをフォーマット]/[USBドライブをフォーマット]

6 [完了]

◎ フォーマットは、充電しながら行うか、電池残量が十分ある状態で行ってください。

Filesを利用する

データを表示する

本体メモリやmicroSDメモリカードの画像・動画・音声・ダウンロードしたデータなどのコンテンツを管理することができます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Files]

2 カテゴリを選択

3 データを選択

本体内のファイルをmicroSDメモリカードにコピーする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Files]

2 [内部ストレージ]

3 コピーするフォルダ/ファイルをロングタッチ→[⋮]→[コピー]→microSDメモリカードを選択

4 コピー先の階層を表示→[ここにコピー]

確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

データ通信

無線LAN(Wi-Fi®)機能 62
無線LAN(Wi-Fi®)機能について 62
無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する 62
Wi-Fi Direct®を利用する 62
Bluetooth®機能 63
Bluetooth®機能の利用について 63
Bluetooth®を利用する 63
Bluetooth®でデータを送受信する 63
テザリング機能 64
テザリングについて 64
Wi-Fi®テザリング機能を利用する 64
USB テザリング機能を利用する 64
Bluetooth® テザリング機能を利用する 64

無線LAN(Wi-Fi®)機能

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。
Wi-Fi®を利用してインターネットに接続するには、あらかじめ接続するアクセスポイントの登録が必要になります。

◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線とアクセスポイント(無線LAN(Wi-Fi®)親機)をご用意ください。
◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のアクセスポイント設置状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する

無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]
Wi-Fi®設定画面が表示されます。

2 「Wi-Fi の使用」をタップし、ONに切り替える
※タップするたびにON／OFFが切り替わります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]
Wi-Fi®機能がONの場合、Wi-Fi®設定画面に接続可能なアクセスポイントが表示されます。

2 アクセスポイントを選択

3 パスワードを入力→[接続]
「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。
選択したアクセスポイントがQRコード読み取り接続に対応している場合は、「」をタップし、QRコードを読み取って接続できます。

◎ アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
◎ お使いの環境によっては、通信速度が低下する場合やご利用になれない場合があります。
◎ インターネットへ接続されていないアクセスポイントに接続すると「」が表示され、Wi-Fi®ではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。

Wi-Fi®ネットワークに手動で接続する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

2 [ネットワークを追加]

3 ネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択

■ セキュリティを「なし」「Enhanced Open」に設定した場合

4 [保存]

■ セキュリティを「WEP」「WPA/WPA2-Personal」「WPA3-Personal」に設定した場合

4 パスワードを入力→[保存]
「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

■ セキュリティを「WPA/WPA2/WPA3-Enterprise」に設定した場合

4 必要な項目を設定／入力→[保存]

◎ 「詳細設定」をタップすると、「従量制」「プロキシ設定」「IP 設定」「プライバシー」「非公開ネットワーク」に関する設定が行えます。
◎ 手動でアクセスポイントを登録する場合は、あらかじめアクセスポイント機器(無線LAN(Wi-Fi®)親機)のネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

アクセスポイントとの接続の設定を削除する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

2 接続中のアクセスポイントを選択→[削除]

Wi-Fi®設定画面のメニューを利用する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

2 [Wi-Fi 設定]

3 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。下記以外にMAC アドレスやIP アドレスが確認できます。

Wi-Fi を自動的にON にする	保存済みネットワークの検出時にWi-Fi®機能をONにするかどうかを設定します。
オープン ネットワークの通知	オープンネットワークを検出したとき、ステータスバーに通知するかどうかを設定します。
構内IP電話設定	法人向けの内線通話用Wi-Fiハンドオーバーを利用するかどうかを設定します。
証明書のインストール※	Wi-Fi®の認証時に必要な証明書をインストールします。
ネットワーク評価プロバイダ※	ネットワーク評価プロバイダを利用するかどうかを設定します。
Wi-Fi Direct※	▶P.62「Wi-Fi Direct®を利用する」

※「詳細設定」をタップするとメニューが表示されます。

◎ アクセスポイントを登録する場合は、アクセスポイント機器(無線LAN(Wi-Fi®)親機)側の取扱説明書や設定をご確認ください。

Wi-Fi Direct®を利用する

Wi-Fi Direct®を利用すると、アクセスポイントやインターネットを経由せずに、他のWi-Fi Direct®規格対応機器と、簡単にWi-Fi®接続することができます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

2 [Wi-Fi 設定]→[詳細設定]→[Wi-Fi Direct]
検出したWi-Fi Direct®規格対応機器が表示されます。目的の機器が表示されないときは、[⋮]→[デバイスの検索]と操作し、再検索をしてください。
[⋮]→[デバイス名を変更]→デバイス名を入力→[OK]と操作すると、他のWi-Fi Direct®規格対応機器から検索された場合に表示される名前を編集できます。

3 接続するWi-Fi Direct®規格対応機器を選択

4 画面に従って操作

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能の利用について

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。

◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
◎ USB Type-Cケーブル(市販品)などが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

Bluetooth®を利用する

Bluetooth®を起動する

1 **ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[Bluetooth]**

2 **[OFF]をタップして[ON]に切り替える**
[デバイス名]をタップすると他のBluetooth®機器から検索された場合に表示される名前を編集できます。

Bluetooth®機器と接続する

本製品からBluetooth®機器に接続する場合は、Bluetooth®機器とペア設定を行います。Bluetooth®機器との接続を解除しても、ペア設定は解除されません。

1 **ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[接続済みのデバイス]**

2 **[新しいデバイスとペア設定する]**
検出したBluetooth®機器一覧画面が表示されます。
Bluetooth®機器の種類に応じて、アイコンが表示されます。

3 **接続するBluetooth®機器を選択**

4 **画面に従って操作し、Bluetooth®機器を認証**
同じパスキー(ペア設定コード)が表示されていることを確認する旨のメッセージが表示された場合、接続するBluetooth®機器にも同じパスキーが表示されていることをご確認ください。
パスキー入力画面が表示された場合、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー(1～16桁の数字)を入力します。ペア設定が完了するとBluetooth®機器に接続されます。

◎ オーディオ出力とハンズフリー通話を同時に接続することができます。ただし、通話中はオーディオ出力の音が自動的に流れなくなります。
◎ ペア設定をしたBluetooth®機器がHSP、HFP、A2DP、HID、HOGPのいずれのプロファイルにも対応していない場合、接続が行われません。
◎ Bluetooth®機器が検索拒否する設定になっている場合は検出されません。設定の変更などについてはBluetooth®機器の取扱説明書などをご参照ください。
◎ パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。

■ ペア設定したBluetooth®機器のメニューを利用する

1 **ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[接続済みのデバイス]**
現在接続している機器やペア設定済みの機器がある場合は、名前が表示されます。

2 **メニューを利用する機器の[⚙]をタップ**

3 **利用する機能をタップし、ON／OFFを切り替える**
- [削除]をタップすると、Bluetooth®機器とペア設定を解除します。
- [接続を解除]／[接続]をタップするとBluetooth®機器との接続を解除／再接続します。
- [✎]をタップすると、表示名を編集できます。

Bluetooth®でデータを送受信する

Bluetooth®でデータを受信する

本製品でデータを受信するには、Bluetooth®を起動後、相手機器(送信側)のデータ送信を待ちます。Bluetooth®の起動方法について詳しくは、[Bluetooth®を起動する](▶P.63)をご参照ください。

1 **相手機器からデータ送信**

2 **受信通知後、ステータスバーを下にスライド**

3 **ファイル着信の通知をタップ**

4 **[承諾]**

5 **受信完了後、ステータスバーを下にスライド**

6 **受信したファイルの通知をタップ**

7 **受信したデータを選択**
再生／表示／登録するアプリケーションが複数存在する場合は、データを選択するとアプリケーションの選択画面が表示されます。画面に従って操作してください。

◎ 他のアプリがBluetooth®通信を行っていると、データ受信ができない場合があります。

Bluetooth®でデータを送信する

■ データを選んで送信する

例：静止画の場合

1 **ホーム画面→[◔]**

2 **送信する静止画をロングタッチ→[⋖]→[Bluetooth]**

3 **相手機器を選択**

■ データを一括して送信する

例：電話帳の場合

1 **ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[電話帳]**

2 **[☰]→[設定]→[エクスポート]→[すべての連絡先を共有]**

3 **ステータスバーを下にスライド→[連絡先のエクスポートを完了しました。]→[Bluetooth]→[1回のみ]**
[Bluetooth]を選択した後[常時]をタップすると、次回から[Bluetooth]が起動します。

4 **相手機器を選択**

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をアクセスポイントとして使い、4G(LTE／WiMAX 2+)データ通信や無線LAN(Wi-Fi®)通信、Bluetooth®通信を通じて無線LAN(Wi-Fi®)対応機器、USB対応機器、Bluetooth®対応機器をインターネットに接続させることをいいます。

◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

Wi-Fi®テザリング機能を利用する

本製品をモバイルWi-Fi®ルーターとして利用できるよう設定します。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]

2 [Wi-Fiテザリング]

3 [OFF]をタップして[ON]に切り替える
テザリングについての通知画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
「▦」をタップすると、QRコード読み取り接続のQRコードを表示できます。

◎ Wi-Fi®テザリング機能利用中は、Wi-Fi®接続でインターネットに接続できません。
◎ Wi-Fi®テザリング機能利用中は、電池の消耗が激しくなります。充電しながらご利用になることをおすすめします。

■ Wi-Fi®テザリング機能の設定をする

無線LAN(Wi-Fi®)機能対応機器から本製品に接続するための設定を行います。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]

2 [Wi-Fiテザリング]

3
・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

ネットワーク名	他の無線LAN(Wi-Fi®)機能対応機器から検索された場合に表示される名前(ネットワークSSID)を編集できます。
セキュリティ	セキュリティを設定します。
Wi-Fiテザリングのパスワード	セキュリティのパスワードを設定します。
Wi-Fiテザリングを自動的にオフにする※	他の機器から接続が無い状態が続くとWi-Fi®テザリングを「OFF」にするかどうかを設定します。

※「詳細設定」をタップするとメニューが表示されます。

◎ 「セキュリティ」を「なし」に設定した場合、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。

USB テザリング機能を利用する

本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続し、本製品を介してパソコンをインターネットに接続することができます。
・あらかじめパソコンと本製品を接続しておいてください。パソコンとの接続方法について詳しくは、「パソコンを使って充電する」(▶P.18)をご参照ください。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]

2 [USB テザリング]
テザリングについての通知画面が表示された場合は内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

◎ Windows 8.1／Windows 10以外のOSでの動作は、保証していません。

Bluetooth® テザリング機能を利用する

本製品とパソコンなどをBluetooth®機能で接続し、本製品を介してパソコンなどをインターネットに接続することができます。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]

2 [Bluetooth テザリング]
テザリングについての通知画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

端末設定

端末設定 66
設定メニューを表示する 66
au設定メニューを表示する 66
ネットワークとインターネットに関する設定をする 67
接続済みのデバイスに関する設定をする 67
アプリと通知の設定をする 68
電池に関する設定をする 68
ディスプレイに関する設定をする 68
音の設定をする 69
AQUOS便利機能に関する設定をする 69
位置情報の設定をする 70
セキュリティの設定をする 70
アカウントに関する設定をする 70
ユーザー補助の設定をする 71
Digital Wellbeing と保護者による使用制限の設定をする 71
システムに関する設定をする 71
デバイス情報の設定をする 72
お困りのときは 72

端末設定

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]

項目	概要	参照先
au設定メニュー	au IDの設定やauが提供するサービスの設定、利用ができます。	P.66
電話番号	自分の電話番号が表示されます。	−
ネットワークとインターネット	Wi-Fi®や機内モード、テザリングなどネットワークについて設定します。	P.67
接続済みのデバイス	Bluetooth®やUSBなど本製品と接続する機器について設定します。	P.67
アプリと通知	アプリの情報や利用した時間を確認したり、通知や権限に関する設定を行います。	P.68
電池	長エネスイッチの起動や電池利用状況の確認ができます。	P.68
ディスプレイ	画面の明るさやヒカリエモーションの設定、文字フォントの切替などを行います。	P.68
音	メディア再生時、着信時の音量や音などを変更できます。	P.69
AQUOS便利機能	本製品に搭載されている便利な機能の設定を行います。	P.69
ホーム切替	利用するホームアプリを切り替えることができます。 ・「AQUOSかんたんホーム」に設定することができます。	−
ストレージ	本体メモリやmicroSDメモリカード、USBメモリの容量を確認したり、microSDメモリカード／USBメモリの初期化などを行います。	P.59
プライバシー	権限やアカウントアクティビティ、個人データなどのプライバシーに関する設定を行うことができます。	−
位置情報	位置情報の測位について設定します。	P.70
セキュリティ	端末のセキュリティについて設定します。	P.70
アカウント	利用するアカウントについて設定します。 設定しているアカウントが「アカウントを追加」の上に表示されます。	P.70
ユーザー補助	ユーザー補助サービスを設定します。	P.71
Digital Wellbeingと保護者による使用制限	本製品の使用状況の確認や、使用制限を行います。	P.71
Google	Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。	−
システム	表示する言語や文字入力、日付と時刻について設定します。 また、データのバックアップや本製品の初期化などを行います。	P.71
デバイス情報	IMEIや電池の状態など、本製品の情報を確認できます。	P.72
お困りのときは	よくあるご質問、使いこなしガイド、セルフチェックなど困ったときの確認ができます。	P.72

◎「設定を検索」欄や「🔍」をタップすると、設定メニューの内容を検索できます。検索結果をタップすると、設定画面が表示されます。
◎ 設定メニューの先頭には、設定すると予想される項目が候補として表示されます。タップすると設定することができます。

au設定メニューを表示する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[au設定メニュー]

2

au ID	▶P.20「au IDを設定する」
au初期設定	以前にご利用のアプリのダウンロードや、auの便利な機能の設定など、本製品のご利用を始める際の設定をサポートするアプリです。
おすすめアプリ一覧	おすすめアプリのダウンロードや、インストール済みのアプリの確認、アンインストールを行うことができます。
au Wi-Fi 接続ツール	auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」をご利用いただくためのアプリです。 ・利用方法などの詳細については、au Wi-Fi接続ツール画面→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。
データを移行する	スマートフォンで撮影した写真や連絡先など、さまざまなデータをauのサーバに預けたり、microSDメモリカードへのバックアップやスマートフォンへの復元をしたりすることができます。また、機種変更時のデータ移行にもご利用できます。
コミュニケーターが遠隔操作でサポート	▶P.86「遠隔操作サポートを利用する」
au災害対策・緊急速報メール	緊急速報メール（緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報）の受信設定や受信音の音量など、受信に関する設定ができます。
データお預かり設定	自動で預けるデータの種類を設定したり、自動お預かり設定の詳細を確認したりできます。
au通信品質レポート機能	さらなる通信品質向上のため、音声通話やデータ通信時などにおける品質、電波状況および発生場所（GPS位置情報）を検知・収集し、auに自動送信する機能です。
セルフケア設定	セルフケアを利用するかどうかを設定できます。また、アプリの更新確認をしたり、更新があるときに更新通知を表示するかどうかを設定したりできます。

ネットワークとインターネットに関する設定をする

ネットワークとインターネットの設定をする

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]

2

Wi-Fi	▶P.62「無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする」
モバイル ネットワーク	**モバイルデータ** モバイル ネットワーク経由でデータにアクセスするかどうかを設定します。 **ローミング** ▶P.80「データ通信を設定する」 **アプリのデータ使用量** データ使用量の確認やアプリごとのデータの使用量を確認できます。 **優先ネットワークの種類** ▶P.80「海外でVoLTEを利用する」 **ネットワークを自動的に選択**※ 利用するネットワークを自動的に選択するかどうかを設定します。 **ネットワークを選択**※ 利用するネットワークを選択します。 **アクセス ポイント名**※ 利用するアクセスポイントについて設定します。
データセーバー	一部のアプリによるバックグラウンドでのデータ送受信を停止することで、データ使用量を抑制します。 ・データセーバー中もデータ通信を制限しないアプリについては、「無制限のデータアクセス」から設定することができます。
テザリング	**Wi-Fiテザリング** ▶P.64「Wi-Fi®テザリング機能を利用する」 **USB テザリング** ▶P.64「USB テザリング機能を利用する」 **Bluetooth テザリング** ▶P.64「Bluetooth® テザリング機能を利用する」
プロキシ設定	プロキシ設定を一括で有効／無効にします。
機内モード※	▶P.67「機内モードを設定する」
VPN※	VPNの設定や管理を行います。 ・VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。 ・VPNを追加する場合は、[＋]→必要な項目を設定／入力→[保存]と操作します。 ・VPNに接続する場合は、VPN名を選択→ユーザー名とパスワードを入力→[接続]と操作します。 ・VPNを編集／削除する場合は、「⚙」をタップします。
プライベート DNS※	プライベート DNSの設定をします。

※「詳細設定」をタップするとメニューが表示されます。

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(電話、データ通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能など)がOFFになります。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[詳細設定]→[機内モード]

・お知らせ／ステータスパネルの機能ボタンからでも設定できます。(▶P.25)

◎ 航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
◎「機内モード」を有効に設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的に無効に設定されます。
◎「機内モード」を有効に設定すると、電話やメールの送受信ができなくなります。また、無線LAN(Wi-Fi®)、Bluetooth®機能が「OFF」になります。「機内モード」を有効にしているときに無線LAN(Wi-Fi®)、Bluetooth®を利用したい場合は、それぞれを「ON」に設定し直してください。

接続済みのデバイスに関する設定をする

接続済みのデバイスの設定をする

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[接続済みのデバイス]

現在接続している機器やペア設定済みの機器がある場合は、名前が表示されます。表示された機器の設定について詳しくは、「ペア設定したBluetooth®機器のメニューを利用する」(▶P.63)をご参照ください。

2

USB※	本製品とパソコンなどをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続したときの動作を設定します。 ・詳しくは、「パソコンなどと接続する」(▶P.58)をご参照ください。
新しいデバイスとペア設定する	使用可能なBluetooth®機器とペア設定を行います。 ・詳しくは、「Bluetooth®機器と接続する」(▶P.63)をご参照ください。
接続の設定	▶P.67「接続の設定をする」

※本製品にパソコンやUSB機器(市販品)を接続している場合に表示されます。

接続の設定をする

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]

2

Bluetooth	▶P.63「Bluetooth®を起動する」
キャスト	端末の画面と音声をキャストする機器を選択します。
印刷	▶P.67「印刷の設定をする」
Bluetooth で受信したファイル	Bluetooth®通信のデータ受信履歴を表示します。
Chromebook	Chromebook™との接続用の項目が表示されます。

キャストについて
◎ キャスト機能を利用する機器を設定すると、対応するアプリでキャストアイコン(など)が表示される場合があります。

印刷の設定をする

印刷用アプリ(プラグイン)をインストールすると、印刷機能に対応するアプリで印刷することができます。
・あらかじめ、利用するプリンタに対応した印刷用アプリ(プラグイン)をインストールしておく必要があります。
以下の操作で、印刷用アプリ(プラグイン)の設定が変更できます。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[印刷]

2 印刷サービスを選択→プリンタを選択→画面の指示に従って操作

◎ 対応するアプリケーションから印刷する場合に、表示内容と実際の印刷内容が異なる場合があります。
◎ 対応するアプリケーションから印刷する場合に、「PDF形式で保存」を選択すると、表示内容をPDFとして保存することができます。保存したPDFはOfficeSuiteなどで確認できます。

アプリと通知の設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[アプリと通知]

2

最近開いたアプリ	選択したアプリの詳細画面が表示され、アプリのアンインストールなどができます。表示される項目はアプリによって異なります。 ・Google Playなどからインストールしたアプリを選択すると「アンインストール」が表示されます。アンインストールを実行するとアプリは削除されます。 ・アプリによっては削除できないものもあります。 ・「XX個のアプリをすべて表示」をタップすると、インストールされているアプリの一覧が表示されます。
通知	通知を表示したアプリの確認や、ロック画面に表示する通知の設定などを行います。
利用時間	アプリの利用時間を確認したり、アプリごとに、使用できる1日の最大時間などを設定できます。
デフォルト アプリ	**アシストアプリ** 「▭」をロングタッチして起動するアプリについて設定します。 **ブラウザアプリ** Webページを閲覧する際に使用するアプリを設定します。 **ホームアプリ** 利用するホームアプリを切り替えることができます。 ・「AQUOSかんたんホーム」に設定することができます。 **電話アプリ** 電話を行う際に使用するアプリを設定します。 **SMSアプリ** SMSを行う際に使用するアプリを設定します。 **リンクを開く** 他のアプリなどからの連携について設定します。
権限マネージャ※	▶P.26「利用する機能について設定する」
緊急速報メール※	緊急速報メール(緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報)の受信設定や受信音の音量など、受信に関する設定ができます。
特別なアプリアクセス※	電池の最適化や「マナーモード」にアクセスできるアプリの設定など、特別なアクセスをするアプリについて設定します。

※「詳細設定」をタップするとメニューが表示されます。

電池に関する設定をする

電池の設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[電池]

2
・下記以外に「健康度」、「電池切れの推定時間」、「前回のフル充電」、「最後にフル充電してからの使用時間」など電池の利用状況が確認できます。

長エネスイッチ	▶P.68「長エネスイッチを利用する」
自動調整バッテリー	アプリの使用状況によって電池使用量を自動調整するかどうかを設定します。
電池残量	電池残量のパーセント表示をステータスバーに表示するかどうかを設定します。

長エネスイッチを利用する

長エネスイッチをONに設定することで本製品の機能を制限して、電池の消費を抑えることができます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[電池]→[長エネスイッチ]

「今すぐONにする」/「今すぐOFFにする」をタップすると、電池残量にかかわらず長エネスイッチのON/OFFを切り替えられます。

2

スケジュールの設定	設定した電池残量以下になった場合に、長エネスイッチを自動でONにするかどうかを設定します。
フル充電で無効	電池残量が90%になった場合に、長エネスイッチを自動でOFFにするかどうかを設定します。
画面の明るさを最小にする	長エネスイッチがONの場合に画面の明るさを最小値にするかどうかを設定します。
画面の滑らかさを制限する	長エネスイッチがONの場合に画面の滑らかな動作を制限するかどうかを設定します。

◎ 充電を開始すると長エネスイッチはOFFになります。

ディスプレイに関する設定をする

ディスプレイの設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ディスプレイ]

2

明るさのレベル	画面の明るさを設定します。
明るさの自動調節	周囲の明るさに合わせて画面の明るさを自動的に調節するかどうかを設定します。
ダークテーマ	黒基調の画面になるダークテーマを利用するかどうかを設定します。
画面消灯(スリープ)	画面が消灯するまでの時間を設定します。
壁紙※	ホーム画面/ロック画面の背景を変更します。 ・「ロックフォトシャッフル」について詳しくは、「ロックフォトシャッフルを設定する」(▶P.69)をご参照ください。
文字フォント設定※	**フォントサイズ** 文字サイズを設定します。 **文字フォント切替** 画面に表示される文字フォントを設定します。 ・「ダウンロードフォントを検索」をタップするとGoogle Playでフォントを検索します。Google Playの利用方法について詳しくは、「Google Playを利用する」(▶P.52)をご参照ください。
表示サイズ※	表示サイズを設定します。
ナビゲーションバーを隠す※	「システム ナビゲーション」を「2 ボタン ナビゲーション」/「3 ボタン ナビゲーション」に設定している場合に、ナビゲーションバーを非表示にして画面を広く表示するかどうかを設定します。 ・ナビゲーションバーが非表示の場合、画面下部から上にスワイプするとナビゲーションバーが一時的に表示されます。
ヒカリエモーション※	▶P.69「ヒカリエモーションを設定する」
リラックスビュー※	目に優しい画質(リラックスビュー)に関する設定を行います。有効にした場合の輝度や、自動で有効にする時間帯を設定します。
のぞき見ブロック※	**のぞき見ブロック** のぞき見ブロックを利用して周囲から画面をのぞかれにくくするかどうかを設定します。 **表示パターン** のぞき見ブロックのパターンを設定します。 **強弱設定** 周りの人から見えにくくする効果(濃淡)を設定します。
アウトドアビュー※	明るい日差しの下で見やすい画質にするかどうかを設定します。
スクリーンセーバー※	スクリーンセーバーに表示する内容や、起動するタイミングを設定します。
ロック画面の表示※	**ロック画面** ロック画面に表示する通知について設定します。 **ロック画面の通知を整理** ロック画面で一度見た通知を非表示にして、新しい通知を見やすくするかどうかを設定します。ただし、削除できない通知は表示されます。 **ロック画面メッセージ** ロック画面に表示するメッセージを設定します。 **ロックダウン オプションの表示** ▯(⏻)を2秒以上長押したときに表示される機能(電源メニュー)に、「ロックダウン」を表示します。 ・「ロックダウン オプションの表示」を利用する場合は、「画面ロック」(▶P.70)を「スワイプ」以外に設定する必要があります。 ・「ロックダウン」をタップすると、Smart Lockよるロック解除、ロック画面上の通知を無効にします。 **時計表示 ON** 画面消灯中に、時刻や通知アイコンなどの情報を一定時間表示するかどうかを設定します。 **新しい通知** 通知を受信したときに画面を点灯させるかどうかを設定します。
基本設定※	画質モードを設定します。
バーチャルHDR※	標準動画をHDRのように表示するかどうかを設定します。
はっきりビュー※	はっきり表示される画質に設定するかどうかを設定します。
画面の自動回転※	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示/横表示を切り替えるかどうかを設定します。

※「詳細設定」をタップするとメニューが表示されます。

リラックスビューについて

◎ リラックスビューを有効にしていても、カメラ利用時は画面が通常の画質で表示されます。
ただし、撮影画面からフォトの起動や直前に撮影したデータの表示を行った場合、画面はリラックスビューの画質で表示されます。

ロックフォトシャッフルを設定する

ロック画面を表示するたびにロック画面の壁紙をランダムで切り替えます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ディスプレイ]→[詳細設定]→[壁紙]→[ロックフォトシャッフル]

2 「OFF」をタップして「ON」に切り替える

3 ロックフォトシャッフルで表示させるフォルダを選択

・「 › 」をタップすると、フォルダに入っている画像を確認できます。

ヒカリエモーションを設定する

着信時や充電開始時などに、ディスプレイに光の演出を表示します。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ディスプレイ]→[詳細設定]→[ヒカリエモーション]

2 「OFF」をタップして「ON」に切り替える

3

電話着信中	着信時にヒカリエモーションを動作させるかどうかを設定します。
電話着信パターン／カラー	着信時のヒカリエモーションの点滅パターンや点滅カラーについて設定します。
充電開始時	充電開始時にヒカリエモーションを動作させるかどうかを設定します。
ロック解除時	画面ロック解除時にヒカリエモーションを動作させるかどうかを設定します。
終話時	通話が終了したときにヒカリエモーションを動作させるかどうかを設定します。

電話着信パターン／カラーについて

◎ 相手との関係で変化／パターン11（うつろい）／パターン12（ときめき）については、決められた複数のカラーで点滅するため、点滅カラーの選択はできません。

充電開始時について

◎ 電源が切れている場合は、点滅しません。

音の設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[音]

2

メディアの音量	メディア音（音楽や動画など）やエモパーの音声の音量を設定します。
通話の音量	通話時の音量を設定します。
着信音の音量	着信音の音量を設定します。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
着信時のバイブレーション	着信時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
高度なマナーモード	通知動作や、特定の連絡先からの着信、設定した時間帯での通知動作などについて設定します。 ・詳しくは、「マナーモードの高度な設定について」（▶P.25）をご参照ください。
着信音を停止	▯(⏻)と▯(＋)を同時に押して、「マナーモード(バイブ)」や「マナーモード(ミュート)」を設定できるようにします。
着信音	電話の着信音に設定するデータを選択して登録します。
デフォルトの通知音	デフォルトの通知音に設定するデータを選択して登録します。
デフォルトのアラーム音※	デフォルトのアラーム音に設定するデータを選択して登録します。
待ちうた※	Chromeを起動して待ちうたサイトを表示します。
ダイヤルパッドの操作音※	電話番号やプッシュ信号入力時の操作音を有効にするかどうかを設定します。
画面ロック音※	画面ロック／ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
充電時の音とバイブレーション※	充電開始時に音とバイブレータでお知らせするかどうかを設定をします。
タッチ操作音※	メニューやアイコン選択時の操作音を有効にするかどうかを設定します。
タップ操作時のバイブ※	タップしたときに、バイブレータを振動させるかどうかを設定します。

※「詳細設定」をタップするとメニューが表示されます。

AQUOS便利機能に関する設定をする

AQUOS便利機能の設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[AQUOS便利機能]

2

リッチカラーテクノロジーモバイル	**基本設定** 画質モードを設定します。 **アウトドアビュー** 明るい日差しの下で見やすい画質にするか設定します。 **リラックスビュー** 目に優しい画質（リラックスビュー）に関する設定を行います。有効にした場合の輝度や、自動で有効にする時間帯を設定します。 **のぞき見ブロック** のぞき見ブロックの利用や表示パターン、強弱を設定します。 **バーチャルHDR** 標準動画をHDRのように表示するかどうかを設定します。 **はっきりビュー** はっきり表示される画質に設定するかどうかを設定します。
スクロールオート	▶P.69「スクロールオートの設定をする」
エモパー	エモパーを起動します。 ・詳しくは、「エモパーを設定する」（▶P.56）をご参照ください。
Clip Now	▶P.70「Clip Nowの設定をする」
自動画面点灯	**持つと画面点灯** 画面消灯中、本製品を持ち上げて静止したときに画面を点灯させるかどうかを設定します。 ・詳しくは、「持つと画面点灯について」（▶P.19）をご参照ください。 **Bright Keep** 本製品を手に持っている間、画面の点灯を維持するかどうかを設定します。
かんたんモード	**まとめてONにする** かんたんモードの各設定を一括でONにします。 **かんたんホーム** かんたんで見やすいAQUOSかんたんホームに切り替えます。 **フォントサイズ（特大）** 文字を大きく読みやすくします。 **はっきりビュー** はっきり表示される画質に設定します。 **S-Shoin一括シンプル切替** 見やすい色と形のデザインに設定します。
ロボクル設定	**ロボクルの動作** 本製品をロボクル（別売）で充電しているときに、ロボクル（別売）を動作させるかどうかを設定します。 **ロボクルの詳しい情報はこちら** シャープのサイトに接続し、ロボクル（別売）についての詳しい情報を確認できます。

Bright Keepについて

◎ お使いの状況によっては正しく動作しない場合があります。

スクロールオートの設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[AQUOS便利機能]→[スクロールオート]

2

ON／OFF設定	スクロールオートを利用するかどうかを設定します。
対象アプリ設定	スクロールオートを動作させるアプリを設定します。
ステータスバーへの通知	対象アプリが起動しているときに、お知らせアイコンで通知するかどうかを設定します。

◎ スクロールオートは上下方向にのみ対応しています。

画面の自動スクロールを利用する

1 スクロールする方向に画面をドラッグ→「↑」／「↓」までドラッグし指を離す

画面をドラッグした方向にスクロールを開始します。

・約5分間動作するとスクロールを停止します。
・スクロール速度を調整するには「＋」／「－」をタップします。
・スクロールを一時停止、再開するには「⏸」／「▶」をタップします。
・スクロールを停止するには画面をタップします。
・画面の自動スクロール利用中にスクロールオートの設定を確認／変更するには「⚙」をタップします。

◎ 画面をドラッグする速度が速すぎると、↑／↓が表示されません。
◎ 画面の位置によっては、指を離しても自動スクロールしない場合があります。

Clip Nowの設定をする

画面の縁を指でなぞることで表示中の画面を画像(スクリーンショット)として撮影できます。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[AQUOS便利機能]→[Clip Now]

2

Clip Now	Clip Nowを利用するかどうかを設定します。 ・「Clip Now」をタップすると、なぞる向きを設定できます。
使い方ガイド	Clip Nowについての説明を表示します。

◎ アプリケーションによっては全部または一部が保存できない場合があります。

Clip Nowでスクリーンショットを撮影する

1 保存したい画面をディスプレイに表示→画面の左上／右上から、画面の縁をなぞる

位置情報の設定をする

アプリケーションの位置情報リクエストを許可する

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[位置情報]

2 [位置情報の使用]をタップしてONに切り替える

・お知らせ／ステータスパネルの機能ボタンからでも設定できます。(▶P.25)

位置情報について設定する

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[位置情報]

2

最近の位置情報リクエスト	位置情報を取得したアプリを表示します。表示されたアプリをタップするとアプリ情報を表示します。
アプリの権限	位置情報にアクセスできるアプリを設定します。
Androidサービス以外の権限	Androidサービス以外の位置情報に対するアクセス権限を変更します。
詳細設定	Googleのロケーション履歴や現在地の共有機能を設定します。 Googleのロケーション履歴や現在地の共有機能を設定する場合は、Googleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「初期設定を行う」(▶P.19)をご参照ください。

GPS機能について

◎ 電波が良好な場所でご利用ください。

セキュリティの設定をする

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[セキュリティ]

2

Google Playプロテクト	Google Playのアプリケーションをインストールするときや、インストール済みのアプリケーションに不正な動作がないかスキャンする機能について設定します。
デバイスを探す	Googleアカウントによる遠隔操作で、本製品の位置情報を検出したり、タッチパネルのロックや出荷時リセットを実行できるようにする機能について設定します。
セキュリティアップデート	ソフトウェア更新について確認します。 ・詳しくは、「ソフトウェアを更新する」(▶P.84)をご参照ください。
画面ロック	ロック画面の解除方法を設定します。 ・「⚙」をタップすると、画面消灯した後に解除方法が必要になるまでの時間など、画面ロックに関する設定を行います。
顔認証	▶P.22「顔を登録する」
Smart Lock	・「Smart Lock」を利用するには、「画面ロック」を「パターン」／「ロックNo.(PIN)」／「パスワード」に設定する必要があります。 「信頼できる場所」の付近に本製品があるときや、「信頼できるデバイス」に接続しているときなど、特定の条件で自動的に画面ロックが解除されるように設定します。
デバイス管理アプリ	アプリのデバイス管理機能を設定します。アプリによっては、デバイス管理機能を有効にしないと利用できないものがあります。
SIM カードロック設定	**SIM カードをロック** 起動時にPINコードを入力するかどうかを設定します。 **SIM PINの変更** PINコードを変更します。 ・SIM PINを変更する場合は、「SIM カードをロック」を有効に設定してください。 ・画面に従って設定されているPINコードを解除し、新しいPINコードを登録します。
暗号化と認証情報※	**スマートフォンの暗号化** 本製品が暗号化されていることを確認できます。 **ストレージのタイプ** ストレージの方式が表示されます。 **信頼できる認証情報** 安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスを許可します。 **ユーザー認証情報** 認証情報の確認や削除ができます。 **ストレージからのインストール** 暗号化された証明書を認証情報ストレージにインストールします。 ・画面に従って証明書のパスワードを入力し、証明書名を指定してください。 **認証ストレージの消去** 認証情報ストレージの内容を消去します。
信頼エージェント※	画面ロックを解除するアプリ(エージェント)について設定します。
画面の固定※	表示中の画面を固定するように設定します。

※「詳細設定」をタップするとメニューが表示されます。

画面ロックについて

◎ ロック画面を解除していない状態でも「緊急通報」をタップして、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)への電話はかけられます。

◎ 画面ロックを「パターン」／「ロックNo.(PIN)」／「パスワード」に設定している場合、各種設定を行うときにロック解除の画面が表示される場合があります。ロック解除の画面が表示された場合は、設定している方法でロックを解除してください。

◎ 画面ロックの解除方法として設定した「パターン」／「ロックNo.(PIN)」／「パスワード」をお忘れになった場合は、お客さまセンターにご連絡ください。なお、解除の際に設定やデータはすべて初期化されてしまう場合がありますので、ご了承ください。

アカウントに関する設定をする

アカウントを追加する

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[アカウント]→[アカウントを追加]

2 追加するアカウントの種類を選択

3 画面に従って操作

データを同期する

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[アカウント]→アカウントを選択

2 [アカウントの同期]

3 同期する項目を選択

◎「自動的にデータを同期」を有効にすると各アカウントで設定された項目を自動的に同期することができます。

アカウントを削除する

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[アカウント]→アカウントを選択

2 [アカウントを削除]→[アカウントを削除]

ユーザー補助の設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ユーザー補助]

2 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

音量キーのショートカット	ユーザー補助機能をすばやく有効にできるようにするかどうかを設定します。
テキスト読み上げの設定	使用するエンジンや言語などテキスト読み上げに関する設定をします。
フォントサイズ	文字サイズを設定します。
表示サイズ	表示サイズを設定します。
ダークテーマ	黒基調の画面になるダークテーマを利用するかどうかを設定します。
拡大	**トリプルタップで拡大** 画面の同じ位置を3回連続でタップして、表示を拡大／縮小できるようにするかどうかを設定します。 **ショートカットで拡大** ジェスチャー操作やナビゲーションバーのキーで表示を拡大／縮小できるようにするかどうかを設定します。
色補正	画面に表示されている色の補正について設定します。
色反転	画面に表示されている色を反転するかどうかを設定します。
大きなマウスポインタ	Bluetooth®や外部接続端子に接続したポインティングデバイスのポインタを大きくするかどうかを設定します。
アニメーションの削除	アニメーションを省略するかどうかを設定します。
停止時間	Bluetooth®や外部接続端子に接続したポインティングデバイスのポインタが停止すると自動的にクリックするかどうかやクリックするまでの時間を設定します。
電源ボタンで通話を終了	(⏻)を押して通話を終了するかどうかを設定します。
画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
長押しする時間	ロングタッチを検出する間隔を設定します。
操作までの時間（ユーザー補助タイムアウト）	短い時間しか表示されないメッセージの表示時間を指定できます。
バイブレーションと触覚フィードバックの強さ	着信時や通知時、タップ操作時にバイブレータを振動させるかどうかを設定します。
モノラル音声	ステレオ音声をモノラル音声に統合するかどうかを設定します。
オーディオ バランス	左右のスピーカーの音量バランスを設定します。
字幕の設定	字幕について設定します。
高コントラストテキスト	文字を従来よりはっきりと表示させるかどうかを設定します。

Digital Wellbeing と保護者による使用制限の設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[Digital Wellbeing と保護者による使用制限]

「Digital Wellbeing ツール」が展開されていない場合は、「データを表示」をタップして項目を表示してください。
本製品の使用制限について設定する場合は、「保護者による使用制限を設定する」をタップし、画面の指示に従って操作してください。

2

ダッシュボード	本製品の利用時間や受信した通知の数などを確認できます。また、アプリの利用時間に制限を設けることができます。
おやすみモード	指定した時間に画面をグレースケールにしたり、高度なマナーモードを設定したりします。
フォーカス モード	アプリを一時停止できます。
通知を管理	通知を表示するアプリが表示されます。 アプリごとに通知を許可するかどうかを設定します。
サイレント モード	高度なマナーモードを設定します。 ・詳しくは、「マナーモードの高度な設定について」(▶P.25)をご参照ください。
アプリの一覧にアイコンを表示	Digital Wellbeingをアプリとしてアプリ一覧画面に表示するかどうかを設定します。

システムに関する設定をする

システムの設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]

2

言語と入力	▶P.71「使用する言語や文字入力の設定をする」
操作	**アシスタントの起動** (⏻)を長押しで起動するアシスタントアプリを設定します。 **カメラの起動** (⏻)を2回押して「カメラ」アプリを起動するかどうかを設定します。 **システム ナビゲーション** ▶P.72「システム ナビゲーションを変更する」 **着信音を停止** (⏻)と(＋)を同時に押して、「マナーモード(バイブ)」や「マナーモード(ミュート)」を設定できるようにします。
日付と時刻	▶P.72「日付と時刻の設定をする」
バックアップ	Googleアカウントを利用して、アプリのデータや通話履歴などを自動的にバックアップするかどうかを設定します。
データ引継※	▶P.20「データを引き継ぐ」
リセット オプション※	**Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット** ネットワークに関する設定をすべてリセットします。 **アプリの設定をリセット** アプリケーション各種設定をすべてリセットします。 **すべてのデータを消去(出荷時リセット)** ▶P.72「本製品を初期化する」
システム アップデート※	▶P.84「ソフトウェアを更新する」

※「詳細設定」をタップするとメニューが表示されます。

使用する言語や文字入力の設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[言語と入力]

言語と入力画面が表示されます。

2

言語	言語の表示を切り替えます。 ・言語を追加する場合は、「言語を追加」をタップし、言語を選択します。 表示する言語の優先順位は「＝」を優先順位に合わせドラッグして指を離して設定します。 ・利用しない言語を削除する場合は、[⋮]→[削除]→削除する言語を選択→[🗑]→[OK]と操作します。
仮想キーボード	**Google音声入力** Google音声入力で入力する言語や音声検索などについて設定します。 **S-Shoin** S-Shoinでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定できます。 ・詳しくは、「その他の設定をする」(▶P.29)をご参照ください。 **キーボードを管理** 利用するソフトウェアキーボードの有効／無効を設定します。
物理キーボード	Bluetooth®や外部接続端子に接続したキーボードを利用する場合の設定をします。
スペルチェック※	Gboard利用時に入力された文字列のスペルをチェックするかどうかを設定します。
自動入力サービス※	Googleの自動入力サービスを使用するかどうかを設定します。
単語リスト※	Gboard利用時に使用する単語リストを表示します。 ・「＋」をタップして単語などを入力すると、単語を登録できます。 ・登録した単語をタップすると編集できます。「🗑」をタップすると削除できます。
ポインタの速度※	ポインタの速度を調整できます。
テキスト読み上げの設定※	使用するエンジンや言語などテキスト読み上げに関する設定をします。

※「詳細設定」をタップするとメニューが表示されます。

言語について
◎ アプリや機能によっては、設定した言語では表示されない場合があります。

Gboardの設定をする

・設定する場合は、あらかじめ「仮想キーボード」の「キーボードを管理」で「Gboard」を有効に設定してください。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[言語と入力]→[仮想キーボード]→[Gboard]

2

言語	入力言語を設定します。
設定	Gboardの文字入力について詳細設定を行います。
テーマ	キーボードのテーマを変更できます。
テキストの修正	テキスト入力時に入力候補の予測や自動修正などをするかどうかを設定します。
グライド入力	文字間をスライドして単語を入力するグライド入力について設定します。
音声入力	Gboard利用時の音声入力について設定します。
単語リスト	Gboard利用時に使用する単語リストについて設定します。
検索	入力候補をオンラインから取得するかどうかを設定します。
Gboard を共有	Bluetooth®やメール添付などでGboardを共有します。
詳細設定	上級ユーザー向けのオプションを設定します。
評価のお願い	Gboardのフィードバックを行います。

システム ナビゲーションを変更する

ホーム画面の表示やアプリの切り替えなど、本製品の操作方法を変更することができます。

・初期状態では「2 ボタン ナビゲーション」に設定されています。

■3 ボタン ナビゲーションに変更する

「3 ボタン ナビゲーション」に設定すると、ナビゲーションバーに表示されるタッチキーのデザインが変更され、アプリ使用履歴を表示するキー(□)が追加されます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[操作]→[システム ナビゲーション]

2 [3 ボタン ナビゲーション]

■ジェスチャー ナビゲーションに変更する

「ジェスチャー ナビゲーション」に設定すると、ナビゲーションバーは表示されなくなり、ホーム画面の表示やアプリの切り替えなどの操作をジェスチャー操作(スワイプ)で行います。

・ジェスチャー操作は「ジェスチャー ナビゲーション」に設定している場合のみ有効です。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[操作]→[システム ナビゲーション]

2 [ジェスチャー ナビゲーション]

「⚙」をタップすると、「1つ前の画面に戻る」ジェスチャーの感度を変更することができます。

■ジェスチャー操作

動作	操作
ホーム画面の表示	画面下端から画面中央へ向けてスワイプ
1つ前の画面に戻る	画面右端／画面左端から画面中央へ向けてスワイプし、画面にくが表示されたら指を離す
アプリ使用履歴画面の表示	画面下端から画面中央へ向けてスワイプし、指を止めたあと離す
アシストアプリの起動	画面右下／左下から画面中央へ向けてスワイプ
1つ前に使用していたアプリを表示	画面下端から右にスワイプ

日付と時刻の設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[日付と時刻]

2

ネットワークの時刻を使用する	ネットワークから提供される日付・時刻情報をもとに自動で補正するかどうかを設定します。
日付	日付を設定します。
時刻	時刻を設定します。
ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する	ネットワークから提供されるタイムゾーンを使用するかどうかを設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
言語 ／ 地域のデフォルトを使用する	時刻の表示方法を、ユーザーの言語／地域の標準に合わせて自動的に切り替えるかどうかを設定します。有効に設定した場合は24時間表示で表示します。
24時間表示	時刻の表示方法を、24時間表示にするかどうかを設定します。

本製品を初期化する

本体メモリを初期状態に戻します(出荷時リセット)。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[詳細設定]→[リセット オプション]→[すべてのデータを消去(出荷時リセット)]

2 [すべてのデータを消去]

「SDカード内データも消去する」をタップするとmicroSDメモリカード内のデータも消去できます。

3 [すべてのデータを消去]

◎ 出荷時リセットを実行する前に本製品のデータをバックアップすることをおすすめします。
◎ 著作権保護されたデータによっては出荷時リセットを実行すると、利用できなくなる場合があります。
◎「SIM カードロック設定」は、出荷時リセットを実行してもリセットされません。
◎ 電池残量が少ないときは出荷時リセットできません。
◎ 次のデータは消去される例です。
・撮影した写真
・画像、動画、音楽など
・システム、アプリのデータ、設定値
・ダウンロードしたアプリ
・Googleアカウント

デバイス情報の設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[デバイス情報]

2

・下記以外にモデルやソフトウェアのIP アドレス、Wi-Fi MACアドレス、Bluetoothアドレス、稼働時間、ビルド番号などが確認できます。

デバイス名	本製品のデバイス名を変更できます。
電話番号	自分の電話番号が表示されます。
緊急時情報	緊急通報発信画面に表示される情報を設定できます。
法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。
認証	本製品に固有の認定および準拠マークに関する詳細(認証・認定番号を含む)を表示します。
センサー感度補正	モーションセンサー、地磁気センサーの補正を行います。 本体をしっかりと持ち、画面上にイラストで表示される動作をゆっくりと行ってください。 補正が完了して正解音が鳴るまで、繰り返し実施してください。
電池の状態	内蔵電池の充電能力を確認できます。
SIMのステータス	au ICカード情報を確認できます。
SIMロックの状態	SIMロックの状態を確認できます。
モデルとハードウェア	モデル名やシリアル番号を確認できます。
IMEI	IMEI情報を確認できます。
Androidバージョン	ソフトウェアのバージョンやAndroidセキュリティパッチの配信日、ビルド番号などが確認できます。

お困りのときは

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[お困りのときは]

2

よくあるご質問	サポートサイトに接続し、「よくあるご質問」を確認できます。
設定項目を検索	どこにあるかわからない設定項目を検索できます。
使いこなしガイド	シャープのサイトに接続し、使いこなしガイドを確認できます。
セルフチェック	**診断する** 項目を選択して本製品の状態を診断できます。 ・「診断したい箇所を選ぶ」を選択した場合は、各項目の「?」をタップすると、ヘルプが表示されます。 **診断履歴** セルフチェックの履歴が表示されます。履歴を選択すると、詳細結果が表示されます。

auネットワークサービス

auネットワークサービス 74
auのネットワークサービスについて 74
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス) 74
着信転送サービスを利用する(標準サービス) 74
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス) 75
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス) 75
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス) 75
三者通話サービスを利用する(オプションサービス) 77
割込通話サービスを利用する(オプションサービス) 78
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス) 78
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス) 78

auネットワークサービス

auのネットワークサービスについて

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

標準サービス	+メッセージ(SMS)(▶P.39) 着信お知らせサービス(▶P.74) 着信転送サービス(▶P.74) 発信番号表示サービス(▶P.75) 番号通知リクエストサービス(▶P.75)
有料オプションサービス※	お留守番サービスEX(▶P.75) 三者通話サービス(▶P.77) 割込通話サービス(▶P.78) 迷惑電話撃退サービス(▶P.78) 通話明細分計サービス(▶P.78)

※有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ(**https://www.au.com/**)でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)

着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、電波の届かない場所にいた場合など、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

◎「着信お知らせサービス」を利用するには、あらかじめお留守番サービスEXの圏外転送を設定してください。(▶P.76)
※有料オプションサービスをご契約していない場合も設定を行ってください。
◎ 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
◎ お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
◎ 着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
◎ ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.75)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合はお留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

着信転送サービスについて

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を選択できます。

◎ 緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎ 着信転送サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
◎ au国際電話サービスでの転送はご利用いただけません。また、一部の国際電話事業者でも転送できない場合があります。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ・電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ・お客様のご負担となります。 ・海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 **ホーム画面→[ ]→[ ]→[設定]**
2 **[通話]→[着信転送]→[不在着信時]**
3 **転送先番号や転送までの呼出時間を設定**
「 」をタップすると、電話帳に登録されている連絡先から転送先を選択することができます。
転送までの呼出時間は5秒～55秒の間で設定できます。
4 **[ONにする]／[更新]**
「OFFにする」をタップすると転送サービスを停止できます。

◎ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。このとき「簡易留守録を利用する」(▶P.35)が同時に設定されている場合は、応答時間の短い方が優先されます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

1 **ホーム画面→[ ]→[ ]→[設定]**
2 **[通話]→[着信転送]→[通話中の着信時]**
3 **転送先番号を設定**
「 」をタップすると、電話帳に登録されている連絡先から転送先を選択することができます。
4 **[ONにする]／[更新]**
「OFFにする」をタップすると転送サービスを停止できます。

◎ 話中転送と割込通話サービスを同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなどに電話を転送します。

1 **ホーム画面→[ ]→[ ]→[設定]**
2 **[通話]→[着信転送]→[着信不能時]**
3 **転送先番号を設定**
「 」をタップすると、電話帳に登録されている連絡先から転送先を選択することができます。
4 **[ONにする]／[更新]**
「OFFにする」をタップすると転送サービスを停止できます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

1 **ホーム画面→[ ]→[ ]→[設定]**
2 **[通話]→[着信転送]→[常に転送]**
3 **転送先番号を設定**
「 」をタップすると、電話帳に登録されている連絡先から転送先を選択することができます。
4 **[ONにする]／[更新]**
「OFFにする」をタップすると転送サービスを停止できます。

◎ フル転送を設定している場合は、本製品は呼び出されません。

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始、転送停止ができます。

1 **090-4444-XXXXに電話をかける**
上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
フル転送起動	1428
フル転送停止	1429
全転送停止	1430

2 **本製品の電話番号を入力**
3 **暗証番号(4桁)を入力**
暗証番号については「各種暗証番号について」(▶P.14)をご参照ください。
4 **ガイダンスに従って操作**

◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

発信番号表示サービスについて

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号をお客様の端末のディスプレイに表示したりするサービスです。

■ お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

◎ 発信者番号(お客様の電話番号)はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
◎ 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
◎ 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」(Private number)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」(Payphone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「不明」(Unknown)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

電話番号を通知する

1 **ホーム画面→[ ]→[ ]→[設定]**
2 **[通話]→[その他の設定]→[発信者番号]**
3 **[番号を通知]**

◎ 電話をかけるとき、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
◎ 発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号」を「番号を通知」に設定していても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、お客さまセンターまでお問い合わせください。
◎ 「発信者番号」を「番号を非通知」に設定しても、緊急通報番号(110、119、118)への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

番号通知リクエストサービスについて

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎ お留守番サービス、着信転送サービス、割込通話サービス、三者通話サービスのそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎ 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎ サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 **ホーム画面→[ ]→[ ]→[設定]**
2 **[通話]→[au通話設定]→[着信拒否]→[番号通知リクエストサービス]**
3 **[番号通知リクエストサービス設定]→[ON]**

◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎ 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- SMS
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 **ホーム画面→[ ]→[ ]→[設定]**
2 **[通話]→[au通話設定]→[着信拒否]→[番号通知リクエストサービス]**
3 **[番号通知リクエストサービス設定]→[OFF]**

お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)

お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード(▶P.67)を有効にしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- 本製品ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.75)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	7日間まで※1
お預かりできる件数	99件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメール(▶P.76)の合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 • お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更、英語ガイダンスの設定/日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定/解除、着信お知らせの開始/停止ができます。

1 **ホーム画面→[ ]→[ ]→「141」を入力→[ ]**
2 **ガイダンスに従って操作**

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を留守番電話サービスに転送します。

1 ホーム画面→[ ]→[ ]→[設定]

2 [通話]→[着信転送]→[不在着信時]

3 [留守電]
「直接入力」が表示されている場合は、「留守電」が選択されている状態です。手順4へ進んでください。

4 転送までの呼出時間を設定
転送までの呼出時間は5秒～55秒の間で設定できます。

5 [ONにする]／[更新]
「OFFにする」をタップすると転送サービスを停止できます。

◎ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。このとき「簡易留守録を利用する」(▶P.35)が同時に設定されている場合は、応答時間の短い方が優先されます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

1 ホーム画面→[ ]→[ ]→[設定]

2 [通話]→[着信転送]→[通話中の着信時]

3 [留守電]
「直接入力」が表示されている場合は、「留守電」が選択されている状態です。手順4へ進んでください。

4 [ONにする]／[更新]
「OFFにする」をタップすると転送サービスを停止できます。

◎ 話中転送と割込通話サービスを同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなどに、電話を留守番電話サービスに転送します。

1 ホーム画面→[ ]→[ ]→[設定]

2 [通話]→[着信転送]→[着信不能時]

3 [留守電]
「直接入力」が表示されている場合は、「留守電」が選択されている状態です。手順4へ進んでください。

4 [ONにする]／[更新]
「OFFにする」をタップすると転送サービスを停止できます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

1 ホーム画面→[ ]→[ ]→[設定]

2 [通話]→[着信転送]→[常に転送]

3 [留守電]
「直接入力」が表示されている場合は、「留守電」が選択されている状態です。手順4へ進んでください。

4 [ONにする]／[更新]
「OFFにする」をタップすると転送サービスを停止できます。

◎ フル転送を設定している場合は、本製品は呼び出されません。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答
かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客様が設定された応答メッセージで応答します(▶P.77「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)。
電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)手順2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音
録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、手順3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了
録音終了後、ガイダンスに従って次の操作ができます。
「1」:録音した伝言を再生して、内容を確認する
「2」:録音した伝言を「至急扱い」にする
「9」:録音した伝言を消去して、取り消す
「✱」:録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

◎ 電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
◎ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 ホーム画面→[ ]→[ ]→「1612」+相手の方のau電話番号を入力→[ ]

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことをSMS(「伝言お知らせ」と表示)でお知らせします。

◎ 同じ電話番号から複数の伝言をお預かりした場合は、最新の伝言のみについてお知らせします。
◎ お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は99件です。
◎ 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 ホーム画面→[ ]→[ ]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[留守伝言再生・応答内容変更]→[留守伝言再生]→[はい]
ホーム画面→[ ]→[ ]→「1417」を入力→[ ]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。

2 ガイダンスに従ってキー操作
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。
「1」:同じ伝言をもう一度聞く
「4」:5秒間巻き戻して聞き直す
「5」:伝言を一時停止(20秒間)※
「6」:5秒間早送りして聞く
「7」:再生済みの伝言を全て消去
「9」:伝言を消去
「0」:伝言再生中の操作方法を聞く
「#」:次の伝言を聞く
「✱」:前の伝言を聞く
※「 」以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。

3 [ ]

◎ お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメールも同じものとして扱われます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定されている応答メッセージの内容を確認／変更や、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[留守伝言再生・応答内容変更]→[応答内容変更]→[はい]
ホーム画面→[📞]→[#]→「1414」を入力→[📞]と操作しても設定できます。

■すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合（個人メッセージ）

2 「1」を入力→「1」を入力→3分以内で応答メッセージを録音→「#」を入力→「#」を入力→[📞]
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。

■電話番号の代わりに読み上げるお客様のお名前を録音するタイプの応答メッセージを録音する場合（名前指定メッセージ）

2 「1」を入力→「2」を入力→10秒以内で名前を録音→「#」を入力→「#」を入力→[📞]
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。

■設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

2 「3」を入力→応答メッセージを確認→[📞]
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。

■蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合（不在通知）

2 「1」を入力→「3」を入力→3分以内で応答メッセージを録音→「#」を入力→「#」を入力→[📞]
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。

◎ 録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎ 応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定で、スキップができないように設定することができます。
◎ 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「2」→「1」と入力すると標準メッセージに戻すことができます。
◎ 録音した蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）がある場合に、ガイダンスに従って「1」→「4」と入力すると標準メッセージに戻すことができます。

伝言の蓄積を停止する（不在通知）

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
詳しくは、「応答メッセージの録音／確認／変更をする」（▶P.77）をご参照ください。

1 ホーム画面→[📞]→[#]→「1610」を入力→[📞]

2 ガイダンスを確認→[📞]

◎ 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

伝言の蓄積停止を解除する

1 ホーム画面→[📞]→[#]→「1611」を入力→[📞]

2 ガイダンスを確認→[📞]

◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける
上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
留守番転送設定（無条件）開始	1418
留守番転送設定（無条件）停止	1419
留守番再生	1415
留守番総合案内	1416

2 本製品の電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力
暗証番号については「各種暗証番号について」（▶P.14）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[ガイド言語設定]→[英語ガイダンス]→[はい]
ホーム画面→[📞]→[#]→「14191」を入力→[📞]と操作しても切り替えることができます。
英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 [📞]

◎ ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[通話]→[au通話設定]→[ガイド言語設定]→[日本語ガイダンス]→[はい]
ホーム画面→[📞]→[#]→「14190」を入力→[📞]と操作しても切り替えることができます。
日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 [📞]

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例：Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中に[通話を追加]→Bさんの電話番号を入力
通話中に電話帳や通話履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [📞]
通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話
Bさんが電話に出ないときは、「📞」をタップするとAさんとの通話に戻ります。
「切り替え」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。また、「📞」をタップすると、通話中の相手の方との通話が終了し、保留中の相手の方との通話に切り替わります。

4 [統合]
3人で通話できます。
「管理」をタップすると三者通話を行っている相手の方を確認できます。
「📞」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

◎ 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
◎ 三者通話を開始したお客様が電話を切って、AさんとBさんの通話にすることはできません。
◎ 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
◎ 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
◎ 三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

割込通話サービスを利用する（オプションサービス）

割込通話サービスについて

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

◎ 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、修理からのご返却時またはau ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態（開始／停止）に設定し直してください。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面→[ ]→[ ]→「1451」を入力→[ ]

◎ 割込通話サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎ 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

割込通話サービスを停止する

1 ホーム画面→[ ]→[ ]→「1450」を入力→[ ]

割込通話を受ける

例：Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 「 」を上にスワイプ
Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
「切り替え」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。また、「 」をタップすると、通話中の相手の方との通話が終了し、保留中の相手の方との通話に切り替わります。

◎ 通話中に相手の方が電話を切ったときは、「 」をタップすると、保留中の相手の方と通話できます。
◎ 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）

迷惑電話撃退サービスについて

迷惑電話やいたずら電話がかかってきた後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

撃退する電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 ホーム画面→[ ]→[ ]→「1442」を入力→[ ]

◎ 登録できる電話番号は30件までです。
◎ 電話番号の通知のない着信についても、登録できます。
◎ 登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎ 登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
◎ 登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
・SMS

登録した電話番号を全件削除する

1 ホーム画面→[ ]→[ ]→「1449」を入力→[ ]

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」などが記載されます。

1 ホーム画面→[ ]→[ ]→「131」＋相手先電話番号を入力→[ ]

2 [ ]

◎ 分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
◎ 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。
◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料

海外利用

海外利用 **80**
au世界サービスについて 80
海外利用に関する設定を行う 80
渡航先で電話をかける 80
渡航先で電話を受ける 80
お問い合わせ方法 81
海外でのご利用上のご注意 81

海外利用

au世界サービスについて

au世界サービスとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただけるサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM／UMTS／LTEネットワークのいずれでもご利用いただけます。

- いつもの電話番号のまま、海外で通話・SMS・データ通信がご利用いただけます。
- 特別な申し込み手続きや月額の定額料は不要で、ご利用料金は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。
  ※新規ご加入の場合、翌日から海外でのご利用が可能です。
  ただし、オンラインショップでご加入の場合、日本国内で通話（発信）した翌々日よりご利用が可能です。
- ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

■ 対象エリア・料金を知る
https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/area-charge/

■ 海外でのデータ通信ご利用方法と適用データ通信料金について
https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/check/

■ 海外でご利用のお客さま　※渡航前に必ずご確認ください
https://www.au.com/information/notice_mobile/global/

◎ 日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎ 海外で着信した場合でも着信通話料がかかります。
◎ 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
◎ 各国際サービスのご利用料金には消費税相当額は加算されません。

海外利用に関する設定を行う

本製品は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。

- 海外で電源をオンにすると、海外の事業者のネットワークで通話とSMSがご利用いただけます。
- データ通信を行う場合は「ローミング」（▶P.80）を有効に設定します。

データ通信を設定する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]→[ローミング]
※タップするたびに有効／無効が切り替わります。

◎ LTE NETまたはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、海外でデータ通信を利用できません。
◎ サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細はauホームページにてご確認ください。
■ 世界データ定額
https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/sekai-data/
■ 海外ダブル定額
https://www.au.com/mobile/charge/data-option/kaigai-double-teigaku-lte/

海外でVoLTEを利用する

海外でVoLTEを利用できるように設定します。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]→[優先ネットワークの種類]→[4G（推奨）]
※初期状態では「4G（推奨）」に設定されています。

◎ LTE NETにご加入されていない場合は、VoLTEを利用できません。
◎ VoLTEが利用できる国・地域についてはauホームページをご参照ください。
◎ 海外で通話やデータ通信の品質がよくない場合は、「優先ネットワークの種類」を「3G」にすると改善されることがあります。ただし、日本国内では「優先ネットワークの種類」を常時「4G（推奨）」で利用してください。
◎ サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細はauホームページにてご確認ください。
https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/volte/

渡航先で電話をかける

au世界サービスを利用して、渡航先で電話をかけることができます。

1 ホーム画面→[📞]→[＋]

2 「0」をロングタッチ
「＋」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 相手先の国番号を入力

4 地域番号（市外局番）を入力
地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部例外もあります）。

5 相手の方の電話番号を入力→[📞]

例：渡航先から日本の「03-1234-XXXX」にかける場合
＋81（国番号）3（市外局番）1234XXXX（相手の方の電話番号）

例：渡航先（アメリカ）からアメリカの「123-456-XXXX」にかける場合
＋1（国番号）123（市外局番）456XXXX（相手の方の電話番号）

◎ 電話をかける相手の方が日本の携帯電話の場合は、相手の方の渡航先にかかわらず国番号として「81」（日本）を入力してください。
◎ 渡航先では、一部特番などかけられない電話番号があります。
◎ 国番号についてはKDDI国際電話ホームページをご参照ください。
http://www.001.kddi.com/countrycode/

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で、電話を受けることができます。

◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からであっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信通話料がかかります。
◎ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。
◎ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合は、渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、現地からの国際アクセス番号および「81」（日本）をダイヤルしてもらう必要があります。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■本製品からのお問い合わせ方法（通話料無料）

受付時間 24時間

1 ホーム画面→[ ]→[ ]

2 「0」をロングタッチ

「＋」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 「81366706944」を入力→[ ]

■一般電話からのお問い合わせ方法

詳しい情報はauホームページの「海外からのお問い合わせ番号」をご参照ください。

https://www.au.com/mobile/service/global/inquiry/

◎ 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をオフ／オン（再起動）することでご利用可能となる場合があります。

海外でのご利用上のご注意

■本製品を盗難・紛失したら

- 海外で本製品もしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。詳しくは、「海外からのお問い合わせ」（▶P.81）をご参照ください。盗難・紛失された後に発生した通話料・データ通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話（海外用GSM携帯電話を含む）に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。SIMカードロックについては、「SIM カードロック設定」（▶P.70）をご参照ください。

■auネットワークサービス（▶P.74）に関するご注意

- 以下のサービスは、au世界サービス「VoLTE」利用中以外はご利用いただけません。
  - ・着信転送サービス（標準サービス）の無応答転送・話中転送・圏外転送
  - ・お留守番サービスEX（オプションサービス）
  - ・三者通話サービス（オプションサービス）※
  - ・割込通話サービス（オプションサービス）
  - ・通話明細分計サービス（オプションサービス）
- 発信番号表示サービス（標準サービス）は、海外では電話番号が通知されない場合があります。海外では発信者番号通知の機能は無効になります。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先で着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「不明」が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- 迷惑電話撃退サービス（オプションサービス）は、au世界サービス「VoLTE」利用中以外は受信拒否リストへの登録ができません。
  また、日本で登録した番号でも海外では迷惑電話撃退サービスが動作せず通常の接続となる場合があります。

※au世界サービス「VoLTE」利用中であっても、グアム、サイパンではご利用いただけません。

付録・索引

付録 **84**
ソフトウェアを更新する 84
故障とお考えになる前に 84
アフターサービスについて 85
auスマートサポートを利用する 86
遠隔操作サポートを利用する 86
位置検索サポートを利用する 86
SIMロック解除について 86
周辺機器 86
主な仕様 86
携帯電話機の比吸収率(SAR)について 87
Regulatory information 87
FCC Notice 88
輸出管理規制 88
知的財産権について 89
索引 **91**

付録

ソフトウェアを更新する

本製品は、ソフトウェア更新に対応しています。
また、OSアップデートも、ソフトウェア更新の機能を利用して行うことが可能です。OSアップデートとは、本製品のOSのバージョンアップを含むソフトウェア更新です。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[詳細設定]→[システム アップデート]

ソフトウェア更新が必要かどうかの確認を開始します。「アップデートを確認」をタップして確認します。ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新用データをダウンロードし、インストールすることができます。

- ステータスバーに が表示されている場合は、ステータスバーを下にスライドし、通知をタップして画面に従って操作してください。

2 [ダウンロードとインストール]

以降は画面の指示に従って操作してください。

■ ご利用上のご注意

- データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。Wi-Fi®でのご利用をおすすめします。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157／通話料無料)までお問い合わせください。また、SHV48をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なSHV48をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新を完了するには本製品の再起動が必要です。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはトヨタ au取扱店(一部ショップを除く)にお持ちください。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ(電話帳、メール、静止画、音楽データなど)や設定情報は変更されません。ただし、本製品の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できません。
- OSアップデートを行うと、以前のバージョンへ戻すことはできません。

ソフトウェア更新実行中は、次のことは行わないでください

- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認いただくとともに「故障紛失サポート」アプリ(▶P.51)の「クイック診断」および「トラブル診断」でご確認ください。

■ クイック診断

ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[サポート]→[故障紛失サポート]→[クイック診断してみる]

■ トラブル診断

ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[サポート]→[故障紛失サポート]→[便利な機能]→[トラブル診断を試す]

以下のauホームページからもご確認いただけます。
https://www.au.com/trouble-check/

こんなときは	ご確認ください
電池を利用できる時間が短い	• (圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？(▶P.24) • 内蔵電池が寿命となっていませんか？電池の状態を確認してください。(▶P.18) • 十分に充電されていますか？(▶P.18) • 使用していない機能を停止してください。(▶P.25) • 使用していないアプリケーションを終了してください。(▶P.26)
電話がかけられない	• 正しいau ICカードが挿入されていますか？(▶P.17) • 電話番号が間違っていませんか？(市外局番から入力していますか？)(▶P.32) • 「機内モード」が設定されていませんか？(▶P.67) • 「優先ネットワークの種類」が間違っていませんか？(▶P.80) • 電源は入っていますか？(▶P.18) • 電話番号入力後、「」をタップしていますか？(▶P.32)
電話がかかってこない	• 電波は十分に届いていますか？(▶P.24) • サービスエリア外にいませんか？(▶P.24) • 「機内モード」が設定されていませんか？(▶P.67) • 「優先ネットワークの種類」が間違っていませんか？(▶P.80) • 着信転送サービスが設定されていませんか？(▶P.74) • 電源は入っていますか？(▶P.18) • 正しいau ICカードが挿入されていますか？(▶P.17) • 「着信拒否」が設定されていませんか？(▶P.35)
Wi-Fi®がつながらない	• Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？(▶P.24) • Wi-Fi®の設定をしましたか？(▶P.62)
ディスプレイの照明が暗い	• 「明るさのレベル」が暗く設定されていませんか？(▶P.68) • 「のぞき見ブロック」が設定されていませんか？(▶P.68)
相手の方の声が聞こえない	• 通話音量が最小に設定されていませんか？(▶P.32) • 受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。
カメラが動作しない	• カメラの利用についてご確認ください。(▶P.47)
microSDメモリカードを認識しない／目的のデータが見つからない	• microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか？(▶P.58) • microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？(▶P.59) • 本体メモリにデータを保存していませんか？microSDメモリカード以外に本体メモリにもデータを保存できます。(▶P.59)
キー／タッチパネルの操作ができない	• 「画面ロック」が設定されていませんか？(▶P.70) • 電源を切り、電源を入れ直してみてください。 • 電源は入っていますか？(▶P.18)
充電ができない	• 指定の充電用機器(別売)の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？(▶P.18)
電源が入らない	• 内蔵電池は充電されていますか？(▶P.18) • (⏻)を長押ししていますか？(▶P.18)
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	• (⏻)を8秒以上長押しし、バイブレータが振動した後、手を離すと強制的に電源を切ることができます。しばらくしてから電源を入れ直してください。(▶P.18)

こんなときは	ご確認ください
タッチパネルで意図した通りに操作できない	• 手袋などをしたままで操作していませんか？ • 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？ • タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。(▶P.22) • 再起動してください。(▶P.18)
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	• 本製品に大量のデータが保存されているときや、本体メモリとmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
au ICカード(SIM)エラーや挿入されていない旨のメッセージが表示される	• 正しいau ICカードが挿入されていますか？(▶P.17)
電源が勝手に切れる	• 電池が切れていませんか？(▶P.18)
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	• 電池が切れていませんか？(▶P.18)
(圏外)が表示される	• 電波は十分に届いていますか？(▶P.24) • サービスエリア外にいませんか？(▶P.24) • 4G／UMTSアンテナ付近を手でおおっていませんか？(▶P.16) • 正しいau ICカードが挿入されていますか？(▶P.17) • 「優先ネットワークの種類」が間違っていませんか？(▶P.80)
ディスプレイ、または充電／着信ランプは点灯、点滅するが着信音が鳴らない	• マナーモードに設定されていませんか？(▶P.25)
充電してくださいなどと表示された	• 電池残量がほとんどありません。(▶P.18)
電話が勝手に応答する	• 簡易留守録が設定されていませんか？(▶P.35) • マナーモードが設定されていませんか？(▶P.25)
電話をかけたときに受話口から「ブーッ、ブーッ、ブーッ…」と音がしてつながらない	• 電波は十分に届いていますか？(▶P.24) • サービスエリア外にいませんか？(▶P.24) • 無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。
ディスプレイの照明がすぐに消える	• 「画面消灯(スリープ)」が短く設定されていませんか？(▶P.68)
イヤホンマイクのマイクが使えない	• イヤホンプラグが正しく挿入されていますか？奥までしっかり挿入してください。
電話帳の個別の設定が動作しない	• 相手の方から電話番号の通知はありますか？通知がない場合は、電話帳の設定は有効になりません。 • 同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていませんか？(▶P.36)
パソコンから本体メモリのデータを認識できない	• 本体メモリを使用する場合は「ファイル転送」で接続してください。(▶P.58)
パソコンからmicroSDメモリカードを認識できない	• microSDXCメモリカードを使用する場合は「ファイル転送」で接続してください。(▶P.58)

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのauの端末は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
◎ 本製品を加工、改造、解析(ソフトウェアの改造、解析(ルート化などを含む)、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む)されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
◎ 本体内蔵の電池は消耗品のため、保証対象外となります。

■ 補修用性能部品について

当社はこのSHV48本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 無償修理規定

1. 修理受付時は、製造番号(IMEI番号)の情報をお知らせください。製造番号(IMEI番号)は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
2. 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
3. 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。(または、修理ができない場合があります。)
   ① 取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
   ② 不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
   ③ 当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
   ④ 使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
   ⑤ 地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
4. 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
5. 製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
6. 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
7. 出張による修理対応はお受けできません。
8. 本規定は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

※本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■ 故障紛失サポートについて

auの端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。月額利用料およびサービスの詳細については、auホームページをご確認ください。
https://www.au.com/mobile/service/kosho-funshitsu/

◎ ご入会は、auの端末のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ ご退会された場合は、次回のauの端末のご購入時まで再入会はできません。
◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるauの端末のみが本サービスの提供対象となります。
◎ auの端末を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいauの端末をご購入いただいた場合、以前にご利用のauの端末に対する「故障紛失サポート」は自動的に退会となります。
◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはトヨタ au取扱店までお問い合わせください。

auスマートサポートを利用する

■ auスマートサポートでできること

24時間365日体制※1のauスマートサポートセンターによる電話サポートでは、「遠隔操作サポート(リモートサポート)」のアプリケーションを利用して、遠隔操作によるサポートサービスを利用することができます。
その他、初期設定・基本操作や人気アプリの利用方法を、ご自宅※2に訪問し丁寧にご説明する「スマホ訪問サポート(別途有料)」や、初心者の方にも分かりやすい「使い方ガイド本※3」プレゼントなど、安心してスマートフォンをご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。

- ご利用にはお申し込みが必要です。ご利用料金や詳細については、auホームページ(https://www.au.com/)でご確認ください。

※1 22時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。
※2 訪問先はお客様のご契約住所に限ります。
※3 本のプレゼントは一回限りとなります。

◎「遠隔操作サポート」のご利用にあたっては、「遠隔操作サポートを利用する」(▶P.86)をあわせてご参照ください。

遠隔操作サポートを利用する

スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。
※ご利用にあたってはauスマートサポートまたはauスマートパス、auスマートパスプレミアム、故障紛失サポートのいずれかへの加入が必要です。

1 お客さまセンター、auスマートサポートセンターまでお問い合わせ
auスマートパス会員は局番なしの157番(au電話から/通話料無料)、0077-7-111(一般電話から/通話料無料)までご連絡ください。
auスマートサポート会員は、auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

2 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[au設定メニュー]→[コミュニケーターが遠隔操作でサポート]
初回起動時には許可画面や使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

3 オペレーターの指示に従って操作

位置検索サポートを利用する

本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターやお客様のパソコンから本製品を遠隔操作で位置検索、ロックをすることができます。
※本製品を遠隔操作で位置検索、ロックする場合は、auスマートサポートまたはauスマートパス、auスマートパスプレミアム、故障紛失サポートのいずれかへの加入が必要です。

◎ ご利用の際には「デバイス管理アプリ」(▶P.70)で「My au」を有効にしてください。無効の場合は、ロックが正常に動作しません。
◎ My auのアプリ上で位置情報へのアクセスなどの確認ダイアログが表示される場合には、「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。

位置検索をご利用いただくにあたって

位置検索をご利用いただくにあたって当社では、提供した基地局から推測される位置情報およびGPS情報に起因する損害については、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ ご利用上のご注意

- My auに本製品の位置情報へのアクセス許可がされていない場合は、GPS情報による位置検索をご利用いただけません。アプリに権限を許可する方法について詳しくは、「アプリの権限を設定する」(▶P.26)をご参照ください。
- サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状態が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。

SIMロック解除について

本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除はauホームページ、auショップで受付しております。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除後の設定は、ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[デバイス情報]→[SIMロックの状態]から行ってください。
- 詳しくは、auホームページをご参照ください。
  https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/

周辺機器

■ **auキャリングケースGブラック(0106FCA)(別売)**
■ **TypeC共通ACアダプタ01(0601PQA)(別売)**
TypeC共通ACアダプタ02(0602PQA)(別売)
■ **共通ACアダプタ05(0501PWA)(別売)**※
■ **microUSBケーブル01(0301HVA)(別売)**※
microUSBケーブル01 ネイビー(0301HBA)(別売)※
microUSBケーブル01 グリーン(0301HGA)(別売)※
microUSBケーブル01 ピンク(0301HPA)(別売)※
microUSBケーブル01 ブルー(0301HLA)(別売)※
■ **MicroB-TypeC変換アダプタ(0601PHA)(別売)**
※ご利用にはMicroB-TypeC変換アダプタ(別売)が必要です。

◎ 周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。
https://onlineshop.au.com/

主な仕様

■本体(SHV48)

ディスプレイ	約5.5インチ、約1,677万色、IGZO、2,160×1,080(FHD+)
質量	約167g(内蔵電池含む)
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約70mm×147mm×8.9mm(最厚部:約9.8mm)
メモリ(内蔵)	RAM:約3GB Internal Storage:約32GB
連続通話時間(国内)	約2,820分
連続通話時間(海外(GSM))	約1,180分
連続待受時間(国内)	約1,070時間
連続待受時間(海外(GSM))	約1,090時間
連続テザリング時間	約1,220分
Wi-Fi®テザリング最大接続数	10台
充電時間	TypeC共通ACアダプタ01(別売)使用時:約220分 TypeC共通ACアダプタ02(別売)使用時:約180分
撮影素子	**アウトカメラ、インカメラ** CMOSイメージセンサー
有効画素数	**アウトカメラ** 約1,200万画素 **インカメラ** 約800万画素
Bluetooth®機能	通信方式:Bluetooth®標準規格Ver.5.0 出力:Bluetooth®標準規格 BR/EDR; Power Class1、LE; Power Class1.5 通信距離※1:見通しの良い状態で10m以内 対応Bluetooth®プロファイル※2:HSP、HFP、A2DP、AVRCP、OPP、SPP、PBAP※3、HID、PAN(PAN-NAP)、PAN(PANU)、HOGP※4、DUN※5 使用周波数帯:2.4GHz帯
ネットワーク環境	IEEE802.11a/b/g/n(2.4GHz/5GHz)※6/ac※6※7準拠
インターフェース	USB Type-C端子、3.5φ(4極)イヤホンマイク端子(対応イヤホン:3極ヘッドホン(Lch/Rch/GND)、4極マイク付きイヤホン(Lch/Rch/GND/MIC))

※1 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※2 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※3 電話帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。
※4 Bluetooth®標準規格Ver.4.0に対応したプロファイルとなります。
※5 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。
※6 MIMOは未対応です。
※7 MU-MIMO(Clientモード)に対応しています。
(対応商品については各社ホームページをご覧ください。)

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種【SHV48】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は1.302W/kg(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.307W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用を原因とするいかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ:
https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○一般社団法人電波産業会のホームページ:
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html
○シャープのホームページ:
http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/
○auのホームページ:
https://www.au.com/

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

Regulatory information

In some countries/regions including Europe※1, there are restrictions on the use of 5GHz WLAN that may limit the use to indoors only.
Please check the local laws and regulations beforehand.

※1 The following EU and EFTA member countries:
Belgium (BE), Bulgaria (BG), Czech Republic (CZ), Denmark (DK), Germany (DE), Estonia (EE), Ireland (IE), Greece (EL), Spain (ES), France (FR), Croatia (HR), Italy (IT), Cyprus (CY), Latvia (LV), Lithuania (LT), Luxembourg (LU), Hungary (HU), Malta (MT), Netherlands (NL), Austria (AT), Poland (PL), Portugal (PT), Romania (RO), Slovenia (SI), Slovakia (SK), Finland (FI), Sweden (SE) and United Kingdom (UK), Switzerland (CH), Liechtenstein (LI), Iceland (IS), Norway (NO).

Norway: Use of this radio equipment is not allowed in the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Alesund, Svalbard.

Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SHV48 is in compliance with Directive 2014/53/EU.
The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
https://jp.sharp/k-tai/

Manufacturer's Address:
SHARP CORPORATION,
1 Takumi-cho, Sakai-ku, Sakai-shi, Osaka 590-8522, Japan

• Description of accessories

Headset, Handsfree	φ3.5 audio jack, Bluetooth
USB cable	For charging, peripherals, etc.
microSD memory card	microSD/microSDHC/microSDXC
nano IC card	au Nano IC Card 04/non-au Nano IC Cards non-au Nano IC Cards can be used after SIM-unlocking the handset.

• Frequency range of supported bands in EU

GSM 900	Tx 880.2 to 914.8 MHz Rx 925.2 to 959.8 MHz
DCS 1800	Tx 1710.2 to 1784.8 MHz Rx 1805.2 to 1879.8 MHz
WCDMA FDD Ⅰ	Tx 1922.4 to 1977.6 MHz Rx 2112.4 to 2167.6 MHz
WCDMA FDD Ⅷ	Tx 882.4 to 912.6 MHz Rx 927.4 to 957.6 MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5 MHz Rx 2112.5 to 2167.5 MHz
LTE Band 3	Tx 1710.7 to 1784.3 MHz Rx 1805.7 to 1879.3 MHz
LTE Band 8	Tx 880.7 to 914.3 MHz Rx 925.7 to 959.3 MHz
Bluetooth	Tx 2402 to 2480 MHz Rx 2402 to 2480 MHz
WLAN 2.4GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (BW:20 MHz only)
WLAN 5GHz	W52(U-NII 1): Tx/Rx 5180 to 5240 MHz (BW:20 MHz) Tx/Rx 5190 to 5230 MHz (BW:40 MHz) Tx/Rx 5210 MHz (BW:80 MHz) W53(U-NII 2A): Tx/Rx 5260 to 5320 MHz (BW:20 MHz) Tx/Rx 5270 to 5310 MHz (BW:40 MHz) Tx/Rx 5290 MHz (BW:80 MHz) W56(U-NII 2C): Tx/Rx 5500 to 5700 MHz (BW:20 MHz) Tx/Rx 5510 to 5670 MHz (BW:40 MHz) Tx/Rx 5530 to 5610 MHz (BW:80 MHz)
GNSS	GPS: Rx L1(1575.42 MHz) GLONASS: Rx G1(1598.0625 to 1605.375 MHz) Galileo: Rx E1(1575.42 MHz) BeiDou: Rx B1(1561.098 MHz)

• Maximum transmit power

GSM 900	+33 dBm (Power Class4)
DCS 1800	+30 dBm (Power Class1)
WCDMA FDD Ⅰ	+24 dBm (Power Class3)
WCDMA FDD Ⅷ	+24 dBm (Power Class3)
LTE Band 1	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 3	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 8	+23 dBm (Power Class3)
Bluetooth	+11.5 dBm (Power Class1)
WLAN 2.4GHz	+14.0 dBm
WLAN 5GHz	+12.0 dBm

Mobile Light

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.
Be especially careful not to shoot small children from a very close distance. Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

Battery - CAUTION

Use specified Charger only.
Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

The battery is embedded inside the product. Avoid removing the embedded battery since this may cause overheating or bursting.

Do not dispose of the product with ordinary refuse. Take the product to an au Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

Volume Level Caution

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Headphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 118.0 mV.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 1.088 W/kg※2 and when worn on the body is 1.477 W/kg※2.
For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※2 The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.
- The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed via the About phone & the Authentication under the Settings menu.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning
The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

Highest SAR value:

Model	SHV48
FCC ID	APYHRO00277
At the Ear	0.44 W/kg
On the Body	0.52 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above).

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、シャープ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

- Wi-Fi®、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi Protected Access® (WPA)、Wi-Fi Direct®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。

- Wi-Fi CERTIFIED™、WPA2™、WPA3™、Wi-Fi Enhanced Open™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- Microsoft®、Windows®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint® は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Twitter、TwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- Google™、Google ロゴ、Android™、Android ロゴ、Google Play™、Google Play ロゴ、Gmail™、Gmail ロゴ、Google カレンダー™、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google Chrome™、Google Chrome ロゴ、Chromebook™、Google 音声検索™、Google 音声検索 ロゴ、YouTube™、YouTube ロゴ、YouTube Music ロゴ、Google ドライブ™、Google ドライブ ロゴ、Google™ 検索、Google 検索 ロゴ、Google Lens™、Google Lens ロゴ、Google フォト™、Google フォト ロゴ、Google アシスタント™、Google アシスタント ロゴ、Google Playムービー&TV ロゴ、Google Duo™、Google Pay™、Google One™、Google One ロゴおよびGoogle ニュース™は、Google LLCの商標です。
- InstagramおよびInstagramロゴはInstagram, Inc.の商標または登録商標です。
- Amazon、Amazon.co.jpおよびAmazon.co.jpロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

- 「AQUOS／アクオス」「AQUOS」ロゴ「AQUOS sense3 basic」ロゴ「AQUOS Home」「AQUOSかんたんホーム」「AQUOS便利機能」「AQUOS beauty」「Bright Keep」「ワンタッチシャッター」「あとからキャプチャー」「インテリジェントフレーミング」「AIライブストーリー」「ロボクル／ROBOQUL」「エモパー／emopa」「エモパーメモ」「エモパーヘルスケア」「エモパーク／emopark」「バーチャルHDR」「セルフィーフラッシュ」「エスショイン／S-Shoin」「クリップナウ／Clip Now」「ヒカリエモーション」「ロックフォトシャッフル」「長エネスイッチ」「リッチカラーテクノロジーモバイル／Rich color technology Mobile」「リラックスビュー／Relax View」「はっきりビュー」「アウトドアビュー」「からだメイト」「楽ともリンク」「LCフォント／LCFONT」およびLCロゴマークはシャープ株式会社の商標または登録商標です。

- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
  iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2020 All Rights Reserved.
  iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2020 All Rights Reserved.
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ R、新ゴ Mを搭載しています。
  「新ゴ」は、株式会社モリサワの登録商標です。
- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.
  Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries.
  aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.
- 本製品の音声合成ソフトウェアにはHOYA株式会社のVoiceTextを使用しています。VoiceTextは、Voiceware社の登録商標です。
- 本製品で使用しているクラウド音声認識技術は、フェアリーデバイセズ株式会社のmimi® powered by NICTを使用しています。
- mimi®はフェアリーデバイセズ株式会社の登録商標です。

■ オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[デバイス情報]→[法的情報]→[サードパーティ ライセンス]をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License(MPL)に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/

■ License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2009 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- Windows 10は、Microsoft® Windows® 10(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。
- Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.comをご参照ください。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA. See http://www.mpegla.com.

索引

数字／アルファベット

4G／UMTSアンテナ……16
24時間表示……72
AIoT機器との連携……56
AIオート……49
Androidサービス以外の権限……70
Androidバージョン……72
AQUOS Home……23
AQUOS便利機能……69
au ICカード／microSDメモリカードトレイ……16
au ICカード……17
au ID……20
au Wi-Fi 接続ツール……66
au国際電話サービス……34
au災害対策･緊急速報メール……66
au初期設定……66
auショップで故障相談……51
auスマートサポート……86
au世界サービス……80
au設定メニュー……66
au通信品質レポート機能……66
au通話設定……35
auメール……38
Bluetooth……63
Bluetooth送信……63
Bluetooth テザリング……64
Bluetooth で受信したファイル……67
Chrome……44
Chromebook……67
Clip Now……70
COCORO BOOKS……53
COCORO ID……56
Digital Wellbeing と保護者による使用制限……71
FCC Notice……88
Files……59
Gboard……72
Gboard を共有……72
Gmail……42
Google Play プロテクト……70
Google アプリの表示……23
IMAPパスのプレフィックス……40
IMEI……72
microSDメモリカード……58
MIDI……58
My au……51
ON／OFF設定……69
PC 版サイト……44
PCメール……40
PHOTOSHOW(Webページ)……49
PINコード……14
Play ストア……52
PTP……58
QRコードで追加……39
QRコード･バーコード認識……49
SDカード……59
SDカード／Bluetooth経由で引き継ぐ……20
SDカードにデータ保存……20
SIM カードロック設定……70
SIMのステータス……72
SIMロック解除……86
SIMロックの状態……72
Smart Lock……70
SMS、MMS、メッセージ アプリ……25
SMTPサーバー……40
USB……67
USB テザリング
　USB テザリング機能……64
　パソコン接続……58
USBホスト機能……59
VPN……67
Wi-Fi®……62
Wi-Fi®／Bluetooth®／GPSアンテナ……16
Wi-Fi Direct……62
Wi-Fi経由で引き継ぐ……20
Wi-Fi 設定……62
Wi-Fiテザリング……64
Wi-Fiテザリングのパスワード……64
Wi-Fiテザリングを自動的にオフにする……64
Wi-Fiを 自動的に ON にする……62

あ

アーカイブに移動……50
アイコン……24
アウトカメラ……16
アウトドアビュー……68
アカウント……36
アカウントの同期……70
アカウント名……41
アカウントを削除
　アカウント削除……70
　アカウント設定変更……41
アカウントを追加……70
明るさセンサー……16
明るさの自動調節……68
明るさのレベル……68
空き容量確認……35
新しいグループメッセージ……39
新しいシークレット タブ……44
新しいタブ……44
新しいデバイスとペア設定する
　Bluetooth®機器接続……63
　接続済み端末の設定……67
新しいメッセージ……39
新しい連絡先……39
新しい連絡先のデフォルト アカウント……36
あとからキャプチャー で編集……51
あなたについて……56
アニメーションの削除……71
アプリ使用履歴……26
アプリ初回起動時の確認画面……26
アプリと通知……68
アプリの一覧にアイコンを表示……71
アプリの権限……70
アラーム……54
アラームの音量
　アラーム……54
　音の設定……69
アルバムに追加……50
暗号化と認証情報……70
暗証番号……14
あんしんフィルター for au……52
位置検索サポート……86
一時停止……35
位置情報……70
位置情報付加……49
イヤホンマイク端子……16
色反転……71
色補正……71
インカメラ……16
印刷
　1件表示画面のメニュー……50
　印刷設定……67
インテリジェントフレーミング……49
インポート……36
ウィジェット……23
英語ガイダンス……77
エクスポート……36
絵文字……28
エモパー
　AQUOS便利機能の設定……69
　エモパー設定……56
エモパー設定……56
エモパー選択……56
エモパー使い方ガイド……56
エモパーの記憶……56
エモパーの話題……56
エモパーへの話しかけ方……56
エモパーヘルスケア……56
エモパーメモ……56
遠隔操作サービス
　お留守番サービス……77
　着信転送サービス……74
遠隔操作サポート……86
応答……34
応答時間設定……35
応答内容変更……77
応答メッセージ確認……35
大きなマウスポインタ……71
オーディオ バランス……71
オート……49
オートHDR……49
オープン ネットワークの通知……62
お困りのときは……72
お知らせパネル……25
おすすめアプリ一覧……66
おすすめ機能の紹介……56

オススメ設定をする……38
オススメの設定はこちら……38
音……69
音とバイブレーション……34
おやすみモード……71
お留守番サービスEX……75
お留守番サービス総合案内……75
音声……32
音声入力
　Gboard設定……72
　音声入力……29
音量DOWNキー……16
音量UPキー……16
音量キーのショートカット……71

か

ガイド線……49
外部アプリ連携
　S-Shoinの設定……29
　その他の設定……29
外部接続端子……16
顔認証……22
顔文字……28
学習辞書リセット……29
拡大……71
画質とデータ量……49
仮想キーボード……71
壁紙
　壁紙設定……23
　ディスプレイ設定……68
画面消灯(スリープ)……68
画面の明るさを最小にする……68
画面の固定……70
画面の自動回転
　ディスプレイ設定……68
　ユーザー補助設定……71
画面の滑らかさを制限する……68
画面ロック……70
画面ロック音……69
からだメイト……55
カレンダー……53
簡易留守録……35
簡易留守録設定……35
簡易留守録リスト……35
かんたんモード……69
管理……32
キー操作
　S-Shoinの設定……29
　その他の設定……29
キーパッド……32
キーボードイメージ……29
キーボードタイプ……29
記号……28
機内モード……67
機能紹介……20
基本設定……68
基本動作について……56
キャスト……67
逆光……49
強制的に電源を切る……18
共有……36
共有…　……44
拒否……34
拒否リストに登録する……38
切り替え……32
切り取り……29
緊急時情報……72
緊急速報メール……68
近接センサー……16
クイックアクセス……33
クイック診断してみる……51
クイック返信
　アカウント設定変更……41
　着信を拒否してメッセージ(SMS)送信……34
　通話設定……34
クイック返信を挿入……41
空気抜き部……16
くっきり……49
グライド入力……72
携帯／PHS以外からのメールを拒否する……38
圏外転送
　お留守番サービスEX……76
　着信転送サービス……74
権限マネージャ……26
言語
　Gboard設定……72
　使用言語や文字入力設定……71
言語 ／ 地域のデフォルトを使用する……72
言語と入力……71
検索
　Gboard設定……72
　カレンダー画面のメニュー……53
交換申し込み……51
高校生……52
高校生プラス……52
高コントラストテキスト……71
公式アカウント……39
高度なマナーモード
　音の設定……69
　高度なマナーモード設定……25
　マナーモード……25
構内IP電話設定……62
声でアクション……56
故障紛失サポート……51
コピー……29
コミュニケーターが遠隔操作でサポート……86

さ

サーバー……40
サーバーからメールを削除……40
再起動……18
最近使ったタブ……44
最近の位置情報リクエスト……70
最近開いたアプリ……68
再生……35
サイレント モード……71
削除
　アクセスポイント接続設定削除……62
　簡易留守録／通話音声メモ再生……35
　電話帳詳細画面のメニュー……36
　ユーザー辞書単語一覧画面のメニュー……30
三者通話サービス……77
残像……49
時刻……72
辞書……30
システム……71
システム アップデート……84
システム ナビゲーション……72
下書きを保存……41
自動画面点灯……69
自動調整バッテリー……68
自動入力サービス……71
字幕の設定……71
写真……49
写真サイズ……49
写真や動画……39
写真を他で使う……50
充電開始時……69
充電時の音とバイブレーション……69
充電ランプ……16
終話時……69
受信設定……41
受信リストに登録／アドレス帳受信設定をする……38
出荷時リセット……72
受話口……16
小学生……52
詳細診断……51
詳細設定
　Gboard設定……72
　位置情報設定……70
証明書のインストール……62
ショートカットを作成……36
署名……41
白とび／黒つぶれ表示……49
信頼エージェント……70
水準器……49
スクリーンショット……53
スクリーンセーバー……68
スクロールオート……69
スケジュール
　カレンダー画面のメニュー……53
　マナーモードの高度な設定……25
スケジュールの設定……68
ステータスバーへの通知……69
ステータスパネル……25
ストップウォッチ……54
ストレージ……59
スピーカー
　各部の名称と機能……16
　通話中画面の操作……32
スピーカーOFF……35
スピーカーON……35

すべて削除 30
全ての設定を一括解除する 38
すべての例外を表示 25
すべての連絡先を共有 63
スペルチェック 71
スマートフォンから電話帳データを取り込む 20
スライド 22
スライドショー 50
スワイプ 22
セーフモード 19
セキュリティ
　Wi-Fi®テザリング機能の設定 64
　セキュリティ設定 70
セキュリティ アップデート 70
セキュリティの種類 40
接写 49
接続 62
接続済みのデバイス 67
接続の設定 67
設定
　Chrome画面のメニュー 44
　Gboard設定 72
　PCメール作成画面のメニュー 41
　アカウント設定変更 41
　カレンダー画面のメニュー 53
　設定メニュー表示 66
　通話設定 34
　通話履歴一覧画面のメニュー 33
　電話帳設定 36
　＋メッセージ設定 39
設定項目を検索 72
設定リセット
　S-Shoin設定 29
　カメラ設定 49
セルフケア設定 66
セルフタイマー表示 49
セルフチェック 72
センサー感度補正 72
操作 71
操作までの時間（ユーザー補助タイムアウト） 71
送信設定 41
送話口 16
その他
　＋メッセージ設定 39
　その他の設定 29
その他の設定 35
その他の詳細設定をする 38

た

ダークテーマ
　ディスプレイ設定 68
　ユーザー補助設定 71
対象アプリ設定 69
タイマー 54
タイムゾーン 72
タイムラプス 49
ダイヤルパッドの操作音 69
ダウンロード 44
ダッシュボード 71
タッチ操作音 69
タッチパネル 16
タップ 22
タップ操作時のバイブ 69
ダブルタップ 22
単語登録 29
単語リスト
　Gboard設定 72
　使用言語や文字入力設定 71
着信お知らせサービス 74
着信音 69
着信音の音量 69
着信音を設定 36
着信音を停止 69
着信拒否
　着信拒否 34
　着信拒否設定 35
着信拒否設定 35
着信時のバイブレーション 69
着信転送 35
着信転送サービス 74
着信不能時
　お留守番サービスEX 76
　着信転送サービス 74
着信ランプ 16
チャットで相談 51
注意事項 56
中学生 52
長エネスイッチ 68
ちらつき防止 49
通知
　アプリと通知の設定 68
　＋メッセージ設定 39
通知ドット 23
通知ドットに件数表示 23
通知の制限 25
通知を管理 71
通知を管理する 41
通話
　通話設定 35
　マナーモードの高度な設定 25
通話音声メモ 32
通話音声メモリスト 35
通話中の着信時
　お留守番サービスEX 76
　着信転送サービス 74
通話の音量 69
通話明細分計サービス 78
通話履歴
　通話履歴一覧画面のメニュー 33
　履歴利用 33
通話履歴参照 32
通話を追加 32
使い方ガイド 70
使いこなしガイド 72
常に転送
　お留守番サービスEX 76
　着信転送サービス 74
停止時間 71
ディスプレイ
　各部の名称と機能 16
　ディスプレイ設定 68
データ移行 51
データお預かり設定 66
データセーバー 67
データ転送なし 58
データ取り込み 20
データ引継 20
データリセット 55
データを移行する 66
テーマ 72
テーマカラー・背景 39
テキストの修正 72
テキスト読み上げの設定
　使用言語や文字入力設定 71
　ユーザー補助設定 71
テザリング
　テザリング 64
　ネットワークとインターネット設定 67
デバイスから削除 50
デバイス管理アプリ 70
デバイス情報 72
デバイスに保存 50
デバイス名 72
デバイスを探す 70
デフォルト アプリ 68
デフォルトのアラーム音 69
デフォルトの期間 25
デフォルトの通知音 69
電源キー 16
電源ボタンで通話を終了 71
電源を入れる 18
電源を切る 18
伝言お知らせ 76
電卓 55
電池 68
電池残量 68
電池の最適化 26
電池の状態 72
添付ファイルのダウンロード 41
電話アプリについて 34
電話着信中 69
電話着信パターン／カラー 69
電話帳 36
電話帳参照 32
電話帳について 36
電話番号 72
動画サイズ 49
動画と合わせる 51
動画ループオフ 50
動画ループオン 50
同期頻度 41
統合 32
登録 30
特別なアプリアクセス 68

時計 54
ドラッグ 22

な

内部共有ストレージ 59
長押しする時間 71
ナビゲーションバーを隠す 68
名前 41
日本語ガイダンス 77
認証 72
ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する 72
ネットワークとインターネット 67
ネットワークの時刻を使用する 72
ネットワーク評価プロバイダ 62
ネットワーク名 64
ネットワークを追加 62
のぞき見ブロック 68

は

バーチャルHDR 68
バイブ 25
バイブレーションと触覚フィードバックの強さ 71
破棄 41
パスワード 40
はっきりビュー 68
バックアップ 71
発信者番号 75
発信番号表示サービス 75
貼り付け 29
番号通知リクエストサービス 75
番号通知リクエストサービス設定
　番号通知リクエストサービス開始 75
　番号通知リクエストサービス停止 75
ヒカリエモーション 69
日付 72
日付と時刻 72
ビデオ 49
評価のお願い 72
表示 29
表示アプリを選択 50
表示サイズ
　ディスプレイ設定 68
　ユーザー補助設定 71
表示する連絡先 36
ピンチ 22
ファイル転送 58
ファイルを添付 41
フォーカス設定 49
フォーカス モード 71
フォーマット 59
フォト 50
フォントサイズ 71
不在着信時
　お留守番サービスEX 76
　着信転送サービス 74
不在通知 77
ブックマーク 44
物理キーボード 71
プライバシー 39
プライベート DNS 67
フリック 22
フリック・トグル 29
フル充電で無効 68
フル転送
　お留守番サービスEX 76
　着信転送サービス 74
プロキシ設定 67
ブロックした番号 36
ブロック中の電話番号 34
ブロックリスト 40
分割画面 26
ふんわり 49
ページ内検索 44
ヘルプ
　カメラ設定 49
　迷惑メールフィルターを設定 38
ヘルプとフィードバック
　Chrome画面のメニュー 44
　カレンダー画面のメニュー 53
編集 30
便利な機能 51
ボイスメール
　お留守番サービスEX 76
　通話設定 34
ポインタの速度 71
法的情報 72
ポート 40
ポートレート 49
ホーム画面にアイコンを追加 23
ホーム画面に追加 44
ホーム画面の回転を許可 23
ホームの設定 23
保護／解除 35
保存先設定 49
保留 32
翻訳... 44

ま

マイク 16
マイク設定 49
待ちうた 69
マニュアル 49
ミュート
　通話中画面の操作 32
　マナーモード 25
無応答転送
　お留守番サービスEX 76
　着信転送サービス 74
迷惑電話撃退サービス 78
迷惑メールフィルターの設定／確認へ 38
＋メッセージ 39
メッセージ 39
メディアの音量 69
文字フォント設定 68
持つと画面点灯 19
モデルとハードウェア 72
モノクロ 49
モノラル音声 71
モバイル ネットワーク 67
モバイルライト 16

や

ユーザー情報
　電話帳設定 36
　ユーザー情報変更 55
ユーザー補助 71
ユーザー名 40
優先ネットワークの種類 80
用語の説明 55
よくあるご質問 72
よくある質問(FAQ) 56
予測／変換 29

ら

ライト 53
リセット オプション 71
リッチカラーテクノロジーモバイル 69
利用時間 68
リラックスビュー 68
履歴 44
リンク
　電話帳詳細画面のメニュー 36
　連絡先リンク 36
リンクされた連絡先を表示 36
リンクを解除 36
留守伝言再生 76
レシーバー 16
レンズ部
　アウトカメラ 16
　インカメラ 16
連絡先 34
ローミング 80
ログインが必要 40
ロック解除時 69
ロック画面の表示 68
ロックフォトシャッフル 69
ロボクル設定 69
ロングタッチ 22

わ

話中転送
　お留守番サービスEX 76
　着信転送サービス 74
割込通話
　割込通話開始 78
　割込通話停止 78
割込通話サービス 78

ワンタッチシャッター……49

auのお客さまサポート

Webサイトやアプリなら、その場で解決。

auホームページ　https://www.au.com/

よくあるご質問

「よくあるご質問」を集めた総合 Q&A サイト。 au よくあるご質問 で検索

My au（Web版）

- パソコン・スマートフォン・タブレット・4GLTE ケータイから
  https://my.au.com/
- 3G ケータイから
  EZ ボタン▶トップメニューまたは au ポータルトップ ▶My au

My au（アプリ版）

- au Market もしくは App Store から
  「My au」で検索

詳細はコチラ

困ったときは、お客さまセンターへ。

メッセージ

テキスト形式で簡単・気軽にお問い合わせできる窓口です。「電話で問い合わせる時間がない」というお客さまにも最適。

- お問い合わせ方法
  My au アプリ、iMessage、
  + メッセージから

- 特長
  ✓24 時間いつでも気軽にお問い合わせ可能。
  ✓チャット感覚でかんたん手軽。
  ✓電話がしにくい場所や時間帯でもご利用可能。

詳細はコチラ

電話から

au ホームページではお問い合わせ内容に応じた担当者の直通番号をご案内しています。

詳細はコチラ

お客さまセンター（年中無休 / 通話料無料）	au携帯電話から	au携帯電話以外/一般電話から	左記番号がつながらない場合
総合案内（受付 9:00～20:00）	局番なし 157	フリーコール 0077-7-111	フリーコール 0120-977-033 ［沖縄の方は］フリーコール 0120-977-699
盗難・紛失・故障案内（24 時間受付）	局番なし 113	フリーコール 0077-7-113	フリーコール 0120-925-314

※ ご契約内容の変更や照会の場合には、ご利用の「au 携帯電話番号」と「暗証番号」が必要です。
※ 音声応答メニューのご利用料金照会、回線停止、再開手続きは 24 時間ご利用いただけます（メンテナンス時を除く）。
※ 上記の電話番号がつながらない場合があります。

故障紛失サポートセンター（年中無休 / 通話料無料）	au携帯電話 / au携帯電話以外 / 一般電話から
盗難・紛失・故障（受付 9:00～20:00）	フリーコール 0120-925-919

※ 上記の電話番号がつながらない場合があります。

やめましょう、歩きスマホ。

有害サイトから子供を守る！

キケン！水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、異常な発熱・焼損などの原因となり大変危険です。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHS のリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

あぶない！電池への衝撃

衝撃や過度な外圧を加えると、電池の破損・変形等により発煙・発火等の原因となり大変危険です。

2020年7月第1版　発売元：KDDI株式会社・沖縄セルラー電話株式会社　製造元：シャープ株式会社